

第9回大阪マラソン共同調査研究 ～セントラルフィニッシュとボランティア活動～



2019年3月19日

関西大学・読売新聞社

目 次

はじめに

<趣旨・調査実施概要>	・・・2
-------------	------

第9回大阪マラソン調査結果の概要

I 一般ランナー	・・・3
II 海外ランナー	・・・5
III チャリティランナー	・・・7
IV 観 客	・・・9
V ボランティア	・・・11

I 一般ランナー意識調査

1 あなた自身について	・・・13
2 第9回大阪マラソンの運営について	・・・20
3 チャリティについて	・・・24
4 自由記述抜粋	・・・26

II 海外ランナー意識調査

1 あなた自身について	・・・31
2 第9回大阪マラソンの運営について	・・・37
3 チャリティについて	・・・41
4 自由記述抜粋	・・・44

III チャリティランナー意識調査

1 あなた自身について	・・・47
2 第9回大阪マラソンの運営について	・・・54
3 チャリティについて	・・・58

IV 観客意識調査

1 あなた自身について	・・・63
2 観客の行動と意識について	・・・64
3 大会の運営について	・・・69

V ボランティア意識調査

1 あなた自身について	・・・70
2 ボランティアに関する大会運営について	・・・73
3 ボランティア活動の評価について	・・・76
4 自由記述抜粋	・・・83

おわりに～セントラルフィニッシュとボランティア～	・・・85
--------------------------	-------

資 料	・・・90
-----	-------

はじめに

<趣旨>

第9回大阪マラソンは、セントラルフィニッシュ（フィニッシュ地点は街の中心部）を取り入れた新コースでの開催となった。131,337人の参加申し込みがあり、抽選で選ばれた32,989人が2019年12月1日、大阪の街を駆け抜けた。そして沿道には133万人の観客の応援があり、盛会のうちに幕を閉じた。

本研究は、第1回大会（2011年）から、大阪マラソンに参加したランナー、観客、ボランティア（第1回、第2回のみ）を対象に、大会参加の意識、大会運営に対する評価、チャリティマラソンの社会的意義などを明らかにすると同時に、大阪マラソンの課題を解決し、今後の大会運営に活かすことを目的とするアンケート調査を実施してきた。

また、第9回大会（2019年）では、「セントラルフィニッシュとボランティア活動」をテーマに、これまで実施してきた調査を踏襲しつつも、新コースに関する調査を追加するなど内容を精査し、一般ランナー、チャリティランナー、海外ランナー、観客、第2回以来となるボランティアを対象として調査を行った。

なお、本研究は大阪マラソン組織委員会の依頼を受けて、関西大学と読売新聞大阪本社共同調査研究によって実施したものである。

<調査実施概要>

第9回大阪マラソン 関西大学・読売新聞社共同調査研究 集計数

	ランナー調査				ボランティア調査	当日観客調査
	一般	海外ランナー		チャリティランナー		
調査期間	12/2～12/15	12/2～12/15	12/2～12/15	12/2～12/15	12/2～12/15	12/1
対象者数	12,583	1,606	927	924	2,200	－
調査方式	Webアンケート					街頭聞き取り調査
回答数	5,073				399	410
	4,048	748		277		
		英語	384			なんば 150
		中国語(繁体字)	364			大阪城公園 260
回収率	32.2%	29.5%		30.0%	18.1%	－

第9回大阪マラソン調査結果の概要

今回のアンケート調査は、これまでの一般ランナー、海外ランナー、チャリティランナー、観客に加えて、ボランティアを調査対象とした。

今回は、大阪マラソンの大会運営を支えているボランティアについて、そのより良い活動のために調査を行った（第1回と第2回大会ではボランティア調査を実施した）。さらに、セントラルフィニッシュとなり、コースが変更されたことによって、どのような変化があったのかについても調査した。

以下に、一般ランナー、海外ランナー、チャリティランナー、観客、ボランティアの順で、調査結果とその考察の概要について述べる。

I 一般ランナー

今回、4048人から回答を得た。ここでは、昨年のデータと比較することにより、その変化をみていくことにする。

1 あなた自身について

大阪の滞在日数については、「日帰りで参加」が63.6%（昨年：63.0%）、「前泊し2日間滞在した」が24.5%（昨年：23.0%）、「3日間以上滞在した」が10.6%（昨年：13.2%）であった。

大会への同伴者については、「ひとりで」が56.5%（昨年：56.4%）、「家族・親戚」が25.4%（昨年：25.7%）、「友人・知人」が13.5%（昨年：13.8%）であった。

大阪マラソン以外の活動については、「大阪マラソン EXPO2019 のイベントを楽しんだ」が70.2%（昨年：68.4%）、「大阪名物の飲食をした」が34.2%（昨年：35.6%）、「買い物（お土産など）をした」が23.8%（昨年：25.3%）であった。

大会終了後の活動については、「飲食をした」が61.6%、「銭湯やスパに行った」が17.8%、「買い物をした」が15.9%であった。一方、「何もしなかった」が27.2%であった。その大会終了後の活動の仲間については、「ひとりで」が34.4%、「家族・親戚」が32.7%、「友人・知人」が21.6%であった。また、「Osaka Marathon Desse 2019（大阪マラソンでっせ）」を利用した人については、「大会前に利用した」が49.2%、「大会後に利用した」が44.9%、「利用しなかった」が3.4%であった。

大阪滞在中の経費については、「1万円未満」が55.0%（昨年：54.5%）、「1万円以上2万円未満」



が 19.7%（昨年：18.1%）、「2 万円以上 3 万円未満」が 9.7%（昨年：9.5%）であった。

大会の満足度については、「満足した」が 62.7%（昨年：73.4%）、「まあまあ満足した」が 32.0%（昨年：23.8%）と、満足している人が 94.7%（昨年：97.2%）であった。また、第 10 回大阪マラソンへの参加意欲については、「ぜひ参加してみたい」が 80.0%（昨年：85.2%）、「できれば参加したい」が 17.0%（昨年：12.9%）と、参加したいと回答した人が 97.0%（昨年：98.1%）であった。

2 大阪マラソンの運営について

大阪マラソンの運営については、「良いと思った」と回答した人の割合だけで見ると、「ボランティア、スタッフの対応」が 87.9%（昨年：89.4%）、「沿道の観客の応援」が 87.6%（昨年：88.5%）、「フィニッシャータオルなどの記念品」が 74.2%（昨年：82.1%）であった。それらの中で、最も魅力的なものについては、「沿道の観客の応援」が 47.9%（昨年：58.3%）、「ボランティア、スタッフの対応」が 18.7%（昨年：15.9%）、「名所旧跡を巡るコース」が 13.8%（昨年は観光地を巡るコース：10.3%）であった。

ボランティア活動で最も印象に残ったものについては、「ランナーへの給水・給食」が 48.7%、「完走記念メダル等の配布」が 14.8%、「コース沿道整理」が 12.3%、「手荷物預かり・返却」が 11.4%、「観客の案内・誘導」が 4.0%であった。

大会スポンサーサービスについては、「ランナーズアイ」が 74.5%（昨年：73.9%）、「各給水所及びフィニッシュにて、コカ・コーラ製品飲料の提供」が 49.9%（昨年：54.3%）、「スタート地点・各給水所での清掃ボランティア」が 42.9%（昨年：40.5%）であった。

公式スマートフォンアプリについては、「利用した」が 51.7%（昨年：42.5%）、「知らなかった」が 23.2%（昨年：25.8%）、「知っていたがダウンロードしなかった」が 19.6%（昨年：23.4%）であった。

コースの変更に伴う感想については、「沿道の応援を楽しむことができた」が 67.9%、「折り返しが多いと感じた」が 66.4%、「名所旧跡を多く臨みながら走ることができた」が 33.4%、「アップダウンが少なく走りやすかった」が 23.7%、「フィニッシュ後の食事や観光を家族や友達と楽しむことができた」が 23.0%であった。また、新しいコースで印象に残った場所については、「御堂筋」が 60.0%、「大阪市中央公会堂」が 38.3%、「四天王寺」が 31.9%、「京セラドーム大阪」が 29.6%、「造幣局」が 22.9%であった。

3 チャリティについて

寄付先団体を決めた理由については、「チャリティテーマに関心があったから」が 61.2%（昨年：66.4%）、「寄付先団体の活動に関心があったから」が 9.8%（昨年：7.7%）、「現代的な問題に取り組んでいるから」が 6.5%（昨年：5.7%）であった。一方、「特に理由はない」が 14.7%（昨年は「なんと

なく」：13.8%）であった。

チャリティグッズの購入については、「なないろチャリティ T シャツ」が 37.1%（昨年：30.1%）、「なないろチャリティキャップ」が 23.7%（昨年：15.9%）「なないろチャリティアームウォーマー」が 18.6%（昨年：11.5%）であった。一方、「購入しなかった」が 41.9%（昨年：52.2%）であった。

チャリティに対する意識や活動の変化については、「寄付先団体の活動を意識するようになった」が 33.0%（昨年：23.3%）、「他のチャリティマラソンを意識するようになった」が 19.1%（昨年：12.1%）、「チャリティで走ることの楽しさが分かった」が 18.5%（昨年 9.8%）であった。一方、「変わらない」が 27.1%（昨年：35.3%）であった。

II 海外ランナー

今回、英語と中国語の二か国語による調査を行い、748 人から回答を得た。そこで、昨年のデータと比較することで、その変化をみていくことにする。

1 あなた自身について

大阪の滞在日数については、「5 日」が 28.6%（昨年：17.6%）、「4 日」が 22.4%（昨年：25.4%）、「6 日」が 19.8%（昨年：8.8%）であった。

大会への同伴については、「家族・親戚」が 40.4%（昨年：30.4%）、「ひとりで」が 29.8%（昨年：34.0%）、「友人・知人」が 25.5%（昨年：30.0%）であった。



大阪マラソン以外の活動については、「大阪名物の飲食をした」が 86.5%（昨年：77.1%）、「買い物（お土産など）をした」が 79.4%（昨年：83.8%）、「大阪市内観光をした」が 79.0%（昨年：77.3%）であった。

大阪滞在中の経費については、「5 万円以上 10 万円未満」が 36.0%（昨年：31.3%）、「10 万円以上 15 万円未満」が 21.7%（昨年：24.4%）、「15 万円以上 20 万円未満」が 14.7%（昨

年：14.7%）であった。

大会の満足度については、「満足した」が 76.1%（昨年：81.1%）、「まあまあ満足した」が 21.0%（昨年：17.1%）と、満足している人が 97.1%（昨年：98.2%）であった。また、第 10 回大阪マラソンへの参加意欲については、「ぜひ参加してみたい」が 45.5%（昨年：45.2%）、「できれば参加してみたい」が 48.3%（昨年：48.3%）と、参加したいと回答した人が 93.8%（昨年：93.5%）であった。

2 大阪マラソンの運営について

大阪マラソンの運営については、「良いと思った」と回答した人の割合だけで見ると、「ボランティア、スタッフの対応」が 88.8%（昨年：89.8%）、「沿道の観客の応援」が 84.2%（昨年：86.0%）「フィニッシャータオルなどの記念品」が 77.9%（昨年：86.0%）であった。それらの中で最も魅力的なものについては、「名所旧跡を巡るコース」が 38.5%（昨年は観光地を巡るコース：5.2%）、「沿道の観客の応援」が 25.9%（昨年：57.1%）、「ボランティア、スタッフの対応」が 12.6%（昨年：17.6%）であった。

ボランティア活動で最も印象に残ったものについては、「ランナーへの給水・給食」が 44.5%、「完走記念メダル等の配布」が 18.8%、「コース沿道整理」が 9.5%であった。

大会スポンサーサービスについては、「スタート地点・各給水所での清掃ボランティア」が 53.7%（昨年：47.1%）、「大阪マラソン 2day pass」が 40.4%（昨年：24.4%）、「大会限定商品の販売」が 35.6%（昨年：42.0%）であった。

公式スマートフォンアプリの利用については、「利用した」が 59.1%（昨年：56.9%）、「知っていたがダウンロードしなかった」が 13.9%（昨年：18.1%）、「知らなかった」が 19.7%（昨年：17.8%）であった。

コースの変更に伴う感想については、「沿道の応援を楽しむことができた」が 69.7%、「名所旧跡を多く臨みながら走ることができた」が 61.5%、「折り返しが多いと感じた」が 47.1%、「大阪の生活・文化に触れることができた」が 42.2%、「フィニッシュ後の食事や観光を家族や友達と楽しむことができた」が 39.7%であった。また、新しいコースで印象に残った場所については、「四天王寺」が 49.1%、「御堂筋」が 45.2%、「大阪市中央公会堂」が 42.2%、「京セラドーム大阪」が 31.4%、「造幣局」が 29.1%であった。

3 チャリティについて

寄付先団体を決めた理由については、「チャリティテーマに関心があったから」が 53.5%（昨年：49.6%）、「寄付先団体の活動に興味があったから」が 13.8%（昨年：14.1%）、「現代的な問題に取り組んでいるから」が 7.4%（昨年：12.0%）であった。一方「特に理由はない」が 16.8%（昨年は「なんとなく」：13.6%）であった。

チャリティグッズの購入については、「なないろチャリティ T シャツ」が 43.5%（昨年：34.1%）、「チャリティウィンドブレーカー」が 35.1%（昨年：19.4%）、「なないろチャリティキャップ」が 32.2%（昨年：9.1%）であった。一方、「購入しなかった」が 72.2%（昨年：32.1%）であった。

チャリティに対する意識や活動の変化については、「寄付先団体の活動を意識するようになった」が 34.8%（昨年：22.2%）、「チャリティで走ることの楽しさが分かった」が 30.9%（昨年：21.4%）、「他

のチャリティマラソンを意識するようになった」が 25.5%（昨年：14.4%）であった。

大阪マラソンのチャリティの取り組みについては、「良いと思う」と回答した人の割合だけで見ると、「エントリー時のチャリティ募金を寄付先団体に寄付する取り組み」が 52.4%、「チャリティグッズ」が 49.1%、「チャリティコーナーでの寄付先団体との交流」が 45.3%であった。

Ⅲ チャリティランナー

チャリティランナーとは、公募により選定された寄付先団体から、支援したい団体を選んで、協力者を募り、募金額（7 万円以上）の寄付を集めて出走するランナーのことである。今回、調査を行い、277 人から回答を得た。ここでは、昨年のデータと比較しながら、その変化をみていくことにする。

1 あなた自身について

大阪の滞在日数については、「日帰りで参加」が 55.2%（昨年：61.3%）、「前泊し 2 日間滞在した」が 25.3%（昨年：20.9%）、「3 日以上滞在した」が 16.2%（昨年：16.0%）であった。

大会の同伴については、「ひとりで」が 50.2%（昨年 30.7%）、「家族・親戚」が 19.5%（昨年：21.5%）、「友人・知人」が 17.3%（昨年：19.6%）であった。



大阪マラソン以外の活動については、「大阪マラソン EXPO2019 のイベントを楽しんだ」が 58.8%（昨年：53.4%）、「大阪名物を飲食した」が 33.6%（昨年：23.3%）「何もしなかった」が 20.9%（昨年：20.2%）であった。

大会終了後の活動については、「飲食をした」が 66.4%、「銭湯やスパに行った」が 17.0%、「買い物をした」が 9.7%であった。一方、「何もしなかった」が

24.9%であった。その大会終了後の活動の仲間については、「ひとりで」が 27.5%、「友人・知人」が 29.5%、「マラソン仲間」が 29.5%であった。また、「Osaka Marathon Desse 2019（大阪マラソンでっせ）」を利用した人については、「知らなかった」が 53.8%、「利用しなかった」が 38.3%、「大会前に利用した」が 5.4%であった。

大阪滞在中の経費については、「1 万円未満」が 54.9%（昨年：52.8%）、「1 万円以上 2 万円未満」が 13.4%（昨年：11.7%）、「2 万円以上 3 万円未満」が 10.8%（昨年：13.5%）であった。

大会の満足度については「満足した」が 69.3%（昨年：73.0%）、「まあまあ満足した」が 26.7%（昨年：23.9%）と、「満足している人」が 96.0%（昨年：96.9%）であった。また、第 10 回大阪マラソ

ンへの参加意欲については、「できれば参加したい」が 45.8%（昨年 21.5%）、「ぜひ参加してみたい」が 44.0%（昨年：69.9%）と、「参加したい」と回答した人が 89.8%（昨年：91.4%）であった。

2 大阪マラソンの運営について

大阪マラソンの運営については、「良いと思った」と回答した人の割合だけで見ると、「沿道の観客の応援」が 88.1%（昨年：89.6%）、「ボランティア、スタッフの対応」が 84.1%（昨年：87.1%）、「チャリティランナー制度」が 83.4%であった。それらの中で最も魅力的なものについては、「沿道の観客の応援」が 42.2%（昨年：64.4%）、「チャリティの取り組み」が 22.0%（昨年：14.1%）、「ボランティア、スタッフの対応」が 16.2%（昨年：6.7%）、であった。



大会スポンサーサービスについては、「ランナーズアイ」が 76.2%（昨年：69.3%）、「スタート地点・各給水場での清掃ボランティア」が 41.2%（昨年：31.3%）、「各給水場及びフィニッシュにて、コカ・コーラ製品飲料の提供」が 35.0%（昨年：38.0%）であった。

公式スマートフォンアプリについては「利用した」が 39.0%（昨年：36.8%）、「知らなかった」が 31.0%（昨年：25.2%）、「知っていたが、ダウンロードしなかった」

が 24.5%（昨年：31.9%）であった。

コースの変更に伴う感想については、「折り返しが多いと感じた」が 64.3%、「沿道の応援を楽しむことができた」が 63.9%、「アップダウンが多く走りにくかった」が 30.0%であった。また、新しいコースで印象に残った場所については、「御堂筋」が 50.9%、「大阪市中央公会堂」が 36.1%、「四天王寺」が 25.6%、「京セラドーム大阪」が 24.2%、「造幣局」が 22.0%であった。

3 チャリティについて

寄付先団体を決めた理由については、「寄付先団体の活動に関心があったから」が 49.8%（昨年：52.8%）「チャリティテーマに関心があったから」が 25.3%（昨年：22.1%）、「知人から勧められたから」が 12.3%（昨年：9.8%）であった。また、サポーターの人数については、「0 人」が 42.6%（昨年：28.2%）、「1 人以上」が 13.0%（昨年：12.3%）、「11~20 人」が 10.8%（昨年 13.5%）であった。

募金活動の取り組みについては、「何もしなかった」が 39.7%（昨年：31.9%）、「知人・友人にお願いした」が 36.8%（昨年：34.4%）、「SNS を活用してお願いした」が 30.7%（昨年：27.6%）であった。

チャリティランナーで参加する理由については、「寄付先団体の活動を応援したいから」が 38.6%

(昨年：35.0%)、「7万円払えば出場権が得られるから」が26.0%(昨年：21.5%)、「チャリティランナーの趣旨に賛同したから」が9.7%(昨年：16.0%)であった。

参加して良かったことについては、「寄付先団体の目的や活動により共感できたこと」が63.5%(昨年：52.8%)、「チャリティランナー専用のエリア等が設けられていること」が49.8%(昨年：47.9%)、「寄付先団体と当日の交流ができたこと」が27.4%(昨年：16.6%)であった。

チャリティに対する意識や活動の変化については、「寄付先団体の活動を意識するようになった」が56.7%(昨年：46.6%)、「チャリティで走ることの楽しさが分かった」が31.0%(昨年：17.8%)、「他のチャリティマラソンを意識するようになった」が21.3%(昨年：10.4%)であった。

チャリティランナーとしての満足度については、「大変満足した」が69.3%(昨年：75.5%)、「まあまあ満足した」が26.7%(昨年：23.3%)と、満足している人が96.0%(昨年：98.8%)であった。また、チャリティランナーとしての来年の参加については、「できれば走りたい」が45.8%(昨年：34.4%)、「ぜひとも走りたい」が44.0%(昨年：54.6%)と、走りたいと回答した人が89.8%(昨年：89.0%)であった。

大阪マラソンのチャリティの取り組みについて、「良いと思う」と回答した人の割合だけで見ると、「多様な活動を行う団体の中から、支援する団体を選択できること」が88.1%、「エントリー時のチャリティ募金を寄付先団体に寄付する取り組み」が82.7%、「寄付先団体が行う広報活動」が77.3%であった。

IV 観 客

今回は「なんば」「大阪城公園」の2箇所で開催を行い、410人から回答を得た。そこで、昨年のデータと比較することで、その変化をみていくことにする。

1 あなた自身について

居住地域については、「大阪市を含めた大阪府」が60.4%、「兵庫県」が12.2%、「京都府」が6.4%であった。



大阪マラソンの参加回数については、「1回」が48.2%(昨年：47.1%)、「2回」が20.6%(昨年：19.5%)、「3回」が14.8%(昨年：14.2%)であった。

大阪での滞在日数については、「当日だけ」が81.7%(昨年：81.2%)、「前日と当日」が10.4%(昨年：10.4%)であった。

2 観客の行動と意識について

観戦・応援に来た理由については、「ランナーを応援したい」が 82.3%（昨年：64.1%）、「大阪を盛り上げたい」が 7.1%（昨年：2.7%）、「応援を楽しみたい」が 6.0%（昨年：10.5%）であった。また、応援対象については、「家族・親戚」が 42.4%（昨年：36.4%）、「友人・知人」が 33.2%（昨年：24.7%）、「全てのランナー」が 26.3%（昨年：36.1%）であった。

応援の同伴については、「家族・親戚と」が 39.5%（昨年：46.0%）、「友人・知人と」が 26.5%（昨年：23.5%）、「ひとりで」が 18.0%（昨年：23.9%）であった。

何ヶ所で観戦・応援したかについては、「3 か所」が 32.2%、「2 か所」が 26.8%、「4 か所以上」が 22.3%であった。

大阪マラソンの観戦・応援以外の活動については、「何もしなかった」が 37.8%（昨年：39.4%）、「大阪名物を飲食した」が 21.5%（昨年：29.1%）、「大阪マラソン EXPO2019 のイベントを楽しんだ」が 19.8%（昨年：15.2%）であった。また、観戦後の行動については、「飲食をする」が 64.4%（昨年：65.3%）「何もしない」が 22.7%（昨年：30.0%）、「買い物をする」が 12.4%（昨年：11.0%）であった。観戦・応援後の活動の同伴者については、「一緒に観戦・応援に来た人」が 62.1%、「応援したランナー」が 49.5%であった。

印象に残ったものについては、「ランナーの走っている姿」が 86.3%（昨年：57.8%）、「仮装ランナー」が 32.0%（昨年：25.0%）、「スタッフやボランティアの対応」が 29.8%（昨年：28.4%）であった。

来年の大阪マラソンへの関わり方については、「観客として参加したい」が 72.3%（64.4%）、「ランナーとして参加したい」が 21.2%（昨年：24.3%）、「ボランティアとして参加したい」が 3.1%（昨年：9.5%）であった。

3 大会の運営について

コース変更に伴う変化については、「そう思う」と回答した人の割合だけで見ると、「観戦・応援しやすい」が 45.8%「食事や観光などの活動がしやすい」が 43.4%「移動しやすい」が 41.2%であった。

ボランティア活動の評価については、「とても良かった」が 57.5%、「まあまあ良かった」が 33.8%と、良かったと回答した人が 91.3%であった。

募金（チャリティ）については、「しない」が 77.1%、「大阪マラソン特設サイトで募金した」が、5.4%、「その他」が 4.9%であった。

V ボランティア

団体ボランティアの代表者および、個人ボランティアに、Web による調査協力を依頼し、399 人から回答を得た。そこで、ボランティア活動の在り方についてみていくことにする。

1 あなた自身について

市民マラソンでのランナーとしての参加経験については、「10 回以上」が 14.8%、「3~9 回」が 15.3%、「1,2 回」が 11.8%であった。一方、「ない」が 58.1%であった。

これまでの大阪マラソンへの関わりについては、「ボランティア」が 48.6%、「沿道の観客」が 26.6%、「ランナー」が 24.8%であった。一方、「ない」が 29.3%であった。

ボランティア活動の参加頻度については、「今回が初めて」が 33.3%、「年に 1 から 2 回程度」が 26.1%、「年に数回程度」が 18.3%であった。

これまでに経験したボランティア活動については、「スポーツイベント関連」が 69.0%、「福祉関連」が 27.4%、「災害関連」が 10.5%であった。また、大阪マラソンのボランティア参加経験については、「1 回」が 59.1%、「2 回」が 12.5%、「3 回」が 8.0%であった。

2 ボランティアに関する大会運営について

ボランティアの募集を知った情報については、「ホームページ」が 40.4%、「知人から聞いた」が 16.8%、「メール等直接のお知らせ」が 8.3%、「パンフレット」が 5.8%、「ポスター」が 3.5%であった。

ボランティアの募集時期については、「良かった」が 86.2%、「早かった」が 11.3%、「遅かった」が 2.5%であった。

ボランティアの説明会の開催時期については、「良かった」が 81.7%、「遅かった」が 12.0%、「早かった」が 6.3%であった。

ボランティアの説明会の開催方法については、「良かった」が 47.4%、「普通」が 40.6%、「悪かった」が 12.0%であった。

リーダー説明会の内容については、「良いと思った」が 39.0%、「まあまあ良いと思った」が 47.6%と、良いと回答した人が 86.6%であった。

個人ボランティア説明会の内容については、「良いと思った」が 31.8%、「まあまあ良いと思った」が 47.9%と、良いと思っている人が 79.7%であった。

ボランティア初心者ガイダンスの説明内容については、「良いと思う」が 49.4%、「まあまあ良いと思った」が 32.5%と、良いと思っている人が 81.9%であった。



3 ボランティア活動の評価について

ボランティアの活動内容については、「手荷物預かり・返却」が 30.3%、「コース沿道整理」が 29.3%、「ランナーへの給水・給食」が 24.3%であった。

ボランティアの活動内容の満足度については、「大変満足した」が 40.9%、「まあまあ満足だった」が 49.6%と、満足している人が 90.5%であった。

ランナーや観客との交流については、「できた」が 43.6%、「まあまあできた」が 36.8%と、できたと回答した人が 80.4%であった。また、ボランティア同士の交流については、「できた」が 47.1%、「まあまあできた」が 39.3%と、できたと回答した人が 86.4%であった。

大阪マラソンを盛り上げることにについては、「できた」が 45.1%、「まあまあできた」が 45.9%と、できたと回答した人が 91.0%であった。

積極的なボランティア活動への関わりについては、「できた」が 65.2%、「まあまあできた」が 32.6%と、できたと回答した人が 97.8%であった。

大阪マラソンのボランティアに参加した理由については、「ランナーの役に立ちたかった」が 40.6%、「スポーツボランティアをしてみたかった」が 32.1%、「ランナーとして参加できなかった」が 22.6%、「思い出や記念になる」が 22.3%、「大阪を盛り上げたかった」が 21.8%であった。

大阪マラソンのボランティアを経験したことによる変化については、「ランナーの役に立てた」が 47.1%、「思い出や記念になった」が 43.1%、「スポーツボランティアが好きになった」が 27.8%、「いろんな人と知り合いになれた」が 25.3%、「自分自身を高めることができた」が 19.5%であった。

第 9 回大阪マラソンのボランティア活動の満足度については、「満足した」が 46.4%、「まあまあ満足した」が 46.4%と、満足している人が 92.8%であった。また、第 10 回大阪マラソンへのボランティアの参加意欲については「ぜひ参加したい」が 43.4%、「できれば参加したい」が 45.4%と、参加したいと回答した人が 88.8%であった。

大阪マラソンの運営評価については、「良いと思った」と「まあまあ良いと思った」と合わせて見てみると、「ランナーのマナー」が 83.5%、「ボランティアのユニフォーム」が 83.5%、「大阪マラソンガイドブックなど」が 77.5%、「大阪府庁前スタート、大阪城公園フィニッシュのコース」が 72.9%、「チャリティへの取り組み」が 72.4%であった。

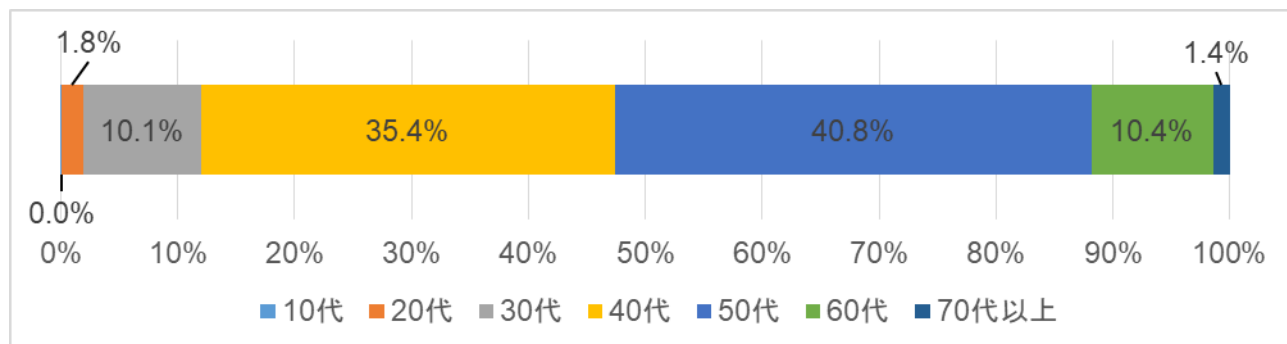


I 一般ランナー意識調査

回答者数：4048

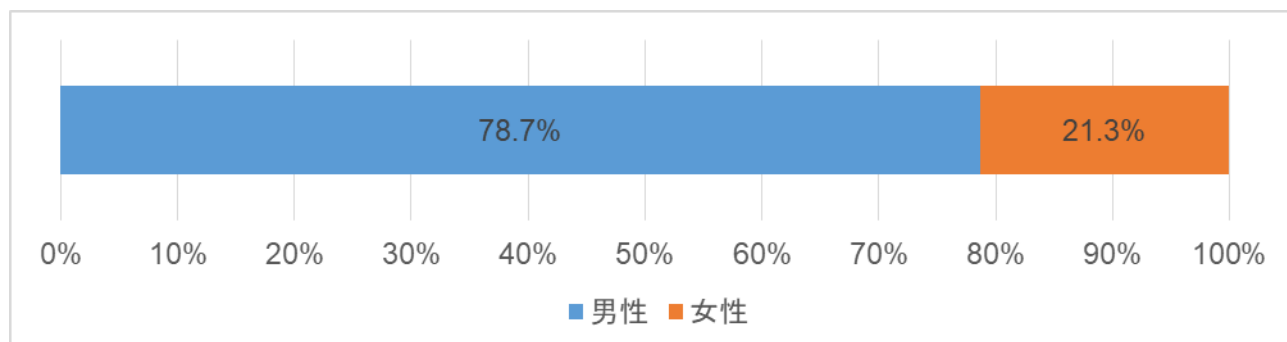
1 あなた自身について

■年齢（年代）



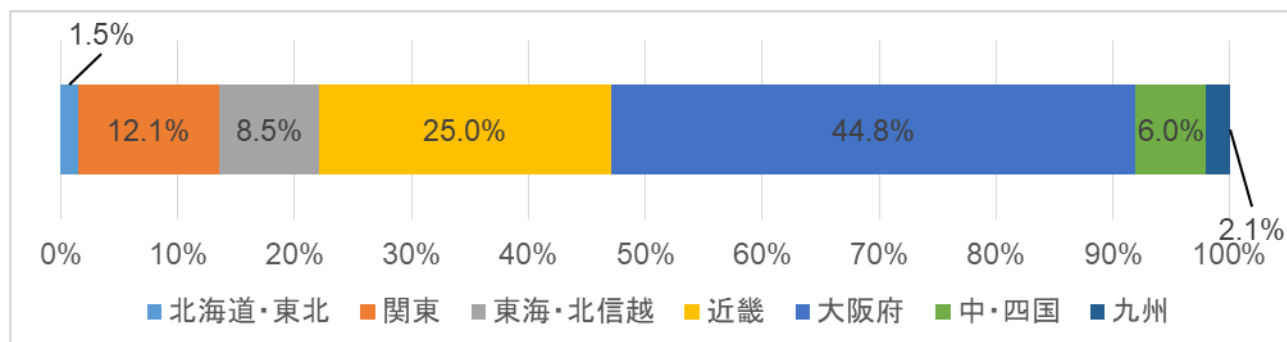
年齢（年代）については、「50代」が40.8%（昨年：37.2%）、「40代」が35.4%（昨年：37.4%）、「60代」が10.4%（昨年：10.0%）であった。

■性別



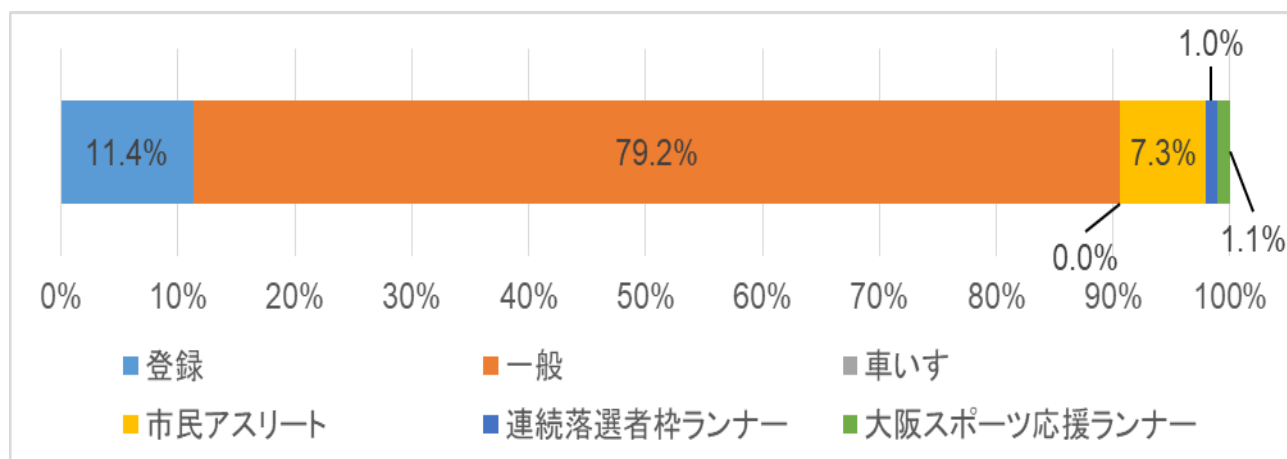
性別については、「男性」が78.7%（昨年：80.8%）、「女性」が21.3%（昨年：19.2%）であった。

■住居地域



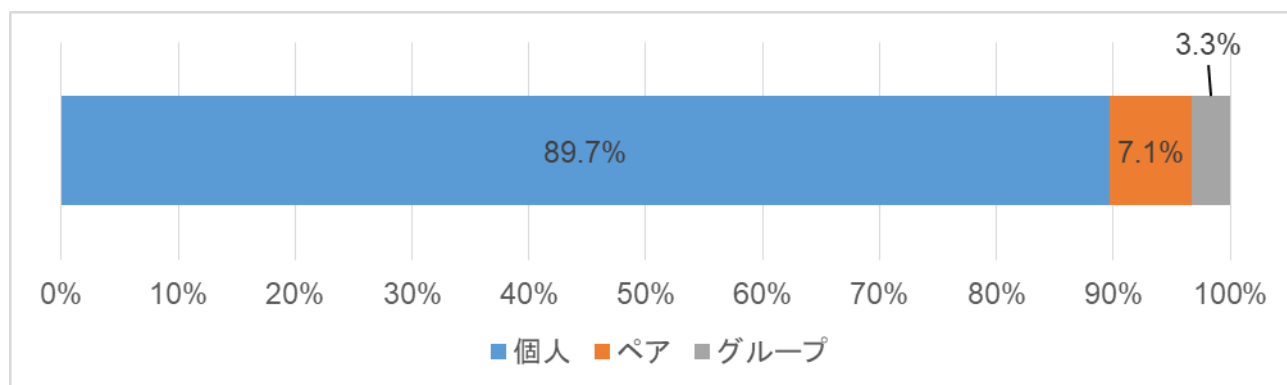
居住地域については、大阪府を含めた「近畿地方」が69.8%（昨年：68.9%）、「関東地方」が12.1%（昨年：13.6%）、「東海・北信越地方」が8.5%（昨年：8.5%）であった。

■参加区分



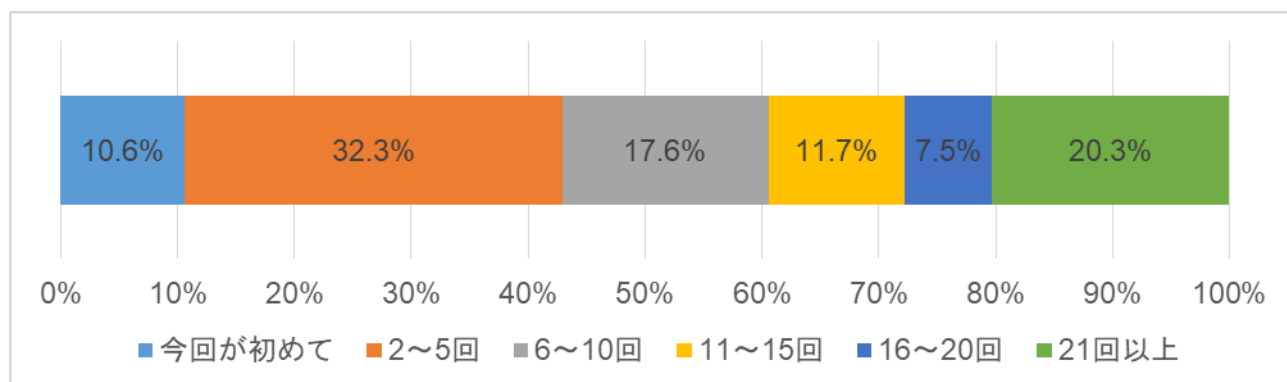
参加区分は、「一般ランナー」が 79.2%（昨年：74.8%）、「登録ランナー」が 11.4%（昨年：13.5%）、「市民アスリート」が 7.3%（昨年：6.1%）であった。

■参加申し込み区分



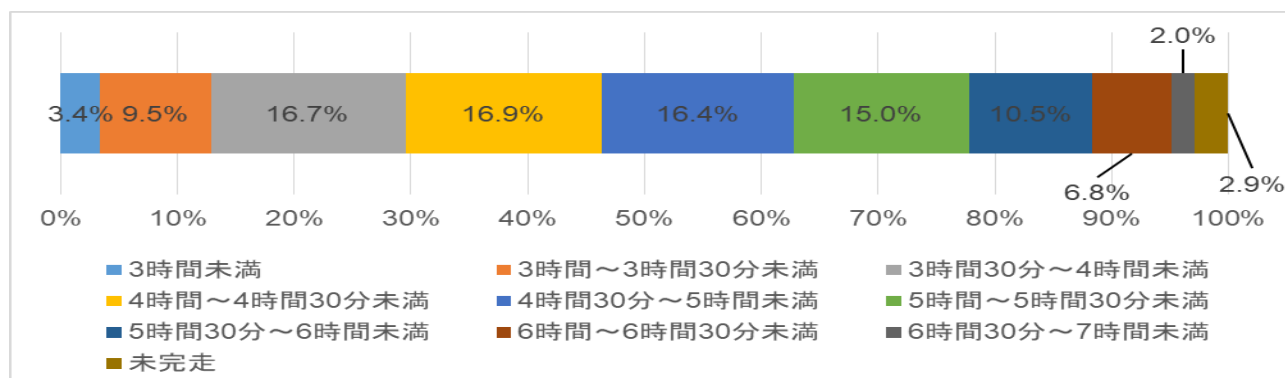
参加申し込み区分は、「個人」での参加申し込みが 89.7%（昨年：91.6%）、「ペア」での参加申し込みが 7.1%（昨年：5.5%）、グループの申し込みが 3.3%（昨年：2.9%）であった。

■市民マラソンへの参加経験



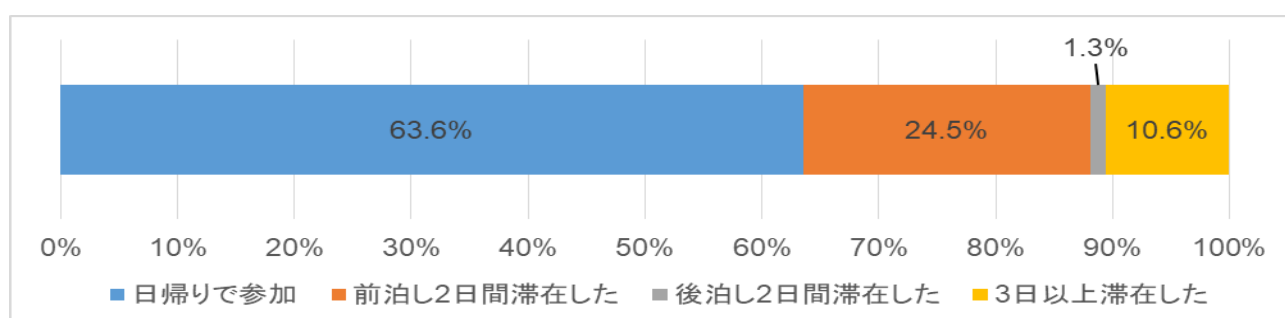
市民マラソンの参加経験については、「2~5回」が 32.3%（昨年：33.6%）、「21回以上」が 20.3%（昨年：17.8%）、「6~10回」が 17.6%（昨年：17.8%）であった。

■今回のフルマラソンのタイム



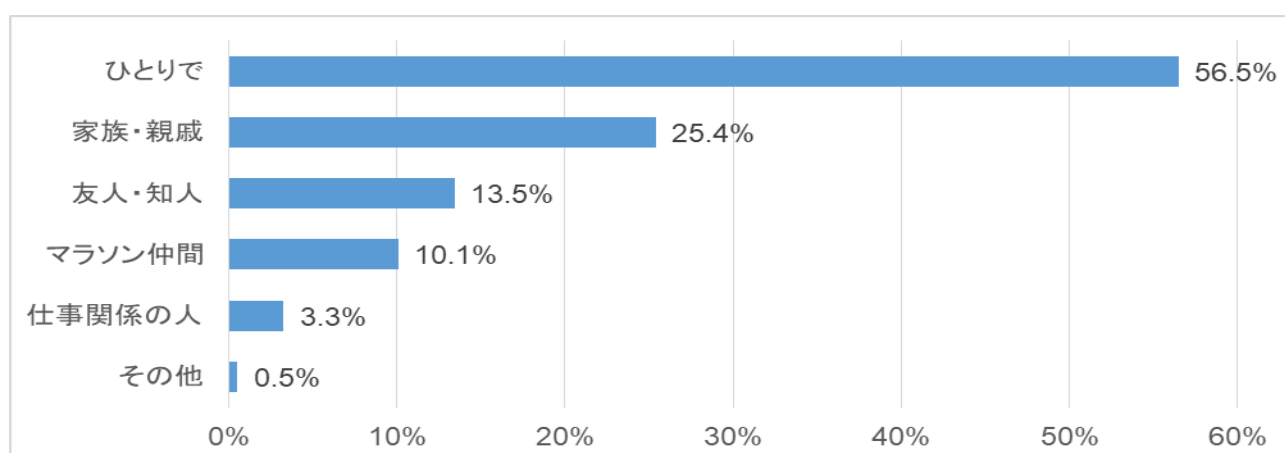
フルマラソンのタイムについては、「4 時間から 4 時間 30 分未満」が 16.9%（昨年：16.2%）、「3 時間 30 分から 4 時間未満」が 16.7%（昨年：18.2%）、「4 時間 30 分から 5 時間未満」が 16.4%（昨年：17.2%）であった。

■滞在日数



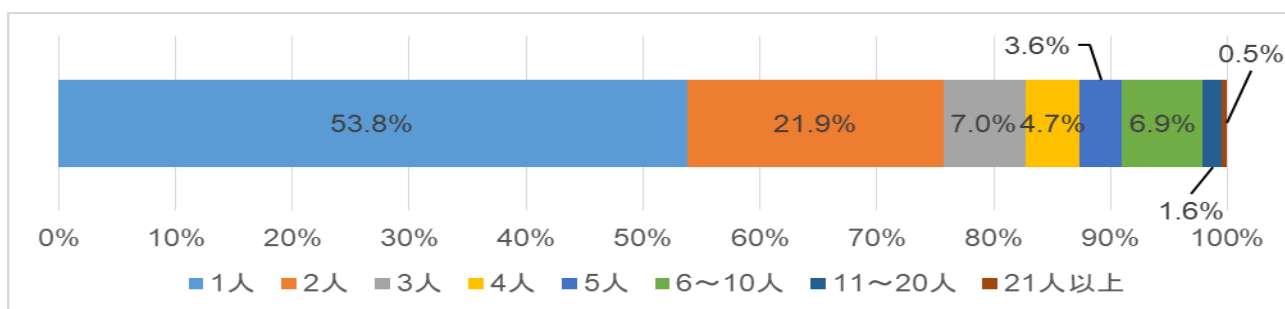
大阪の滞在日数については、「日帰りで参加」が 63.6%（昨年：63.0%）、「前泊し 2 日間滞在した」が 24.5%（昨年：23.0%）、「3 日間以上滞在した」が 10.6%（昨年：13.2%）であった。

■大会への同伴者（複数回答可）



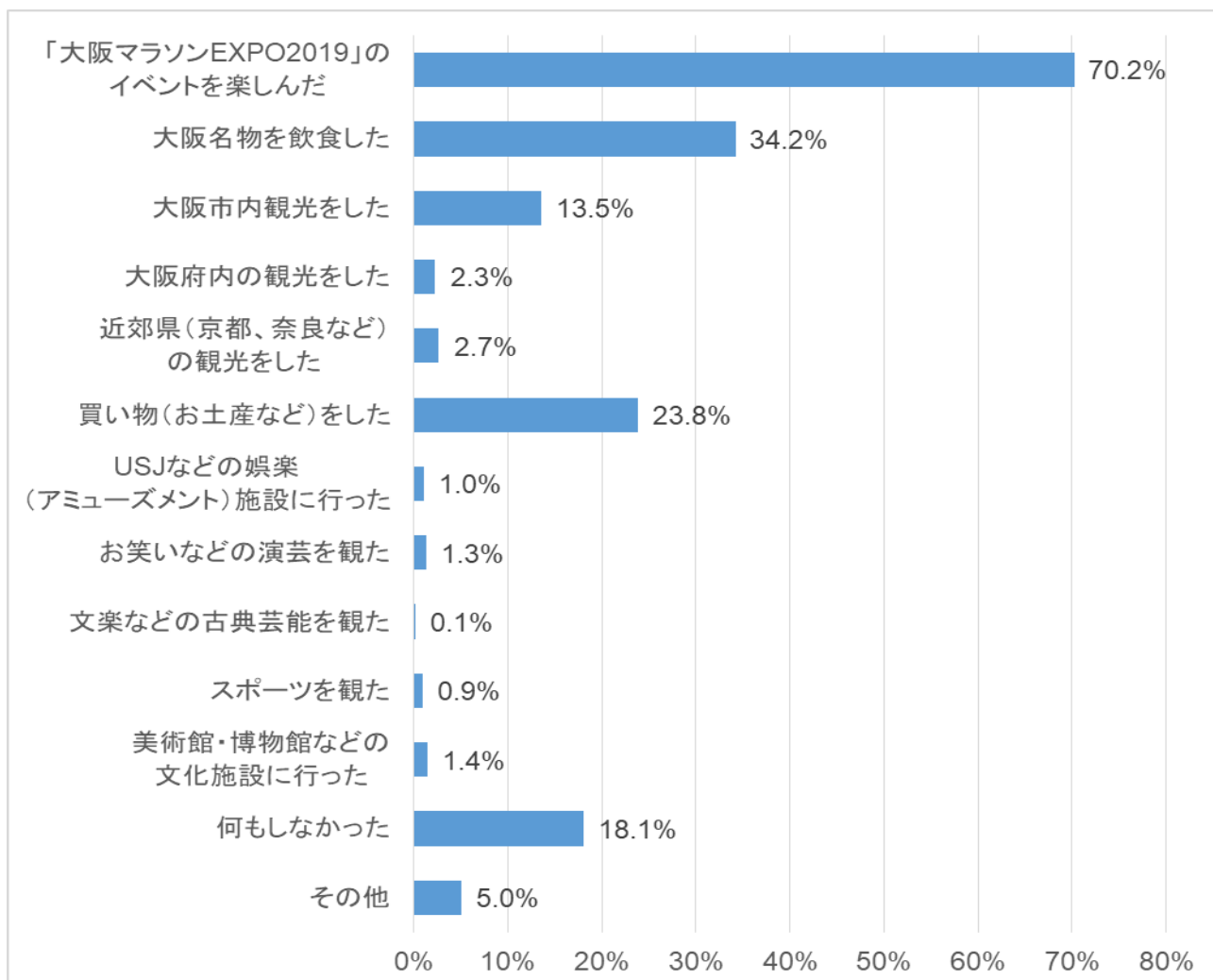
大会への同伴者については、「ひとりで」が 56.5%（昨年：56.4%）、「家族・親戚」が 25.4%（昨年：25.7%）、「友人・知人」が 13.5%（昨年：13.8%）であった。

■大会への同伴者の人数



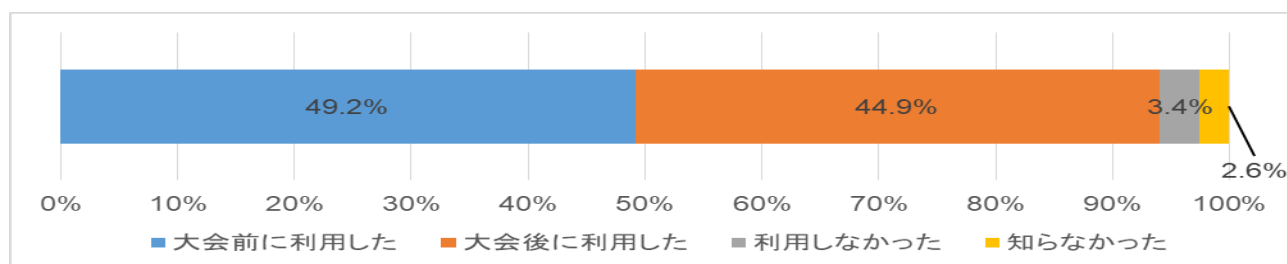
大会への同伴の人数については、「1人」が53.8%（昨年：53.9%）、「2人」が21.9%（昨年：20.5%）、「3人」が7.0%（昨年：8.8%）であった。

■大阪滞在中の大阪マラソン以外の活動（複数回答可）



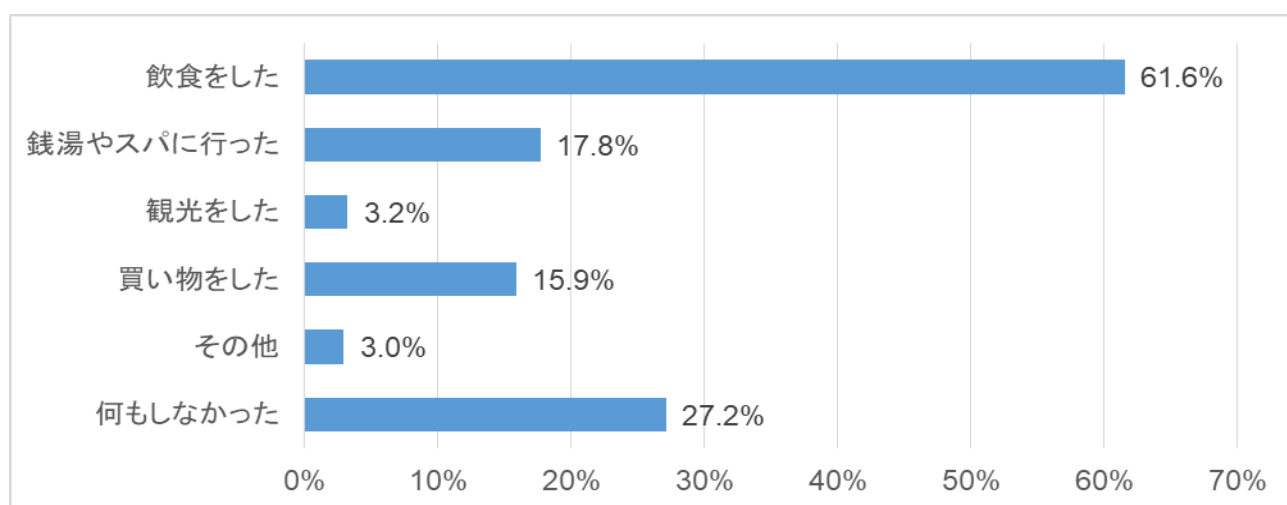
大阪マラソン以外の活動については、「大阪マラソン EXPO2019 のイベントを楽しんだ」が70.2%（昨年：68.4%）、「大阪名物の飲食をした」が34.2%（昨年：35.6%）、「買い物（お土産など）をした」が23.8%（昨年：25.3%）であった。

■「Osaka Marathon Desse 2019（大阪マラソンでっせ）」の特典やサービスの利用



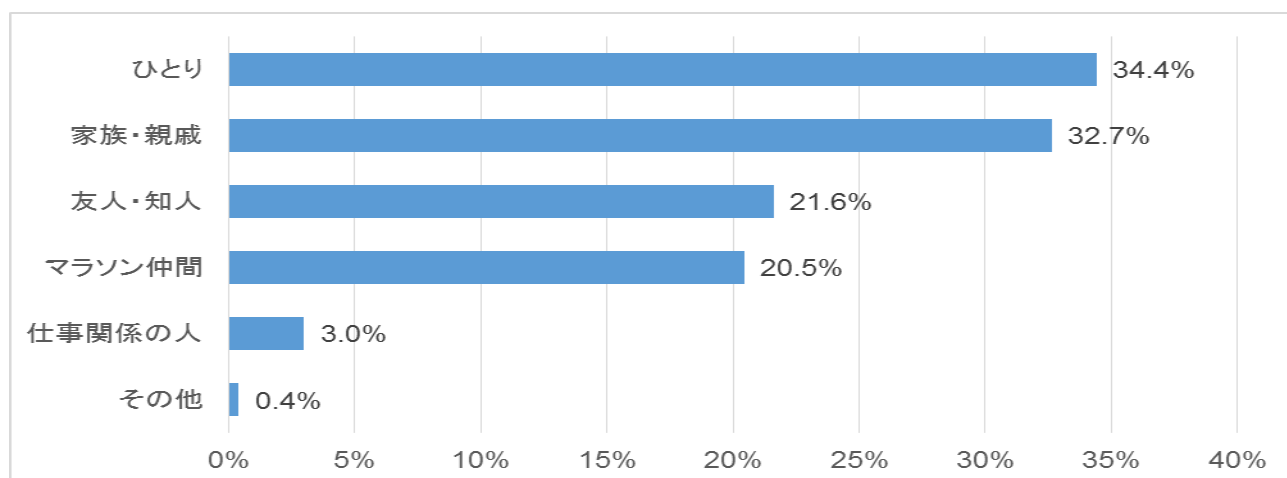
「Osaka Marathon Desse 2019（大阪マラソンでっせ）」を利用した人については、「大会前に利用した」が49.2%、「大会後に利用した」が44.9%、「利用しなかった」が3.4%であった。

■大阪マラソンの大会終了後の活動（複数回答可）



大会終了後の活動については、「飲食をした」が61.6%、「銭湯やスパに行った」が17.8%、「買い物をした」が15.9%であった。一方、「何もしなかった」が27.2%であった。

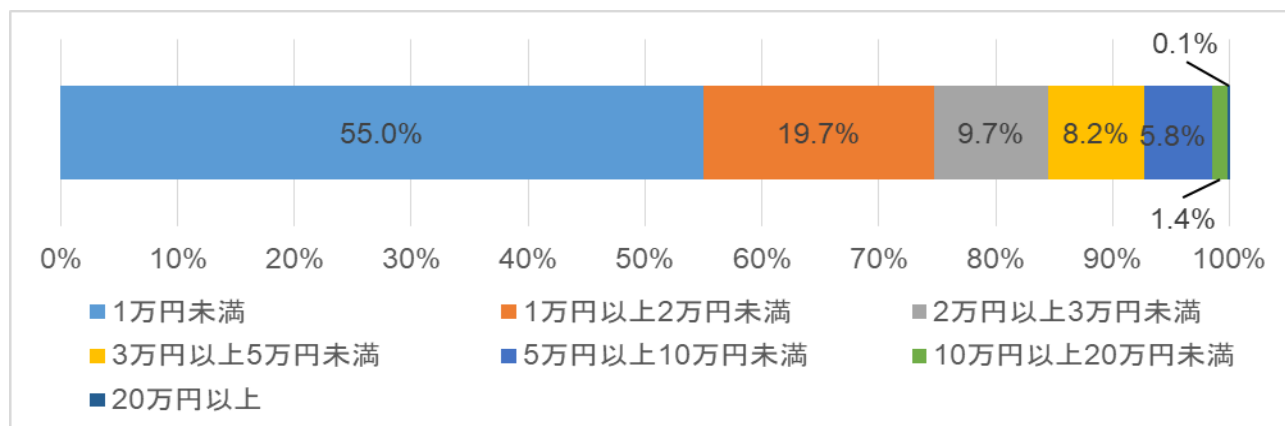
■大会終了後の活動の仲間（複数回答可）



大会終了後の活動の仲間については、「ひとりで」が34.4%、「家族・親戚」が32.7%、「友人・知人」が21.6%であった。

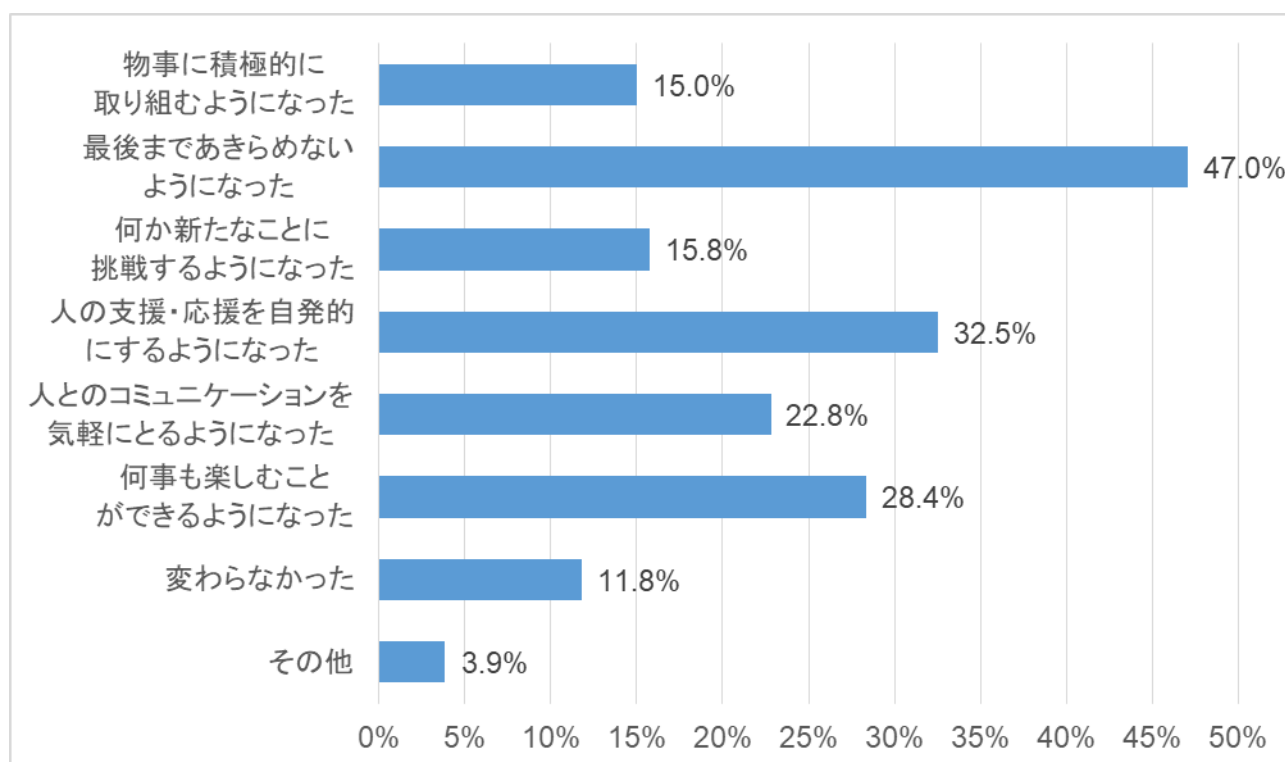
■ 大阪滞在中の経費

(宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切、大阪マラソン参加料、チャリティは除く)



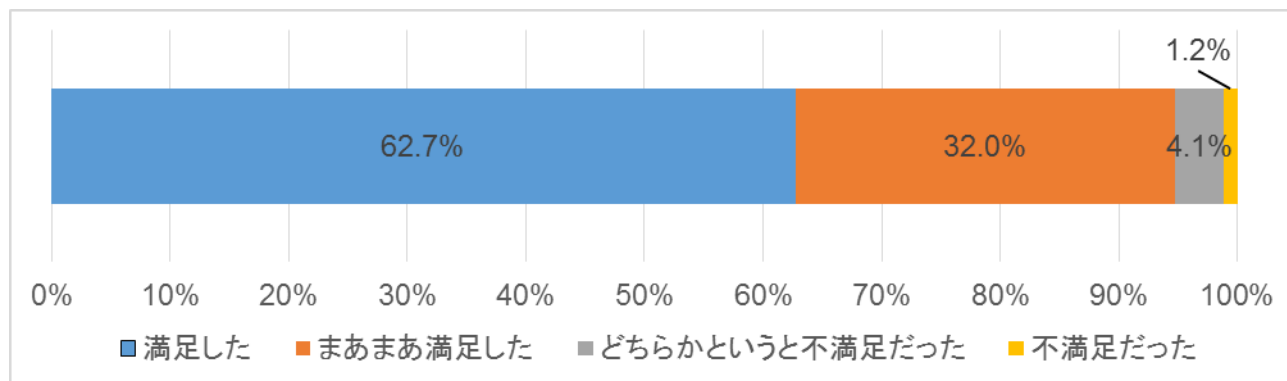
大阪滞在中の経費については、「1万円未満」が55.0%（昨年：54.5%）、「1万円以上2万円未満」が19.7%（昨年：18.1%）、「2万円以上3万円未満」が9.7%（昨年：9.5%）であった。

■ 大会参加による生活上の意識や行動の変化（複数回答可）



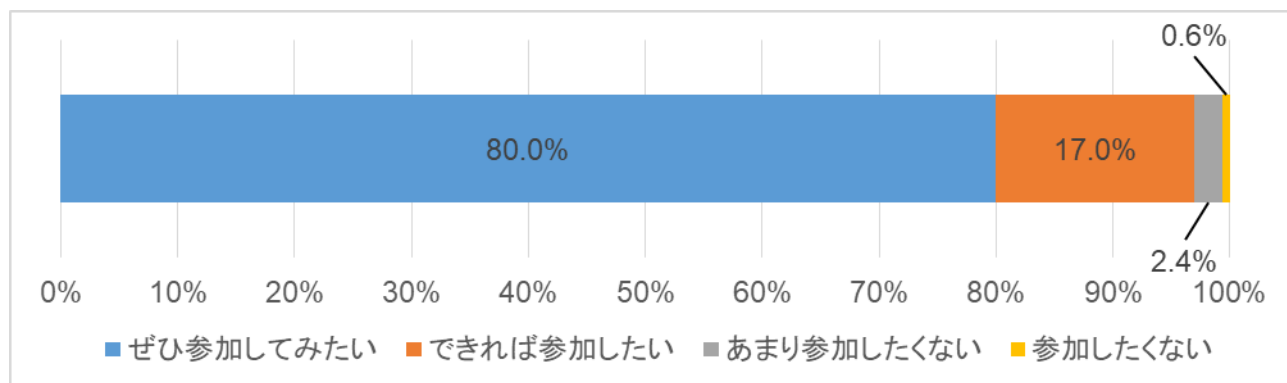
大会参加による生活上の意識や行動の変化については、「最後まであきらめないようになった」が47.0%（昨年：55.6%）、「人の支援・応援を自発的にするようになった」が32.5%（昨年：34.6%）、「何事も楽しむことができるようになった」が28.4%（昨年：32.5%）であった。

■第9回大阪マラソンの一般ランナーの満足度



大会の満足度については、「満足した」が62.7%（昨年：73.4%）、「まあまあ満足した」が32.0%（昨年：23.8%）と、満足している人が94.7%（昨年：97.2%）であった。

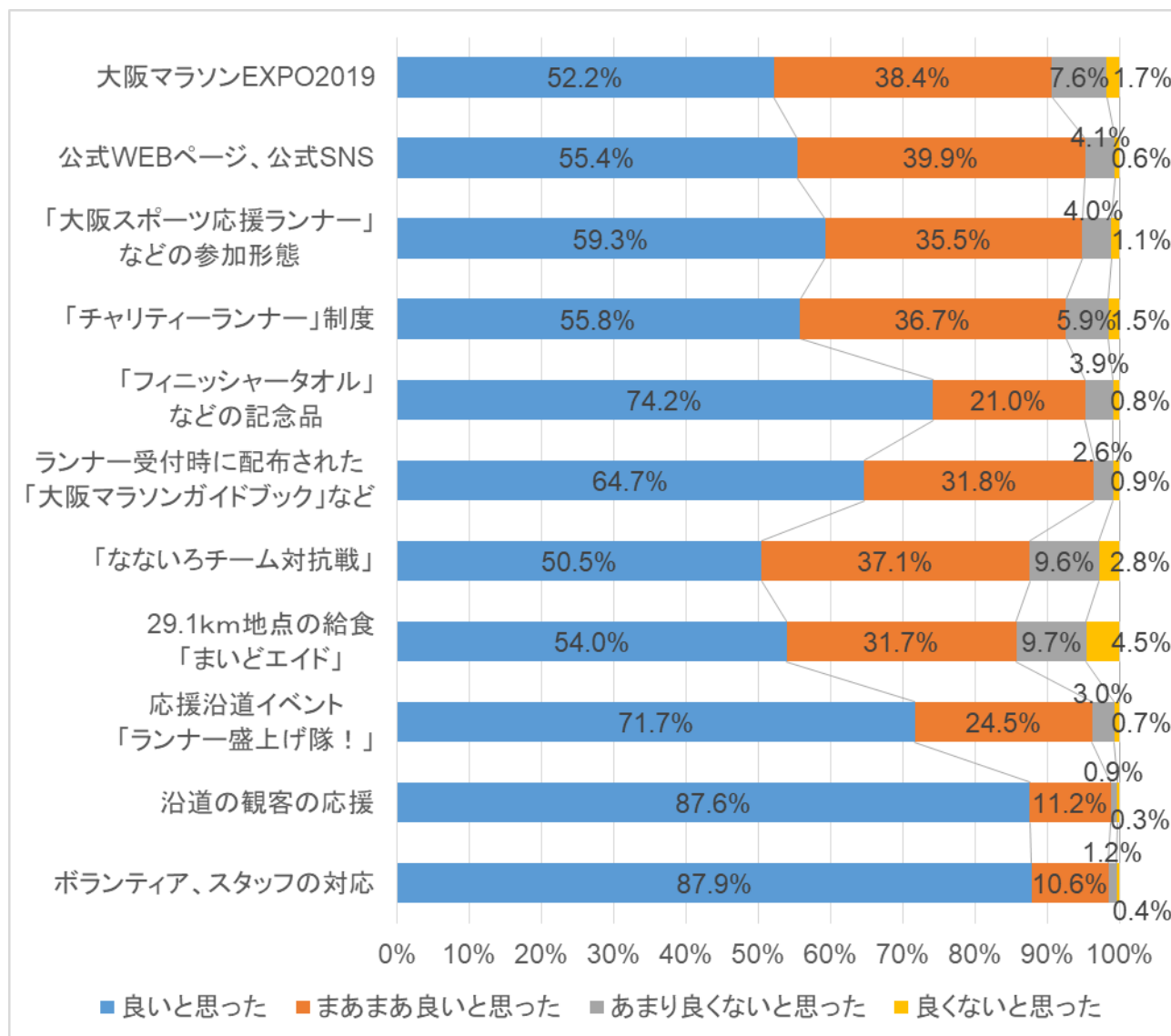
■第10回大阪マラソンへの一般ランナーの参加意欲



第10回大阪マラソンへの参加意欲については、「ぜひ参加してみたい」が80.0%（昨年：85.2%）、「できれば参加したい」が17.0%（昨年：12.9%）と、参加したいと回答した人が97.0%（昨年：98.1%）であった。

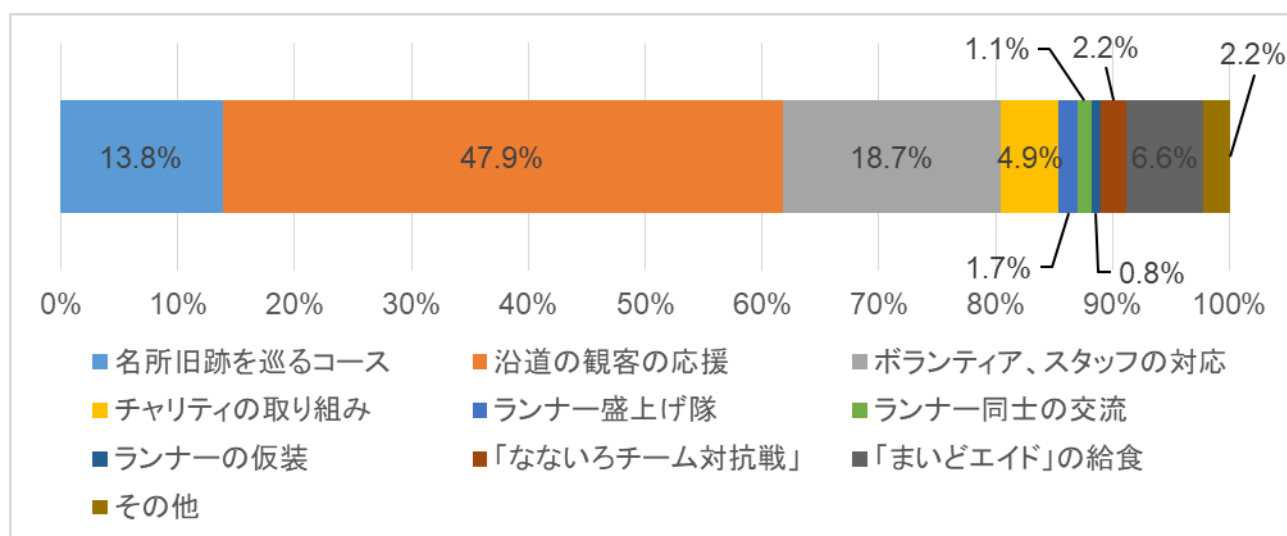
2 第9回大阪マラソンの運営について

■第9回大阪マラソンの運営評価



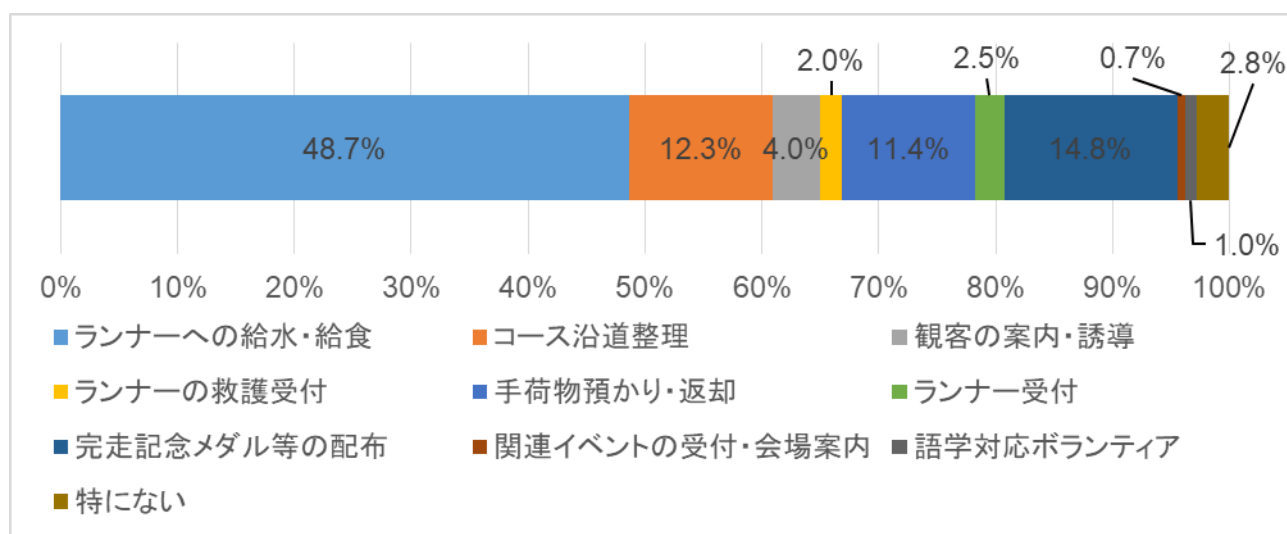
大阪マラソンの運営については、「良いと思った」と回答した人の割合だけで見ると、「ボランティア、スタッフの対応」が87.9%（昨年：89.4%）、「沿道の観客の応援」が87.6%（昨年：88.5%）、「フィニッシャータオルなどの記念品」が74.2%（昨年：82.1%）であった。

■大阪マラソンで最も魅力的なもの



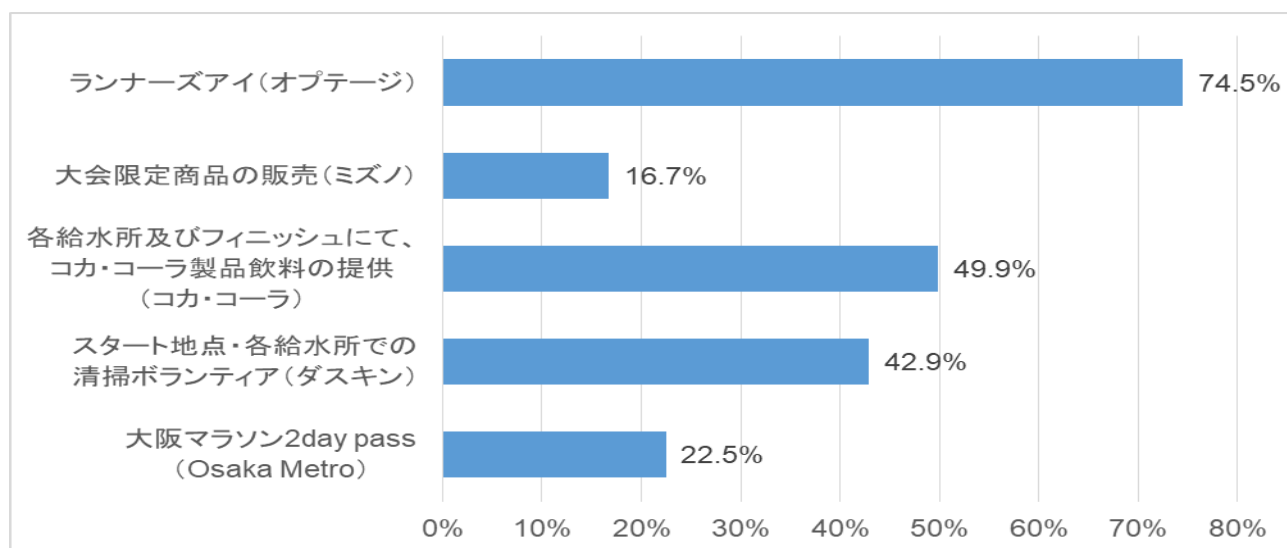
大阪マラソンで最も魅力的なものについては、「沿道の観客の応援」が 47.9%（昨年：58.3%）、「ボランティア、スタッフの対応」が 18.7%（昨年：15.9%）、「名所旧跡を巡るコース」が 13.8%（昨年は観光地を巡るコース：10.3%）であった。

■ボランティア活動で最も印象に残ったもの



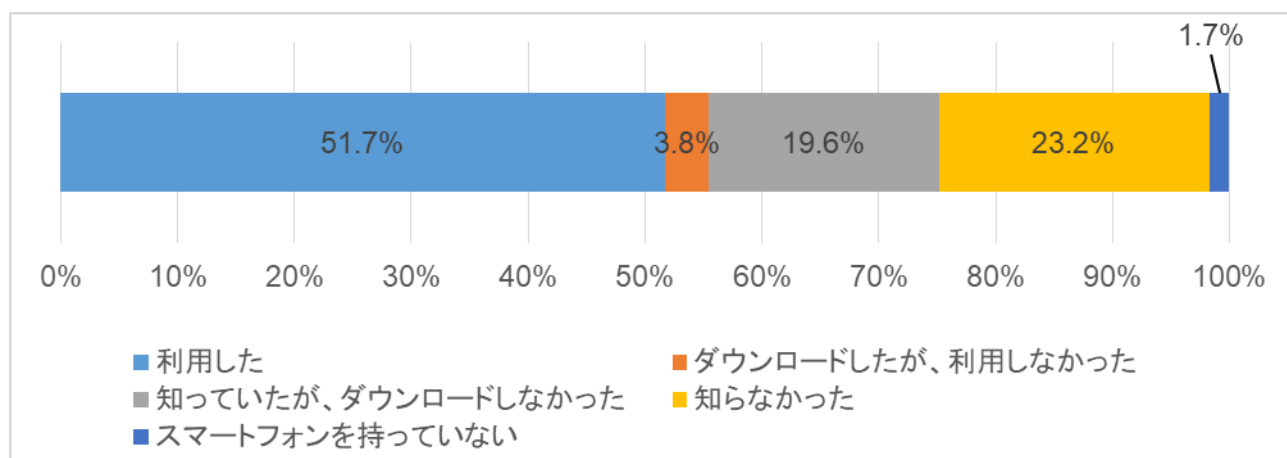
ボランティア活動で最も印象に残ったものについては、「ランナーへの給水・給食」が 48.7%、「完走記念メダル等の配布」が 14.8%、「コース沿道整理」が 12.3%、「手荷物預かり・返却」が 11.4%、「観客の案内・誘導」が 4.0%であった。

■大会スポンサーのサービスで良かったもの（複数回答可）



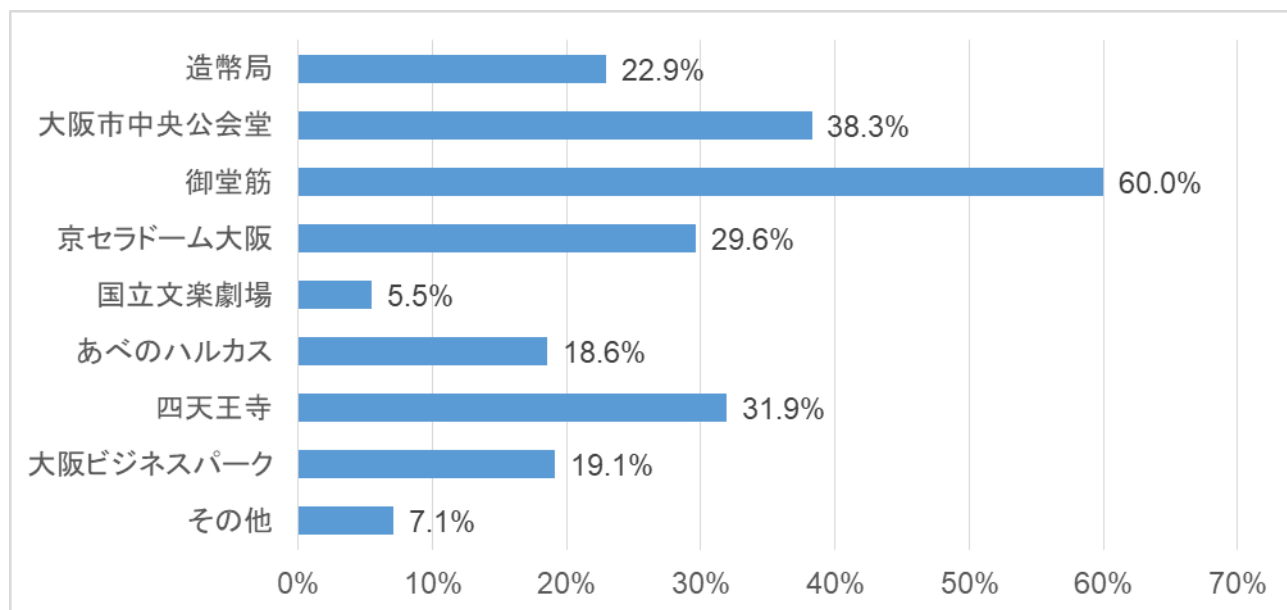
大会スポンサーサービスについては、「ランナーズアイ」が 74.5%（昨年：73.9%）、「各給水所及びフィニッシュにて、コカ・コーラ製品飲料の提供」が 49.9%（昨年：54.3%）、「スタート地点・各給水所での清掃ボランティア」が 42.9%（昨年：40.5%）であった。

■「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」の利用



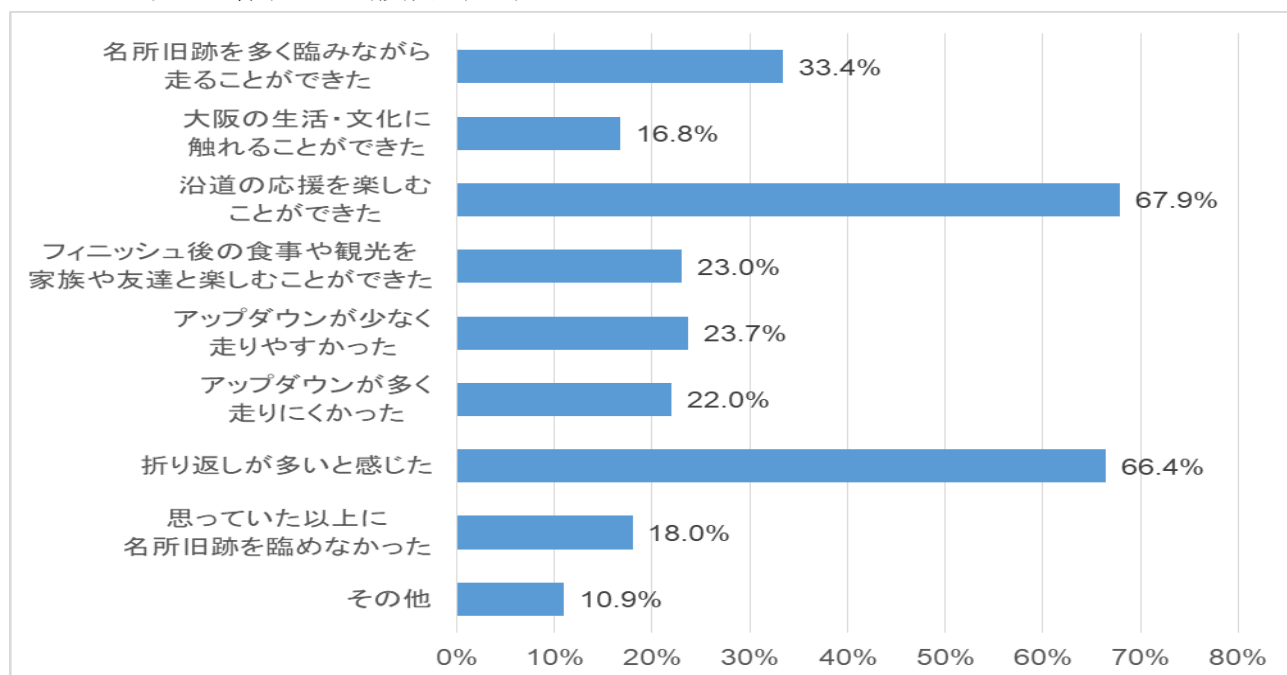
公式スマートフォンアプリについては「利用した」が 51.7%（昨年：42.5%）、「知らなかった」が 23.2%（昨年：25.8%）、「知っていたがダウンロードしなかった」が 19.6%（昨年：23.4%）であった。

■新しいコースで印象に残った場所（複数回答可）



新しいコースで印象に残った場所については、「御堂筋」が 60.0%、「大阪市中央公会堂」が 38.3%、「四天王寺」が 31.9%、「京セラドーム大阪」が 29.6%、「造幣局」が 22.9%であった。

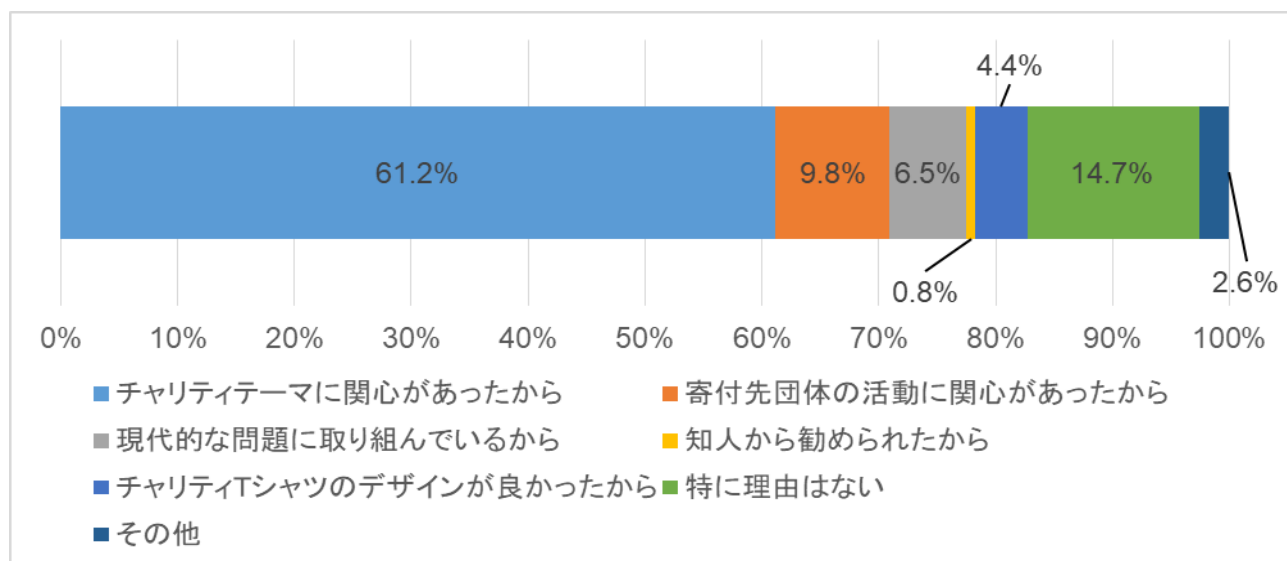
■コースの変更に伴う感想（複数回答可）



コースの変更に伴う感想については、「沿道の応援を楽しむことができた」が 67.9%、「折り返しが多いと感じた」が 66.4%、「名所旧跡を多く臨みながら走ることができた」が 33.4%、「アップダウンが少なく走りやすかった」が 23.7%、「フィニッシュ後の食事や観光を家族や友達と楽しむことができた」が 23.0%であった。

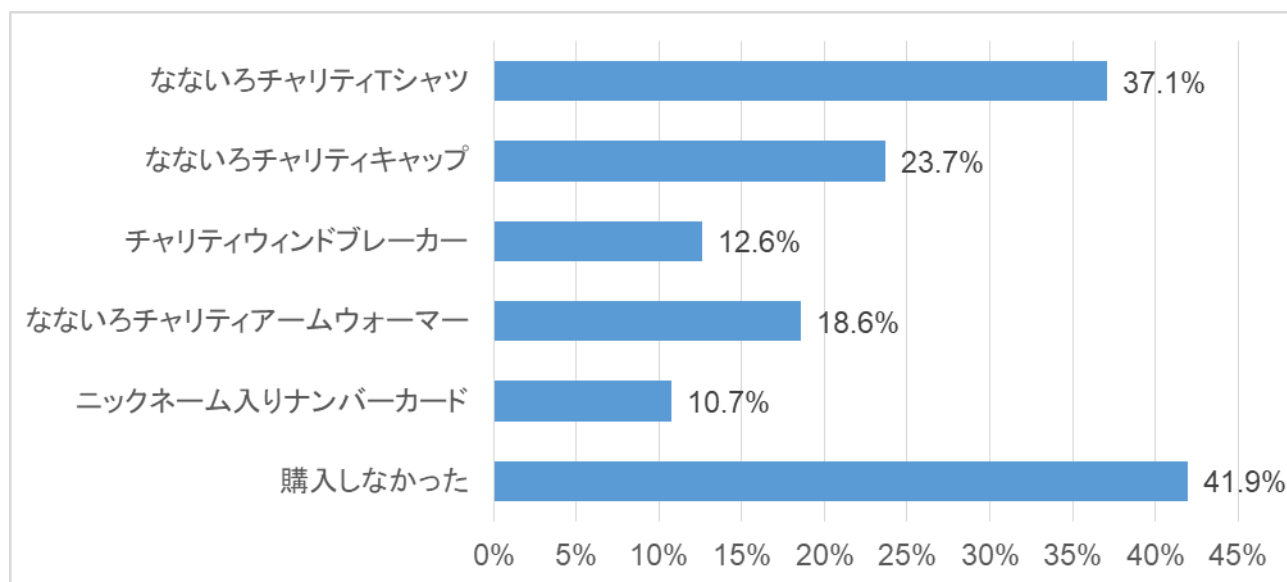
3 チャリティについて

■チャリティ募金の際に寄付先を決めた理由



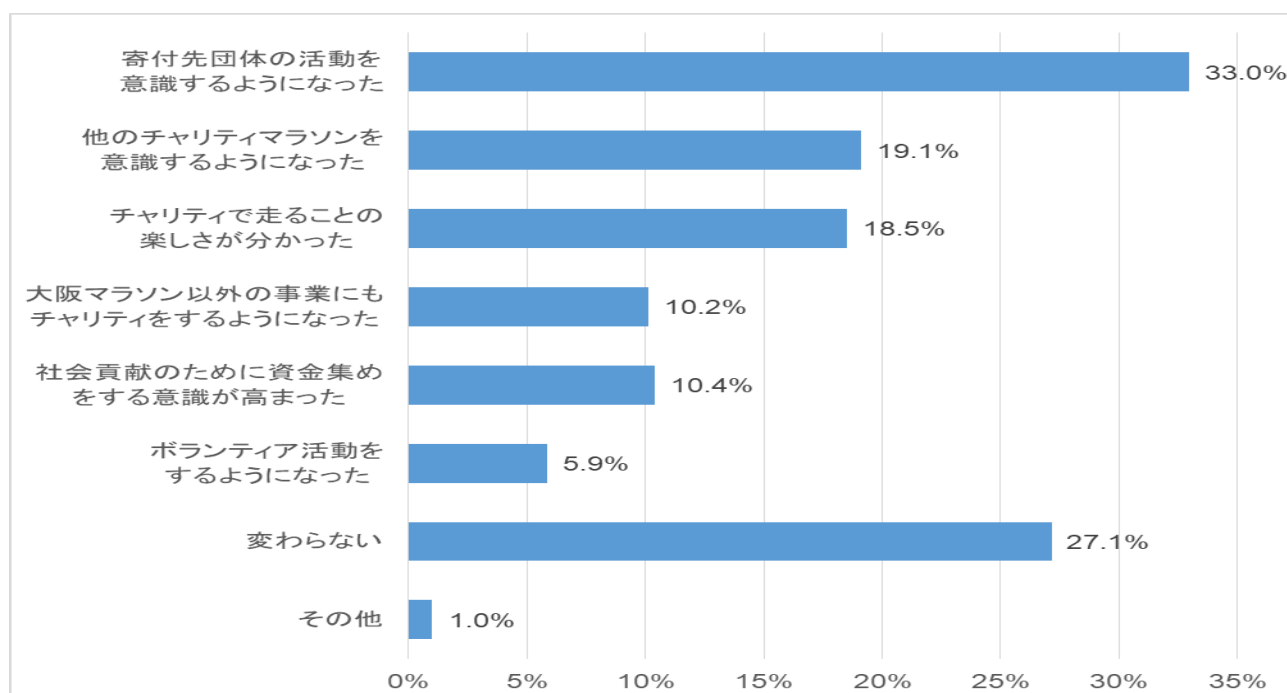
寄付先団体を決めた理由については、「チャリティテーマに関心があったから」が 61.2%（昨年：66.4%）、「寄付先団体の活動に関心があったから」が 9.8%（昨年：7.7%）、「現代的な問題に取り組んでいるから」が 6.5%（昨年：5.7%）であった。一方、「特に理由はない」が 14.7%（昨年は「なんとなく」：13.8%）であった。

■チャリティグッズの購入（複数回答可）



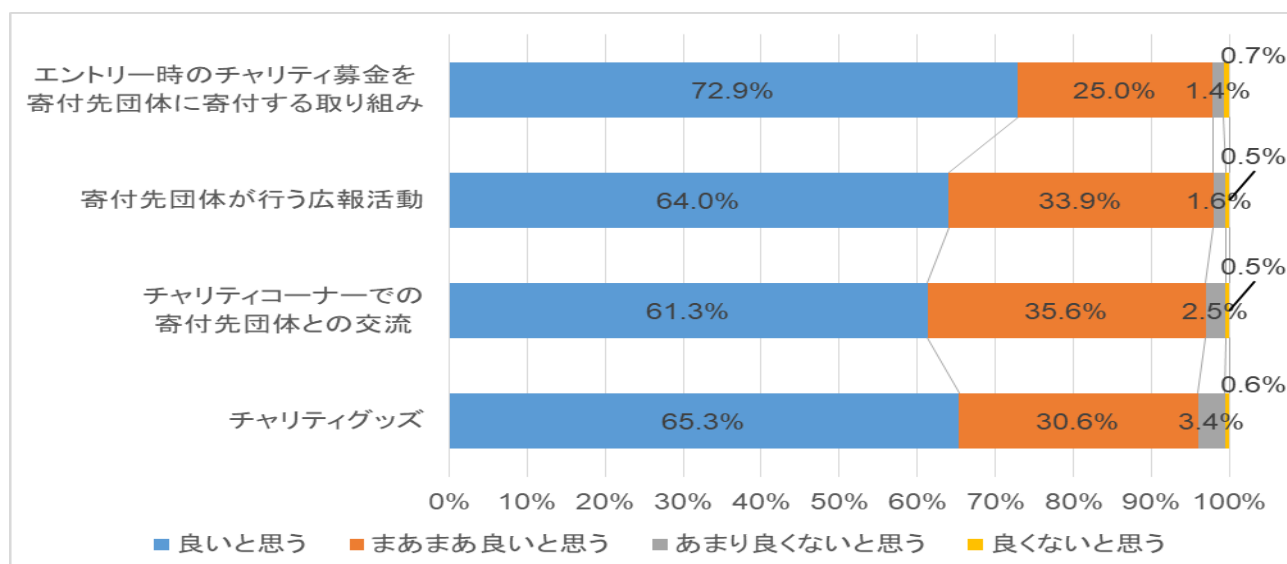
チャリティグッズの購入については、「なないろチャリティ T シャツ」が 37.1%（昨年：30.1%）、「なないろチャリティキャップ」が 23.7%（昨年：15.9%）「なないろチャリティアームウォーマー」が 18.6%（昨年：11.5%）であった。一方、「購入しなかった」が 41.9%（昨年：52.2%）であった。

■チャリティに対する意識や活動の変化について（複数回答可）



チャリティに対する意識や活動の変化については、「寄付先団体の活動を意識するようになった」が33.0%（昨年：23.3%）、「他のチャリティマラソンを意識するようになった」が19.1%（昨年：12.1%）、「チャリティで走ることの楽しさが分かった」が18.5%（昨年9.8%）であった。一方、「変わらない」が27.1%（昨年：35.3%）であった。

■大阪マラソンのチャリティの取り組み



大阪マラソンのチャリティの取り組みについては、「良いと思う」と回答した人の割合で見ると、「エントリー時のチャリティ募金を寄付先団体に寄付する取り組み」が72.9%、「チャリティグッズ」が65.3%、「寄付先団体が行う広報活動」が64.0%であった。

一般ランナー自由記述（抜粋）

<コースの変更について>

年代	1 男 2 女	コメント
50	2	ゴール後の交通機関が、今までのコースと違い便利だった。大阪城がゴールというのは感動だった。
40	2	イチョウや紅葉が同時に楽しめて良かった。駅での混雑もインテックスの時のような混雑も無く、スピーディに梅田に出られるのは嬉しかった。
30	2	コースは、折返しが多くて知り合いがいたらお互いに励まし合いながら走ることが出来ました。ラスト 8 km の今里筋の直線は、本当に長く感じました。でも、沿道からの応援とラスト 5 km から出てくる「あと何キロ」という旗があったので頑張ることが出来ました。アップダウンは、気になりませんでした。私は、序盤から両膝が痛くなってしまったので、下り坂（特に 28 km 以降の長い下り）が辛かったです。でも、楽しいコースでした！！
60	1	コースは、前回までと違い大阪を走っていることを楽しめたのと、沿道の応援は途切れることなく力を与えてくれた。ゴールとなった大阪城公園は市内を 42.195 km 完走して帰ってきた実感が大きかった。
40	1	コースが変わったことで、昨年までは終盤は工業地域で応援が少なかった区間も声援がすごく、ゴールまで楽しかった。また歴史を感じられる部分もあり、色々な大阪が見られた。ただ、コース幅が狭いと感じるところもあり、そこは改善してほしいと思った。
50	2	41 km の地点で大阪城公園に入る時、真正面に大阪城が綺麗に見え、とても晴れやかな気持ちになった。
50	1	マラソン後の打ち上げ、新幹線利用のため新大阪駅への移動がインテックス大阪よりも近くて便利になったのでとてもよかった。前日受付もスタート会場に近くが便利なので変えてもらえるとさらによい。
30	2	安全確保のためと思いますが、沿道とランナーの間に 1 車線区切っている箇所が多く、沿道との距離を感じました。
40	1	ゴール後にそのまま大阪城など観光できるのが良いと思います。また、移動について近隣に複数の交通機関があり、それぞれに乗る事が出来るから便利で、混まないのがゴール後の脚を考えるととても良いと思います。
50	2	どのコースの沿道にも、沢山の応援の方々がおられ、応援、声援が途切れることがなかった。これまでの応援の人の人数よりかなり多いと感じた。
40	1	ゴールが見れなかったと応援に来ていた家族が残念そうでした
40	1	スタートとゴール地点が同じあたりなのが、家族との待ち合わせなどにしてもよかった
40	2	大阪マラソンなので大阪城でゴールは良いと思います。
40	2	フィニッシュ地点では友人、家族の応援が欲しかった。道路幅が狭いところが多かった。

30	2	めつつちゃ、楽しかったです！はじめての大阪で、土地勘なかったの、周りを見渡しなが走りましたが、有名な場所がどれなのか結局わからなかったのが唯一残念笑 でも来年また同じ景色を見たいと思っちゃいました！あとは、折り返しが多いのは好きなので◎だし、アップダウンが本当に多いけど、それが大阪マラソン！っていう気持ちにもなってます！まいどエイドはちょうど良い場所にあったし、もう雰囲気といい、坂にはヤラレタけど過去1番テンション上がった大会でした！
30	1	大阪城公園がゴールになって、終了後に市内各所へのアクセスがしやすくなったのは良いと思います。また、御堂筋を往復するコースを復活させたら、もっと良くなると思います。
40	1	大阪の中心のゴールでフィニッシュ後に家族や親戚と出かけることができた。南港でも悪くないのですが、駅までが遠いので今回の方が良かった。
50	2	大阪城を見ながらゴールできるようになり、新コースに走らせていただき感謝したい。ただ、この日は晴天でよかったですが、雨天だったら、荷物の受け渡しなどの時に大変かもしれません。
30	1	初参加だったので前回までとの比較が出来ませんが、中央公会堂の脇を通り、御堂筋は走れるし、京セラドームも見れたり、鶴橋を通ったり、阿倍野ハルカスを見上げることができるなど、楽しめました。
40	2	折り返しが多く走りにくいと思いましたが、次の曲がり角までのおおよその距離感がつかめましたのでそれはよかったと思います。後半のアップダウンはきついと思いましたが、醍醐味だと思うのでこれはこれでいいと思いました。スタート地点等コースが狭いところは何カ所もあり走りにくいと思うところがありました。ゴールが大阪城というのはいいと思います。
50	2	御堂筋が一番の盛り上がる場所だと思っていましたが歩道の応援からかなり遠くて、寂しく感じました片町から銀橋あたりまでが混雑していて少し走りづらかったですでも全体的に旧コースよりも応援の方が多く楽しんで走れましたし、帰りのアクセスもよく飲食できる場所もたくさんあり、新コースになってとてもよくなったと思います
50	1	折り返しが多いのは、他に頑張っているランナー、また著名人と会うことも多かったので、良かった。
50	1	スタート時のブロックまでの導線や、ブロック直前のトイレにウェーブスタートの違うグループが混在しており、改善の余地があると思います。フィニッシュ以降はストレスなく、これを優先なさったのであれば、事前の注意をもっと入念にするなど、対処方法をご検討いただけると良いと思います。
50	2	荷物を預けた大阪城公園にフィニッシュ出来るのは、とても良いと思った。
60	1	折り返しコーンをお楽しみにと何処かで目にして気にしていましたが6回ある折り返しで2箇所しか工夫が無かったのでは？13km付近の太陽の塔、27km付近のビリケンさんしか確認しなかった。
50	1	松屋町筋における線香の香りが印象に残りました。走りながら凜とした気持ちになりました。

<ボランティアについて>

年代	1 男 2 女	コメント
40	1	お年寄りの自転車をボランティアスタッフが担いで歩道橋を渡っていたのが印象的でした！私たちが走りやすくなるように皆さんが協力してくれているんだな、と改めて感謝です。
50	2	ゴール後、足の違和感を感じ、足がつるのかな？と初めての事だったので不安ですぐ近くにいたトレーナーさんに、ストレッチを教えてくださいとお願いしたところ、その場でマッサージしてくださいました。すぐによくなりました。ずっと笑顔でいろいろ話してくださいました。将来スポーツトレーナーを目指している大学生さんだったようで、私の中での大阪マラソンの輝きが増す出来事でした！
60	1	すべてのボランティアの方に感謝申し上げますが、強いて申し上げれば、歩道橋、地下通路で自転車等を運んでくださった方々にお礼申し上げたい。
40	1	ゴール後にタイガースのユニフォームを着ていたのでボランティアの学生が六甲おろしを歌って祝ってくれたこと。
50	2	ボランティアの人達も大変なのに、私達ランナーに声援をかけてくれました。途中足のマメが潰れそうで歩こうと思ったけど、笑顔でゼッケンに記載した名前を呼び、励ましてくれました。なので最後まで歩かず完走出来ました。感謝です。有り難うございました。
30	2	いろんなマラソンに参加していますが、飲み物を受け取りやすかった気がします。しかし、食べ物も少ない印象があったり、ゴミ箱が紙コップ用と一般ごみ用が分かりにくかった印象もありました。
40	1	応援に来てくれた家族から聞きましたが、案内や誘導が充実している上に、とても丁寧だったそうです。私もランナーとして走りながら、スタッフのきめ細かく暖かい対応にとっても感動いたしました。
30	2	一生懸命応援もしつつ給水作業も共にしていただいて嬉しい気持ちになりました。
50	1	笑顔で迎えてくれて、「お疲れさま」などの掛け声、ハイタッチをして完走をお祝いする気持ちが感じられた。
50	1	コース沿道のボランティアスタッフの方の応援の声がすごく大きくて、本当に頑張ろうと思いました。あの声が無ければ本当に辛いときに止まっていたかもしれません。ありがとうございました。
40	2	歩道橋を渡らなければいけない一般の方の自転車を、ボランティアの方々が一台ずつ持って運んでくださってるのをみて申し訳なくて泣きそうになりました。一般の方々も文句も言わず並んでその順番を待って下さっていました。そんなみなさんのお陰で走らせてもらっているのだと痛感し、感謝の気持ちでいっぱいになりました。
50	1	外国語ボランティアのかたが、非常に頑張って目立っていた。外国人ランナーの方も多数いたので、こころ強かったのではないのでしょうか

40	1	「いってらっしゃい」「おかえりなさい」と何気ない言葉だが、完走する意欲と完走した達成感を得ることが出来たため。
40	1	ゴールしたランナーをハイタッチでお疲れさまと言ってもらい完走してとても気持ち良かった。
30	1	歩道橋を自転車をかついで運んでくれた人たち。ランナーとは直接の接点はないし、また状況によっては、住民の方からクレームも受ける立場であったと思うが、一生懸命大会をサポートしてくれたと思う。
60	1	トイレの誘導やコースでの不要物の回収、沿道の応援者への対応等、ボランティアの方も楽しみながら、清々に対応していただいたことに、非常に感動をおぼえました。災害ボランティアとはまた違い、大阪を盛り上げようとする人たち、老若男女を問わず誠意をもって活動されておられたことに感謝します。またボランティアさんたち同志も和気あいあいと取り組まれておられ、別の意味での主役意識をもっておられたのも印象的でした。
40	2	歩道橋毎にボランティアの方々が自転車を運んで下さって、「奥さんお待たせしました！」と声をかけてられたのが走っていても聞こえて、そんな中を走らせて頂く事に感謝の気持ちで一杯になりました。
40	2	自転車の誘導には、走りながら見ても頭が上がりません。応援してくれた家族曰く、電車での応援場所移動の案内は親切すぎるほどだったそうです。感謝の一言です。
20	1	完走後はとてもしんどくて歩くのもやっとの状態だったが、フィニッシャータオルや完走記念メダルをかけてもらった際にも「大丈夫?」「頑張ったね」と声をかけてもらい、ボランティアの皆様の優しさに感無量だった。
50	1	ハイタッチを求められ、完走を祝ってもらえた。帰り方も親切に教えてもらった。
60	1	給水や給食のたびに温かい声援や激励があり元気をもらいました。途中で足が痙攣し何度の止めようと思いましたが、ボランティアの方からの声掛けがあり完走できました、感謝しています。
40	1	まいどエイドの給食、初めての経験でした。唐揚げ・たこ焼きなど、そんな脂っこいものを食べて走れるのか?と思っていたましたが、これが想像以上に体力を回復させてくれて、その後の12kmを走り切る原動力となりました!
50	1	走る意欲を盛り上げてくれた受付の方が多かったです。すごく元気をもらいました。ナンバーの受け渡し時、チャリティーグッズの受け渡し時、遠くまで受付に来ていただいたという姿勢が伝わりました。
40	2	エイドでも仕事しながらハイタッチや手を振ってくれたり、誰もが笑顔で声援してくれたのがよかったです。
50	1	ボランティアの方々が歩道橋を自転車を担いで何度も往復されているのを見て、大変申し訳なく思った。歩道橋を渡るために長い行列が出来ているのを見て、周辺住民の方々に多大な迷惑をかけていると感じた。国内数多くの大会に参加しているが、これほどボランティアや周辺住民に申し訳なく感じたことはない。島を作って渡る方法など工夫しないと、関係者の理解は得られないのではないのでしょうか。

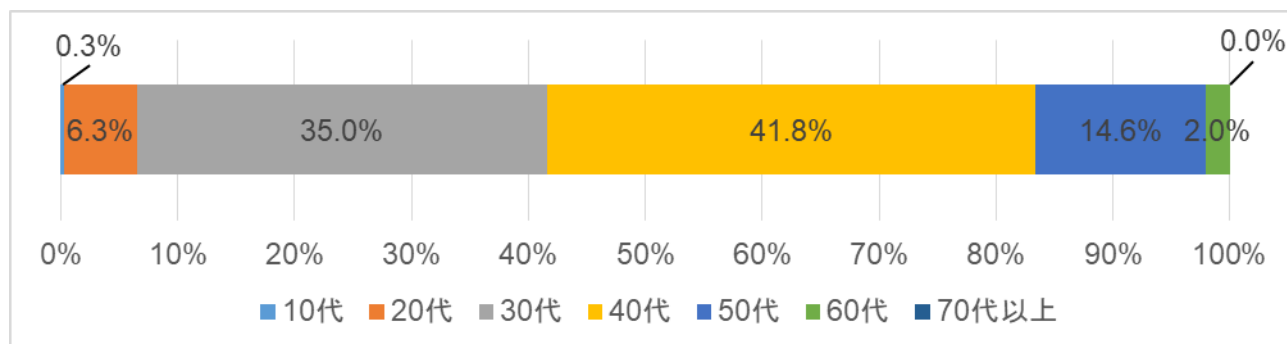
20	2	どなたも全力で応援してくれてとても勇気づけられました。あと横断できないところの地下道で、男性ボランティアさんが自転車を担いでおられる姿を見て、走りながらもボランティアさんに感謝の気持ちでいっぱいになりました。
50	1	ボランティアスタッフが海外の方に英語で質問されていて少し困った感じの様子でしたので、通訳してあげようとしたのですが、近くに居られた別のスタッフが直ぐにフォローにはいり問題を解決していたようでした。また、別の場面では台湾人か中国人かはわかりませんでしたが、中国語で道案内をされていたのには少し驚きました。
50	1	スタート地点ブロックへ入る為に並んでいた時、横から割り込んでくる人たちを注意して後ろへ誘導していたり、ゴール後に更衣室テントの周囲に待機していた観客・知人たちへ選手が疲れて帰ってくるため、道をあけるようメガホンで注意してくれていた。
50	1	手荷物返却時に、エリアごとにねぎらいの言葉など工夫されていて気持ちよかった。ちなみに、私は「万歳三唱」で、完走を祝福してもらえて、疲れが吹っ飛びました。最高でした。
50	2	ゴール後気分悪くて吐きそうだったので救護所に行きました。ずっと背中をさすってください助かりました。ありがとうございました。
30	1	1つだけというのが難しいですね。ランナーへの給水も他の大会に比べて申し分ありませんでした。コース沿道整理もスムーズでストレスに感じませんでした。家族が応援してくれましたが、そこでの誘導がよかったと聞いています。手荷物預かり、返却も混乱なく行えました。ランナー受付もスムーズにいけました1。フィニッシャータオル、乾燥記念メダルはかっこいい！どれも良かったです。
50	1	給水・給食後、しばらく走った後にも、随所にゴミ袋を持ったスタッフが立っておられたのがよかった。給水・給食ゾーンを過ぎた後もしばらく走りながら給水等続けることが多く、いつもゴミを持ちながら走っていたが、大阪マラソンではゴミを途中で捨てることができストレスが軽減された。
40	1	積極的に外国人の方に、わかりやすく外国人対応ボランティアの方が案内している姿を見まして、大阪マラソン EXPO の販売ブースの周辺や、ゴール付近、最寄り駅などにもう少しボランティアの方がいるのかなと感じました。対応は素晴らしかったです。ご苦労様でした。

Ⅱ 海外ランナー意識調査

回答者数：748

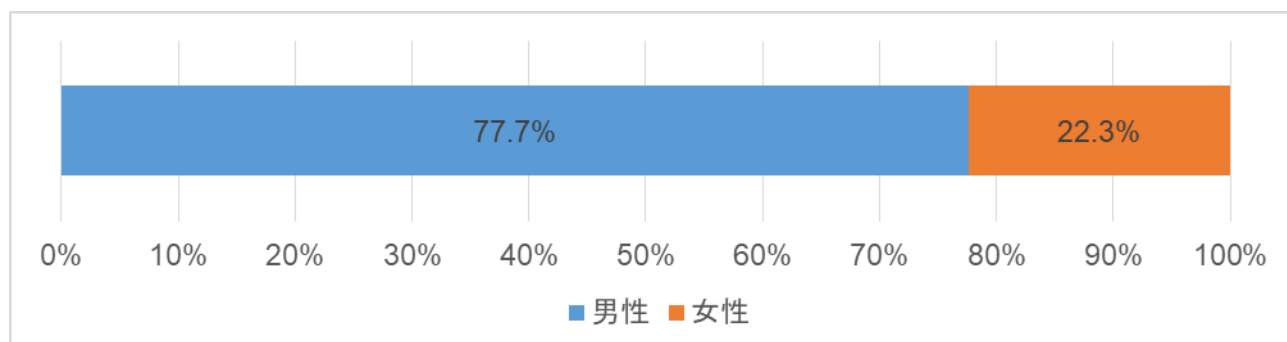
1 あなた自身について

■年齢（年代）



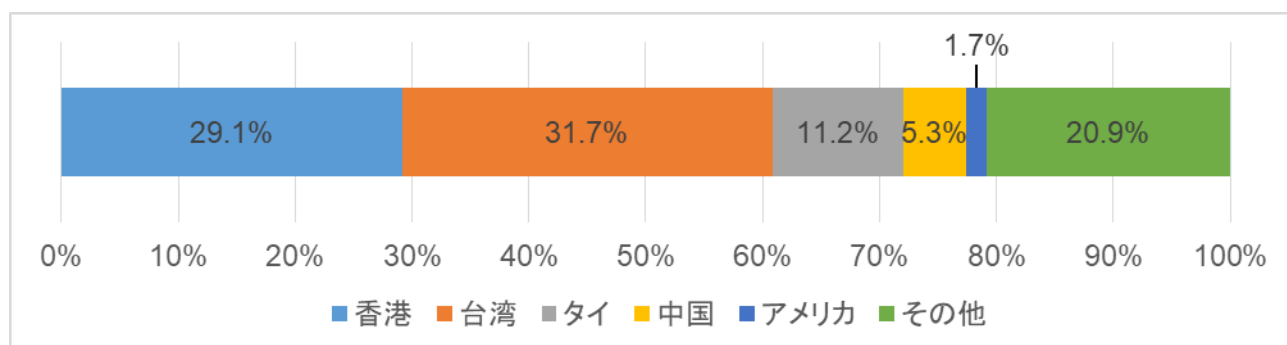
年齢（年代）については、「40代」が41.8%（昨年：40.9%）、「30代」が35.0%（昨年：39.3%）、「50代」が14.6%（昨年：10.5%）であった。

■性別



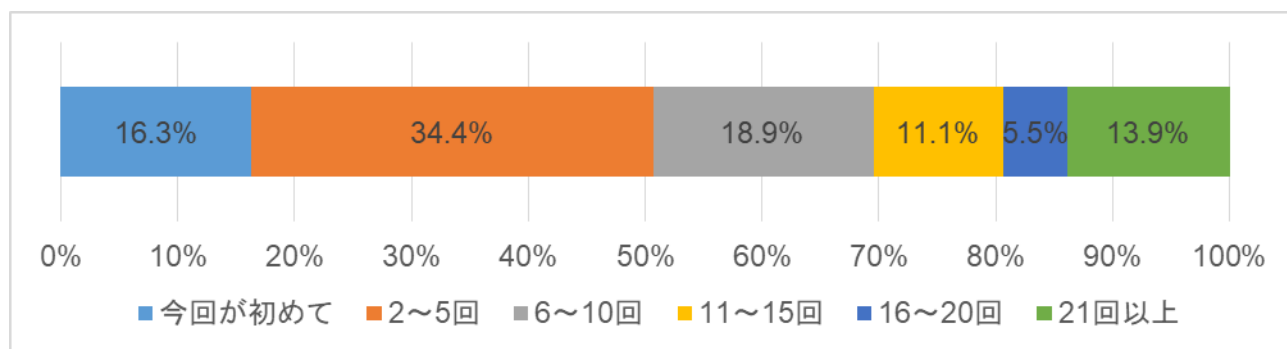
性別については、「男性」が77.7%（昨年74.7%）、「女性」が22.3%（昨年25.3%）であった。

■在住国



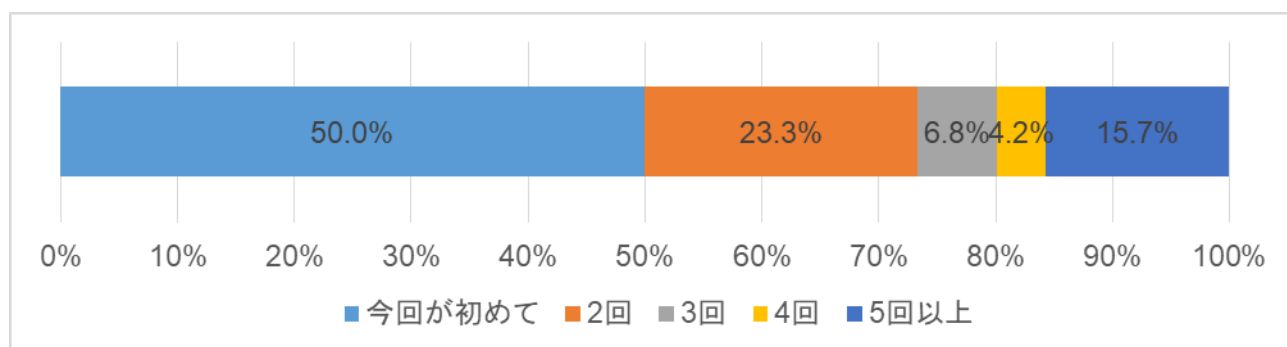
在住国については、「台湾」が31.7%（昨年：23.0%）で、「香港」が29.1%（昨年：30.3%）で、「タイ」が11.2%（昨年：18.7%）であった。

■これまでのマラソン経験



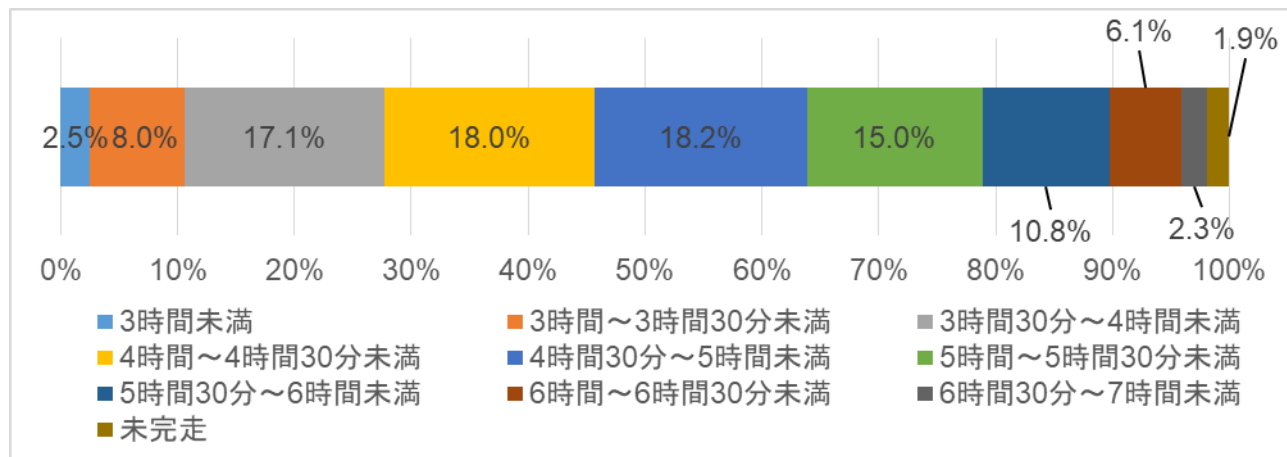
マラソン経験については、「2～5回」が 34.4%（昨年：38.6%）、「6～10回」が 18.9%（昨年：15.8%）、「今回が初めて」が 16.3%（昨年：26.5%）であった。

■これまでの日本でのマラソン参加経験



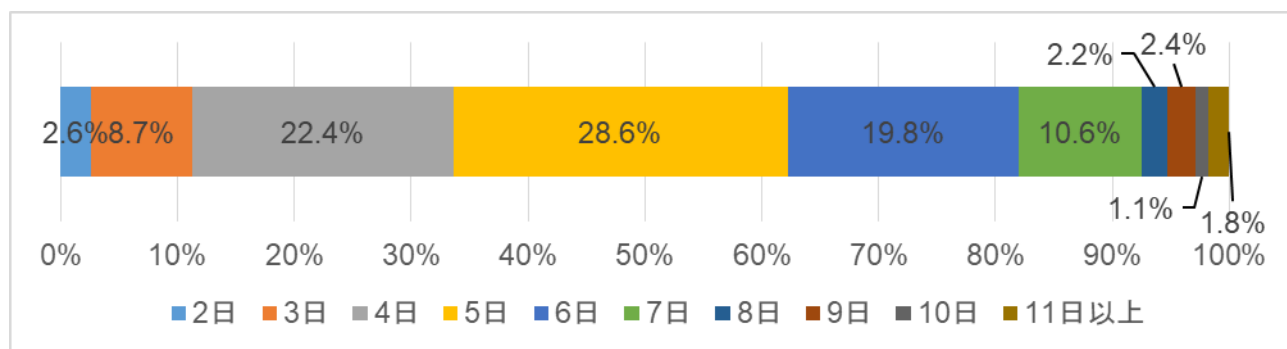
日本でのマラソン経験については、「今回が初めて」が 50.0%（昨年：56.0%）、「2回」が 23.3%（昨年：9.7%）、「5回以上」が 15.7%（昨年：6.6%）であった。

■今回のフルマラソンのタイム



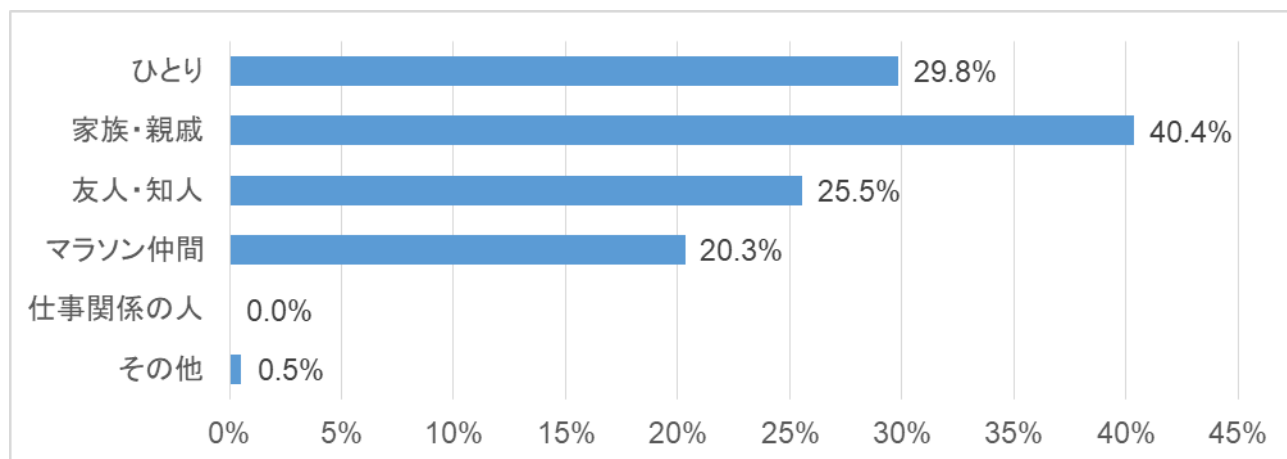
フルマラソンのタイムについては、「4時間30分から5時間未満」が 18.2%（昨年：14.9%）、「4時間から4時間30分未満」が 18.0%（昨年：12.6%）、「3時間30分から4時間未満」が 17.1%（昨年：16.5%）であった。

■滞在日数



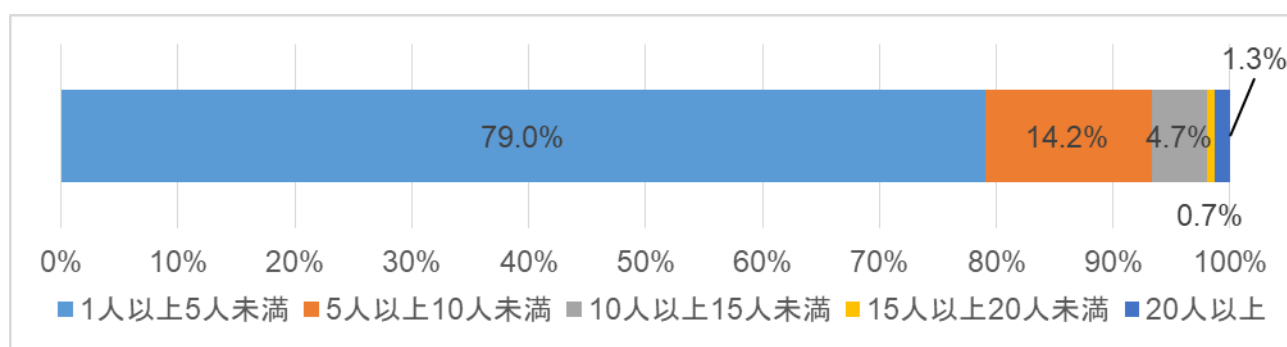
大阪の滞在日数については、「5日」が28.6%（昨年：17.6%）、「4日」が22.4%（昨年：25.4%）、「6日」が19.8%（昨年：8.8%）であった。

■大会への同伴（複数回答可）



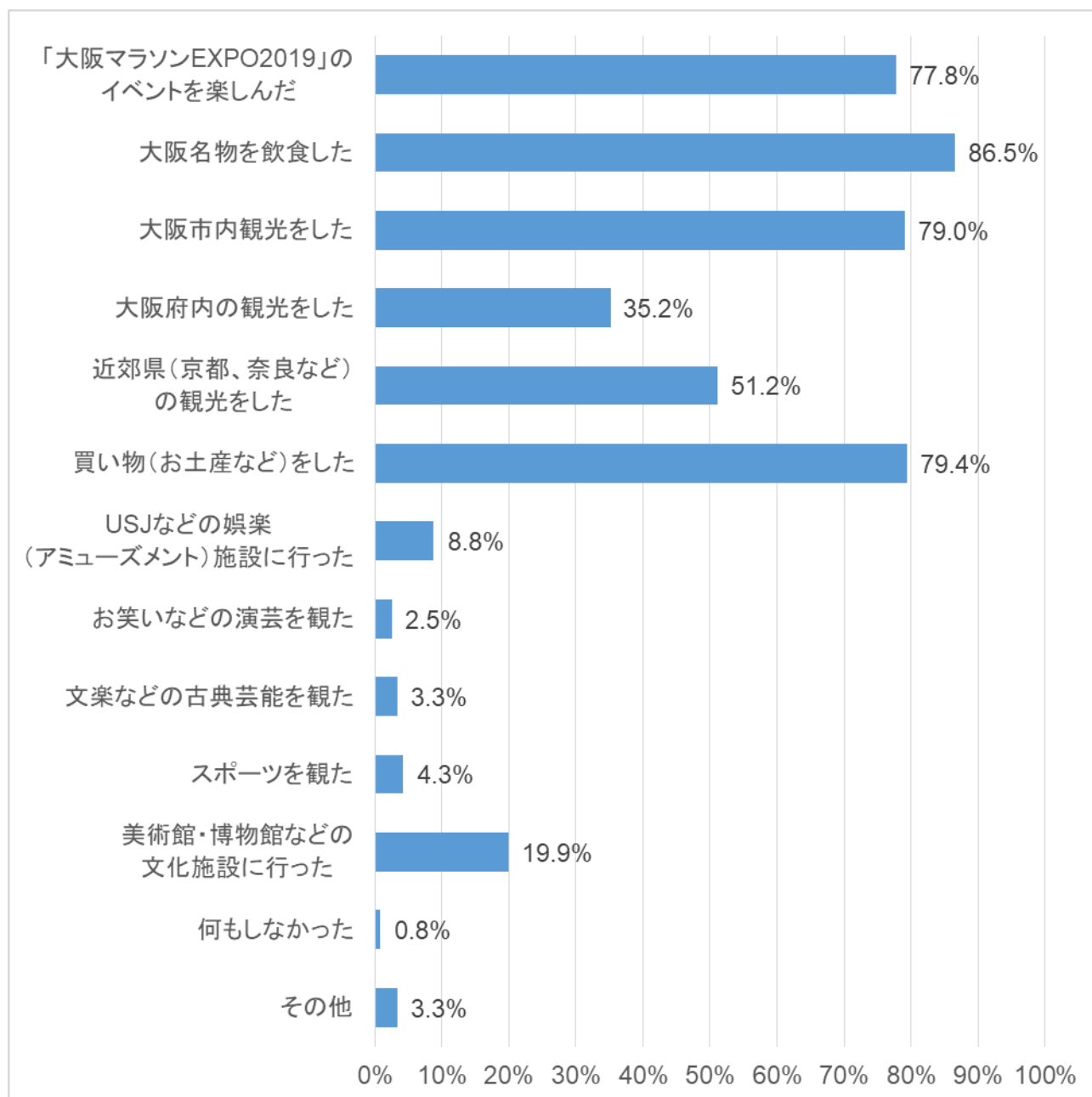
大会への同伴については、「家族・親戚」が40.4%（昨年：30.4%）、「ひとりで」が29.8%（昨年：34.0%）、「友人・知人」が25.5%（昨年：30.0%）であった。

■大会への同伴者の人数



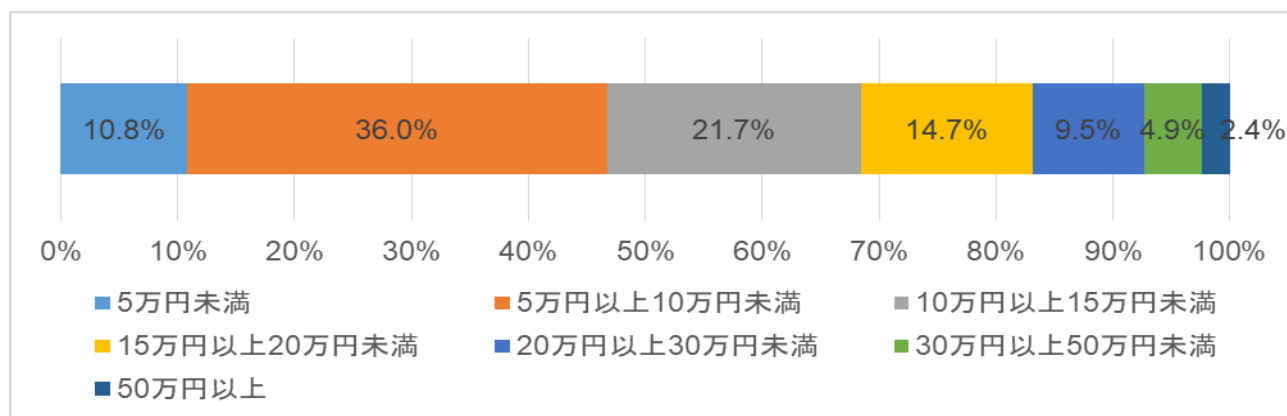
大会への同伴者の人数については、「1人以上5人未満」が79.0%（昨年：82.9%）、「5人以上10人未満」が14.2%（昨年：12.9%）、「10人以上15人未満」が4.7%（昨年2.2%）であった。

■大阪滞在中の大阪マラソン以外の活動（複数回答可）



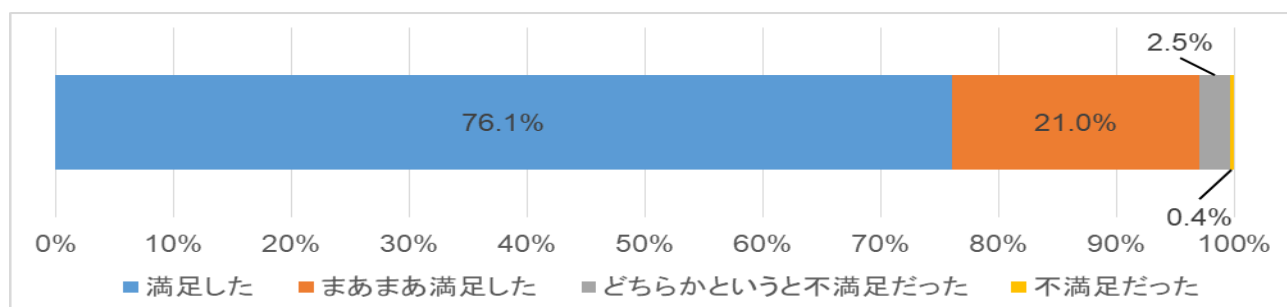
大阪マラソン以外の活動については、「大阪名物を飲食した」が86.5%（昨年：77.1%）、「買い物（お土産など）をした」が79.4%（昨年：83.8%）、「大阪市内観光をした」が79.0%（昨年：77.3%）であった。

■大阪滞在中の経費（宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切、大阪への渡航費、大阪マラソン参加料、チャリティは除く）



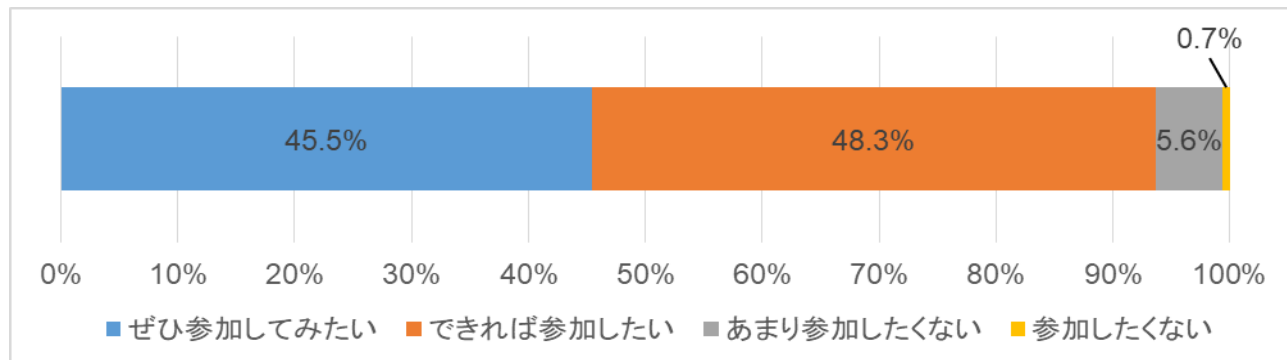
大阪滞在中の経費については、「5万円以上10万円未満」が36.0%（昨年：31.3%）、「10万円以上15万円未満」が21.7%（昨年：24.4%）、「15万円以上20万円未満」が14.7%（昨年：14.7%）であった。

■第9回大阪マラソンの海外ランナーの満足度



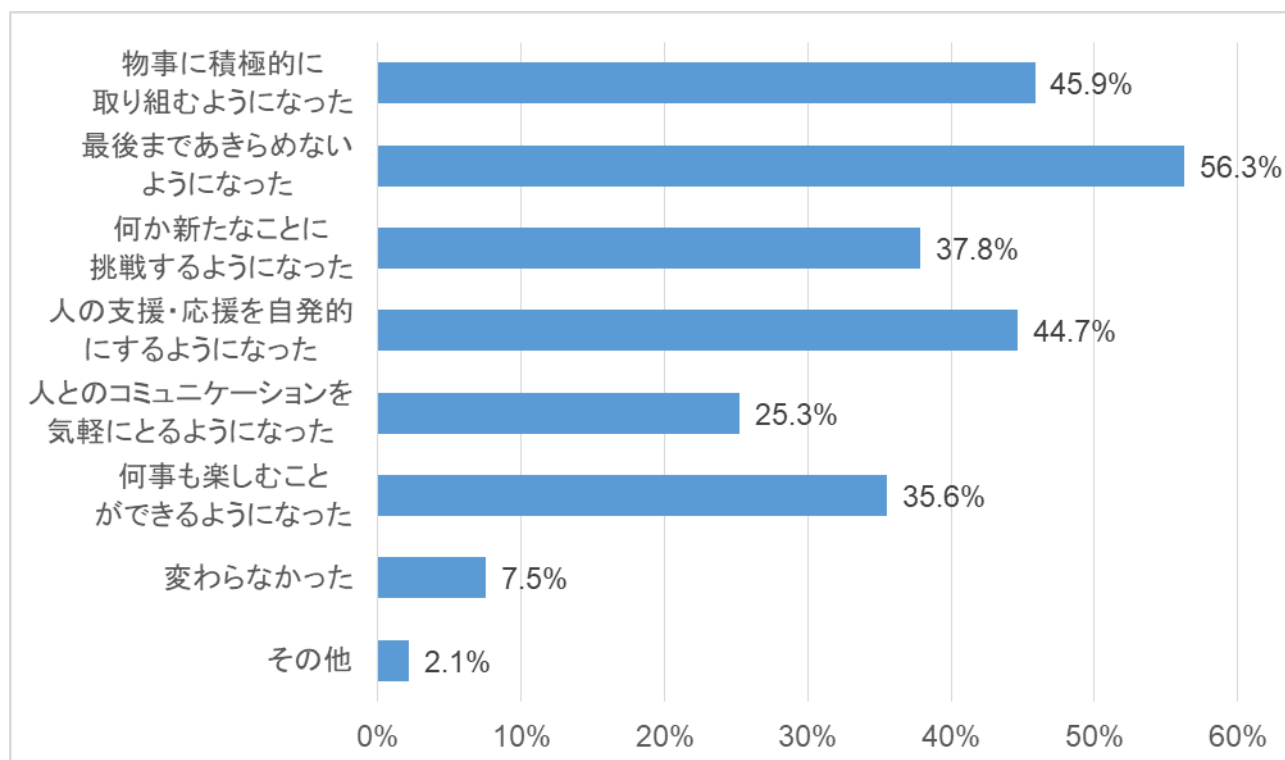
大会の満足度については、「満足した」が76.1%（昨年：81.1%）、「まあまあ満足した」が21.0%（昨年：17.1%）と、満足している人が97.1%（昨年：98.2%）であった。

■第10回大阪マラソンへの海外ランナーの参加意欲



第10回大阪マラソンへの参加意欲については、「ぜひ参加してみたい」が45.5%（昨年：45.2%）、「できれば参加してみたい」が48.3%（昨年：48.3%）と、参加したいと回答した人が93.8%（昨年：93.5%）であった。

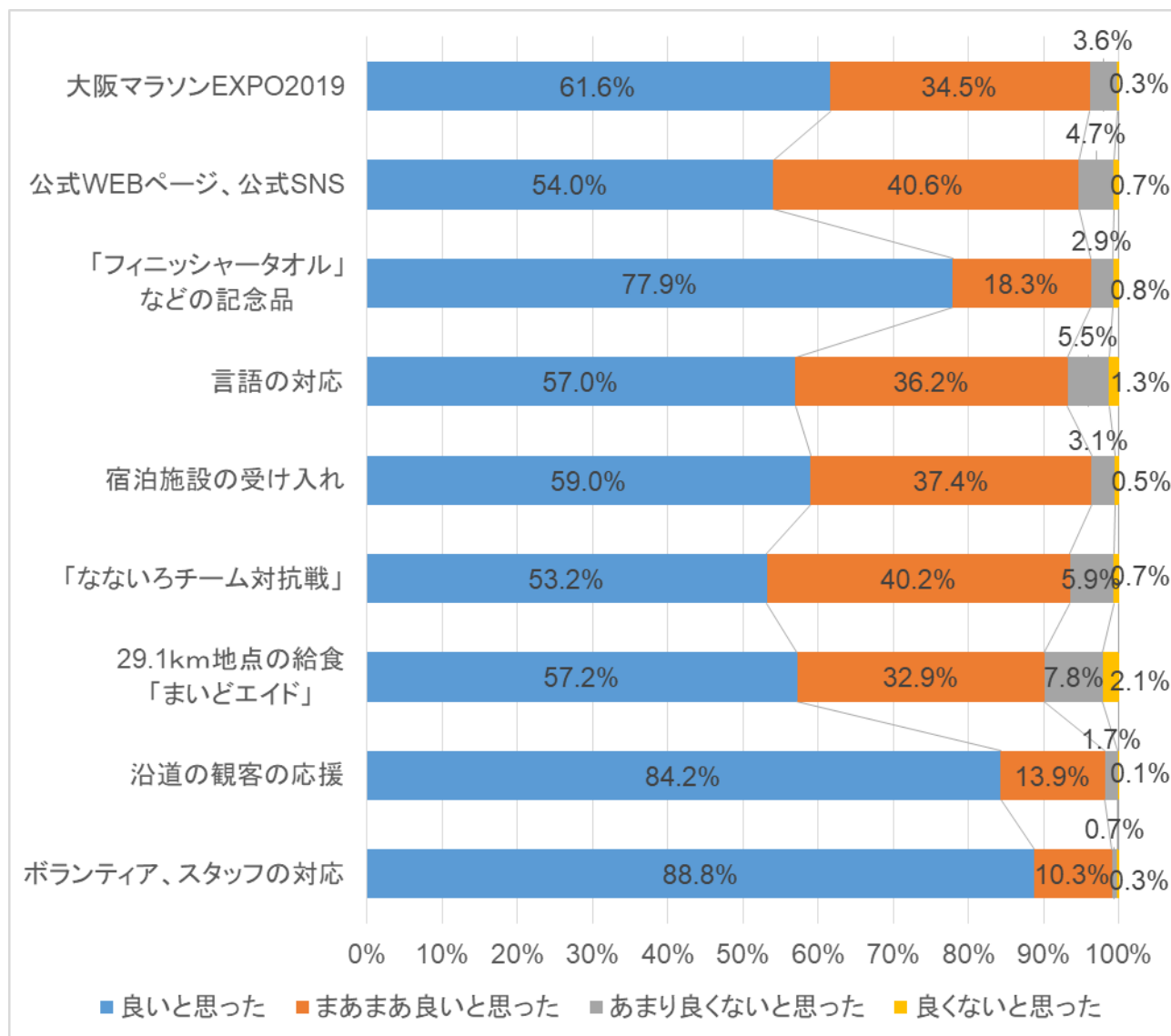
■大会参加による生活上の意識や行動の変化（複数回答可）



大会参加による生活上の意識や行動の変化については、「最後まであきらめないようになった」が56.3%（昨年：44.6%）、「物事に積極的に取り組むようになった」が45.9%（昨年：39.7%）、「人の支援・応援を自発的にするようになった」が44.7%（昨年：30.3%）であった。

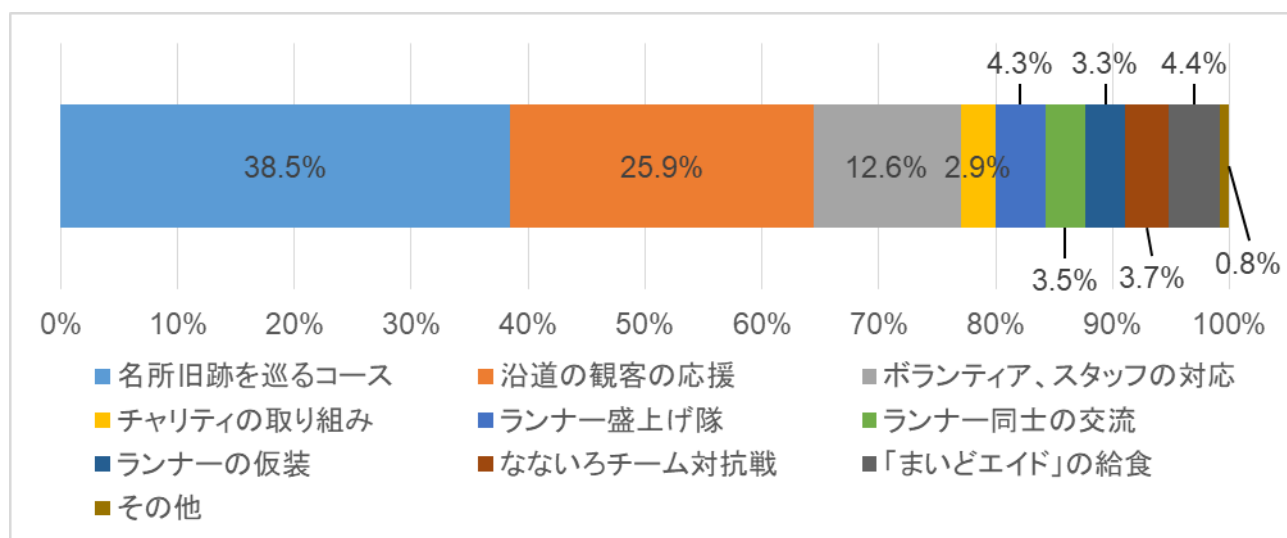
2 第9回大阪マラソンの運営について

■第9回の大阪マラソンの運営評価



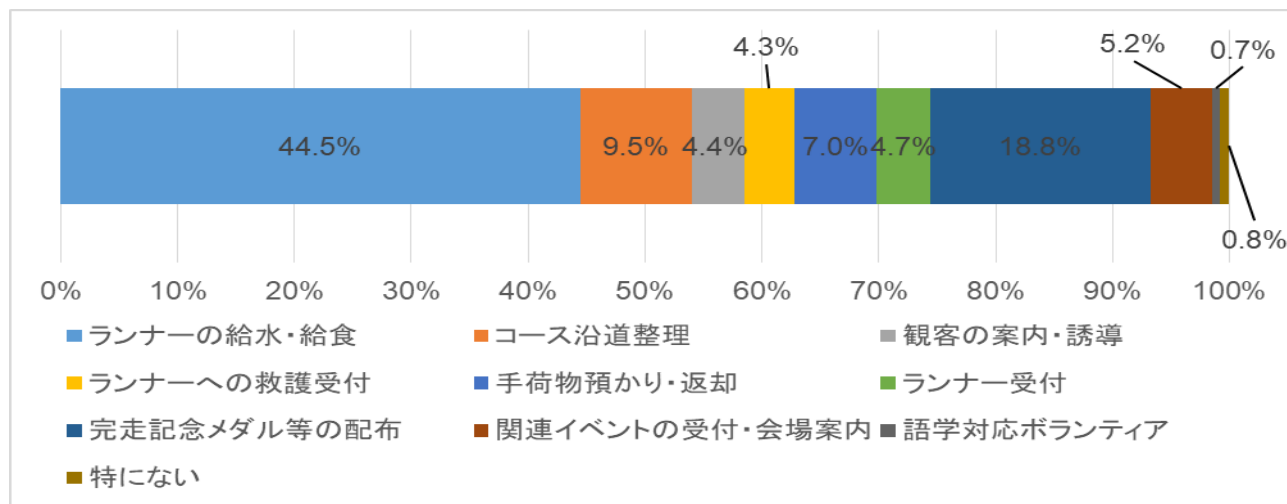
大阪マラソンの運営については、「良いと思った」と回答した人の割合だけで見ると、「ボランティア、スタッフの対応」が88.8%（昨年：89.8%）、「沿道の観客の応援」が84.2%（昨年：86.0%）「フィニッシャータオルなどの記念品」が77.9%（昨年：86.0%）であった。

■大阪マラソンで最も魅力的なもの



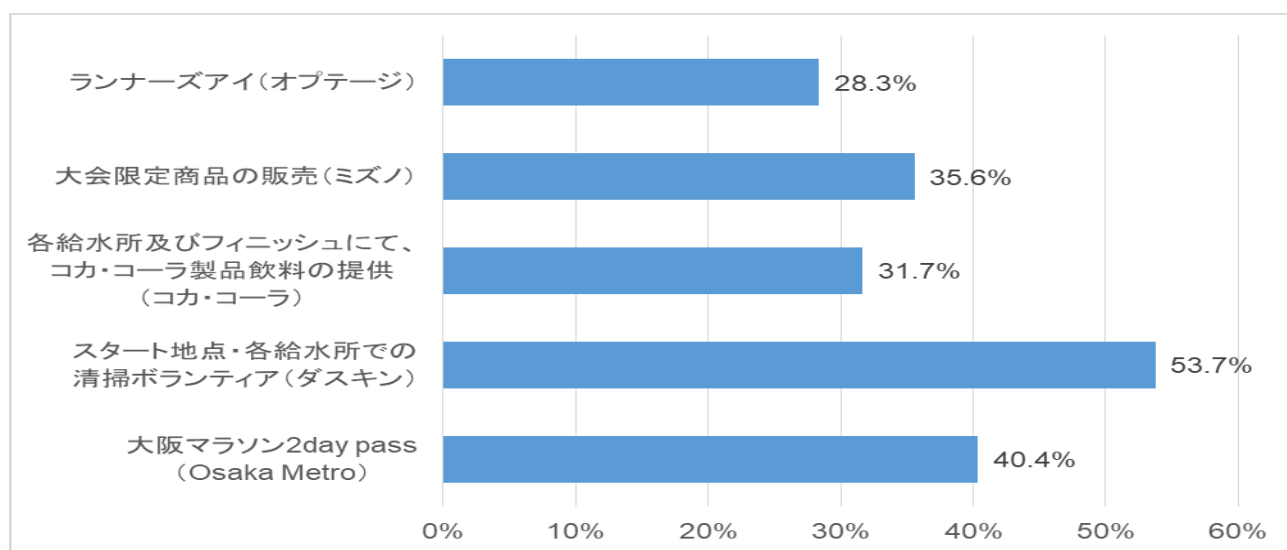
大阪マラソンで最も魅力的なものについては、「名所旧跡を巡るコース」が 38.5%（昨年は観光地を巡るコース：5.2%）が増加し、「沿道の観客の応援」が 25.9%（昨年：57.1%）、「ボランティア、スタッフの対応」が 12.6%（昨年：17.6%）であった。

■ボランティア活動で最も印象に残ったもの



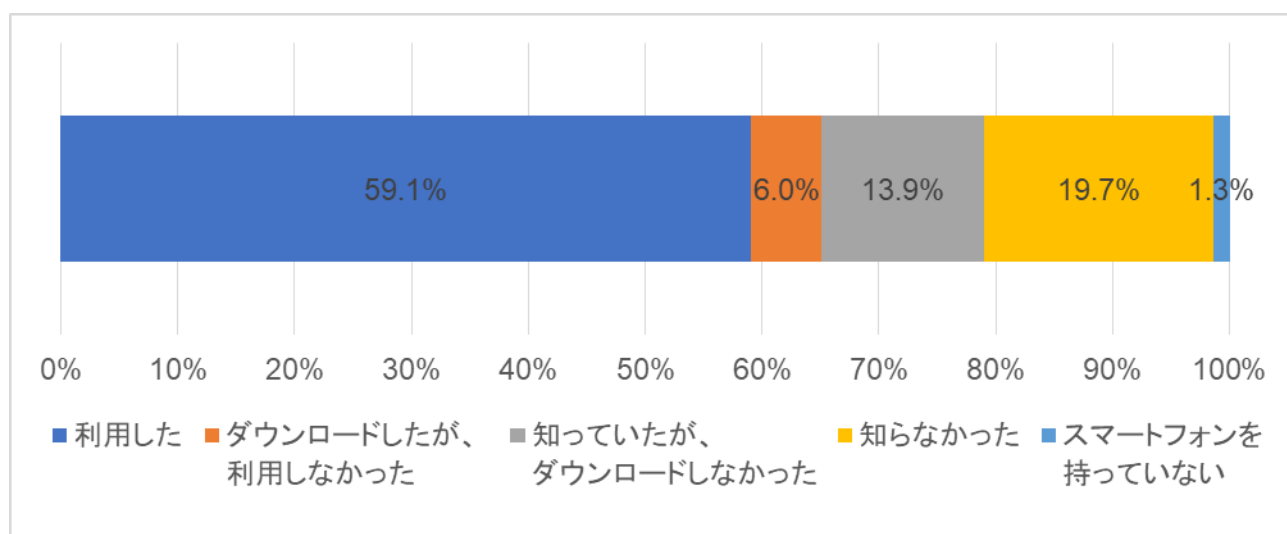
ボランティア活動で最も印象に残ったものについては、「ランナーへの給水・給食」が 44.5%、「完走記念メダル等の配布」が 18.8%、「コース沿道整理」が 9.5%であった。

■大会スポンサーのサービスで良かったもの（複数回答可）



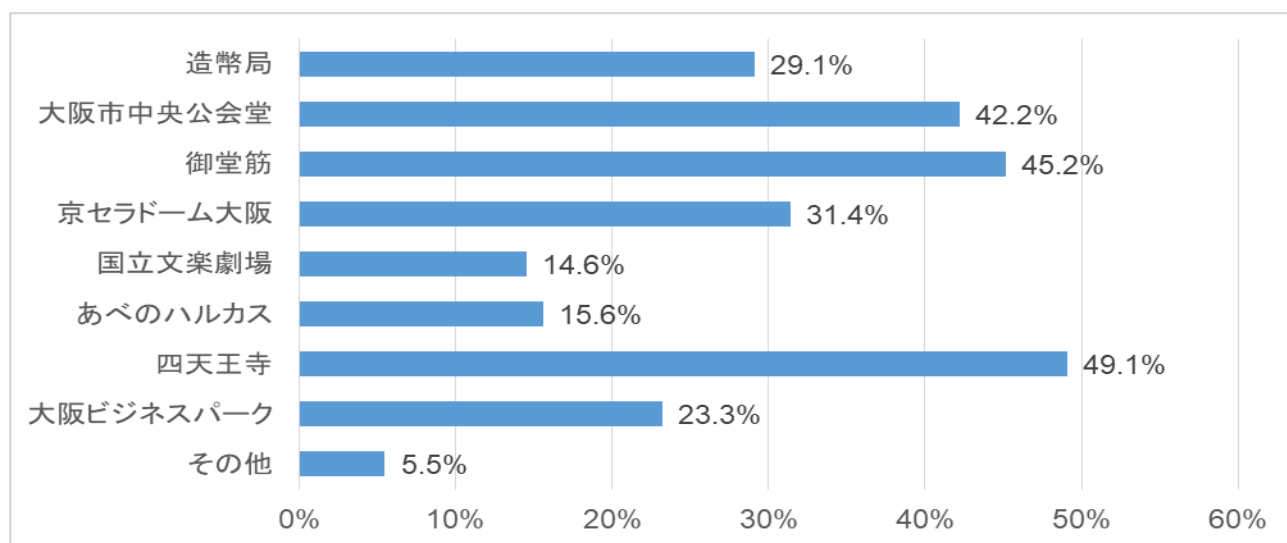
大会スポンサーサービスについては、「スタート地点・各給水所での清掃ボランティア」が 53.7%（昨年：47.1%）、「大阪マラソン 2day pass」が 40.4%（昨年：24.4%）、「大会限定商品の販売」が 35.6%（昨年：42.0%）であった。

■「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」の利用



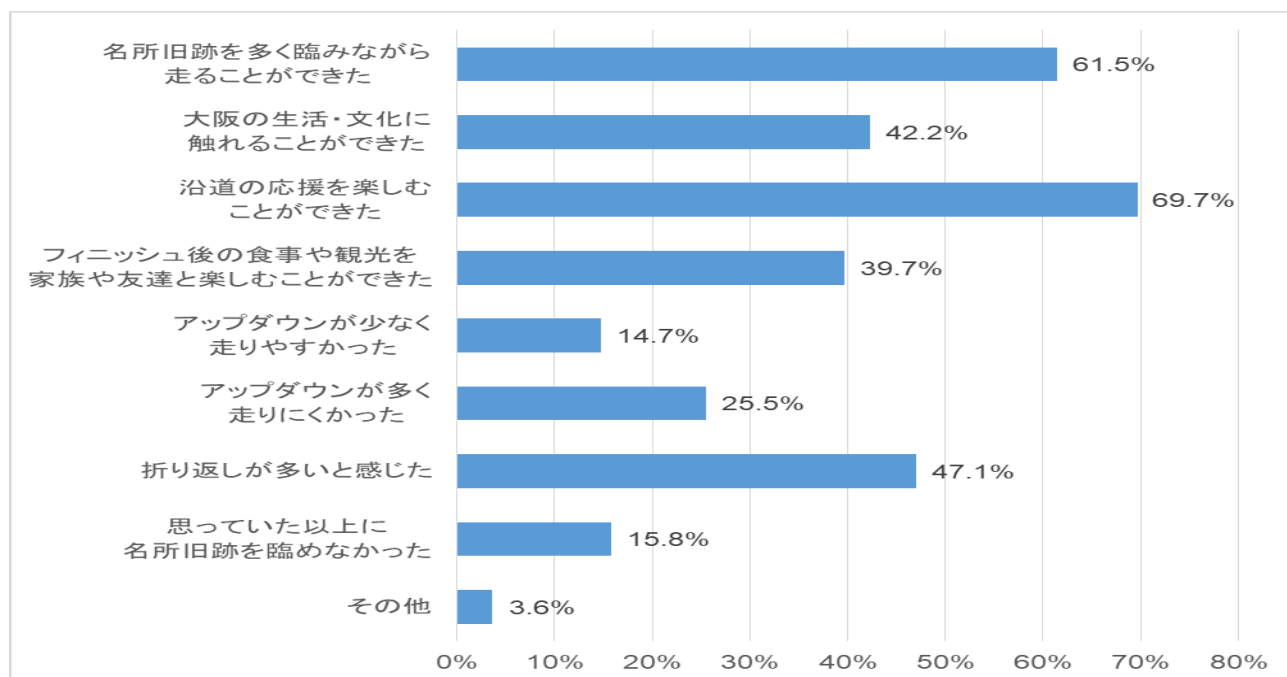
公式スマートフォンアプリの利用については、「利用した」が 59.1%（昨年：56.9%）、「知らなかった」が 19.7%（昨年：17.8%）、「知っていたがダウンロードしなかった」が 13.9%（昨年：18.1%）であった。

■新しいコースで印象に残った場所（複数回答可）



新しいコースで印象に残った場所については、「四天王寺」が 49.1%、「御堂筋」が 45.2%、「大阪市中央公会堂」が 42.2%、「京セラドーム大阪」が 31.4%、「造幣局」が 29.1%であった。

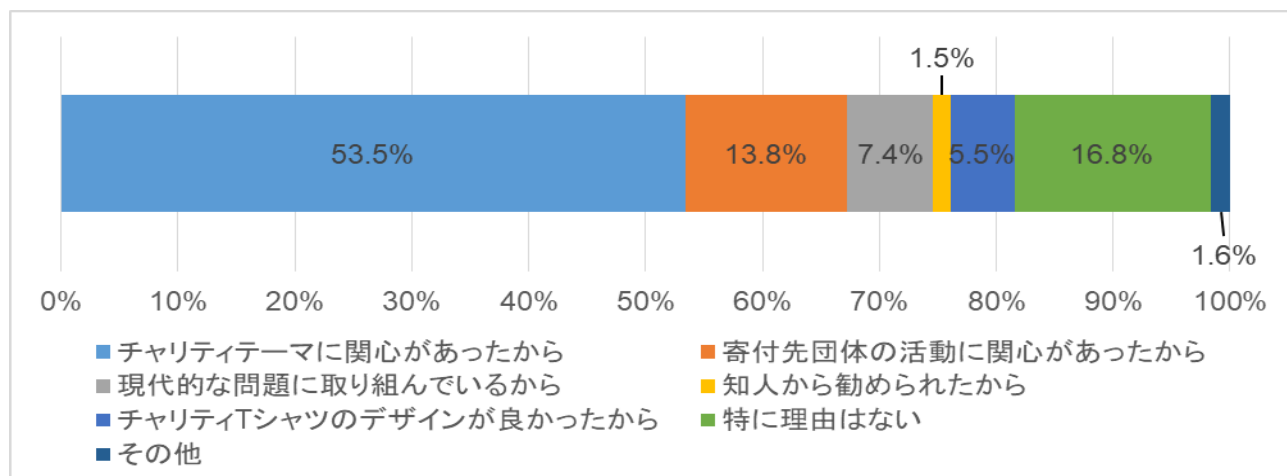
■コース変更に伴う感想について（複数回答可）



コースの変更に伴う感想については、「沿道の応援を楽しむことができた」が 69.7%、「名所旧跡を多く臨みながら走ることができた」が 61.5%、「折り返しが多いと感じた」が 47.1%、「大阪の生活・文化に触れることができた」が 42.2%、「フィニッシュ後の食事や観光を家族や友達と楽しむことができた」が 39.7%であった。

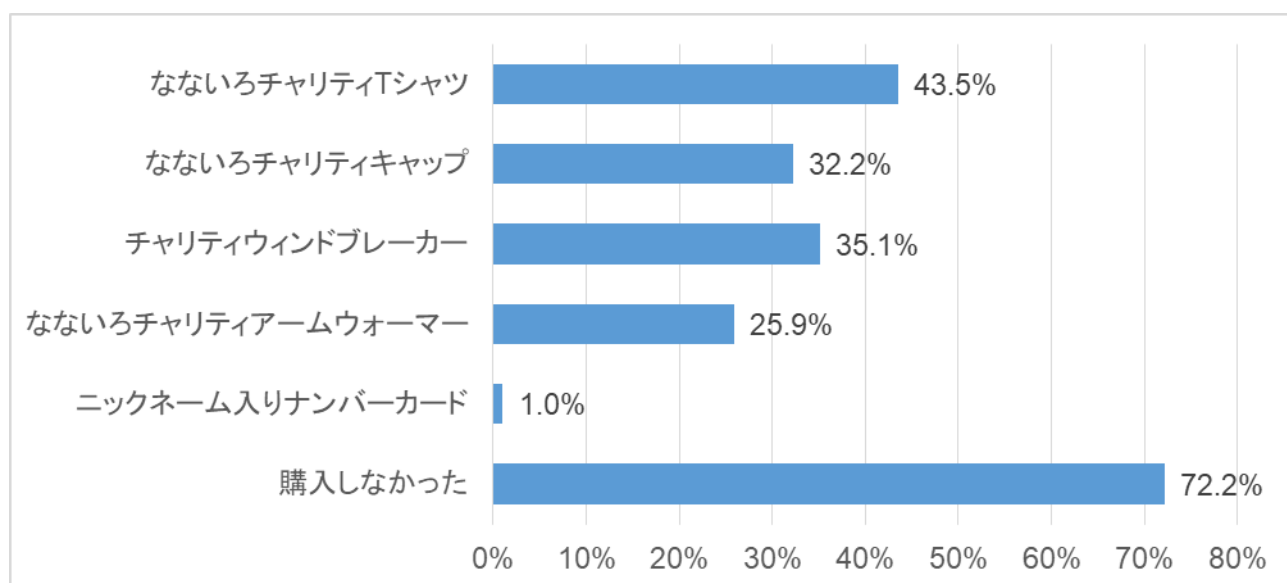
3 チャリティについて

■チャリティ募金の際に寄付先を決めた理由



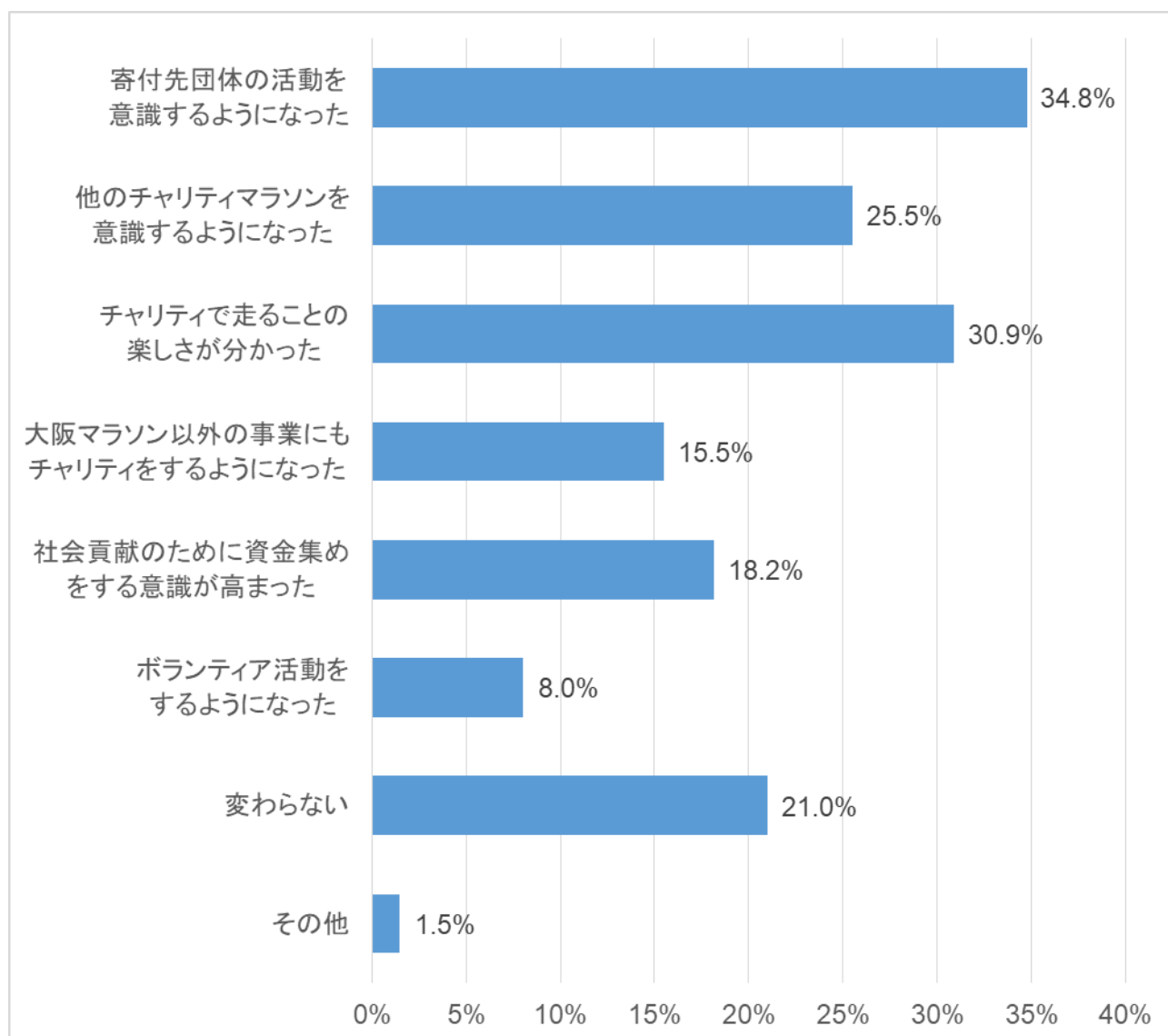
寄付先団体を決めた理由については、「チャリティテーマに関心があったから」が 53.5%（昨年：49.6%）、「寄付先団体の活動に興味があったから」が 13.8%（昨年：14.1%）、「現代的な問題に取り組んでいるから」が 7.4%（昨年：12.0%）であった。一方、「特に理由はない」が 16.8%（昨年は「なんとなく」：13.6%）であった。

■チャリティグッズの購入（複数回答可）



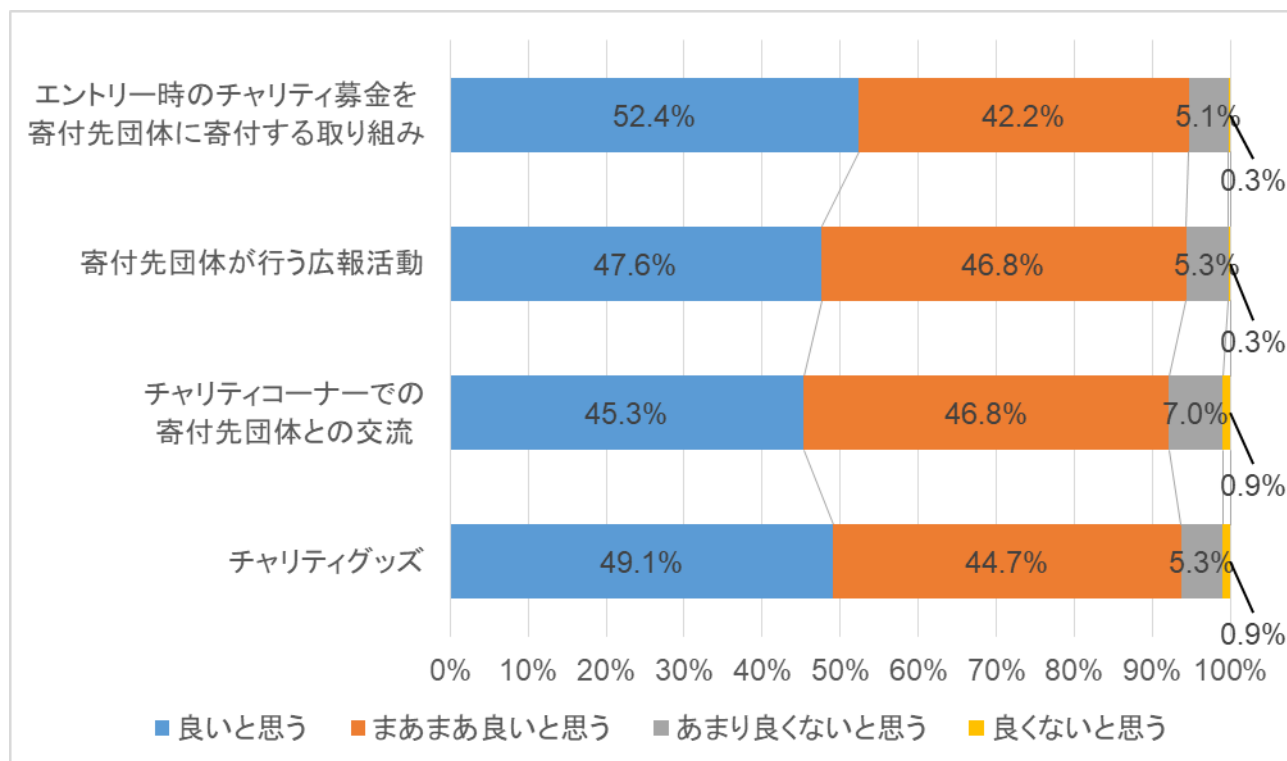
チャリティグッズの購入については、「なないろチャリティTシャツ」が 43.5%（昨年：34.1%）、「チャリティウィンドブレーカー」が 35.1%（昨年：19.4%）、「なないろチャリティキャップ」が 32.2%（昨年：9.1%）であった。一方、「購入しなかった」が 72.2%（昨年：32.1%）であった。

■チャリティの意識や活動の変化について（複数回答可）



チャリティに対する意識や活動の変化については、「寄付先団体の活動を意識するようになった」が34.8%（昨年：22.2%）、「チャリティで走ることの楽しさが分かった」が30.9%（昨年：21.4%）、「他のチャリティマラソンを意識するようになった」が25.5%（昨年：14.4%）であった。

■大阪マラソンのチャリティの取り組み



大阪マラソンのチャリティの取り組みについては、「良いと思う」と回答した人の割合だけで見ると、「エントリー時のチャリティ募金を寄付先団体に寄付する取り組み」が 52.4%、「チャリティグッズ」が 49.1%、「チャリティコーナーでの寄付先団体との交流」が 45.3%であった。

海外ランナー自由記述（抜粋）

<コースの変更について>

年代	1 男 2 女	国	コメント
40	1	Taiwan	都市中心を通過して、応援の声が多く聞こえて良かった。
50	1	中華民國	フィニッシュは大阪城公園で、気持ちよかった。
50	1	Taiwan	曲がるポイントが多すぎる。あるコースは片方を走っていたが、反対側は車も通ったから、車の出した排気ガスを吸ったことが心配だった。
30	2	Taiwan	応援団をランナーから遠く離さないでほしい
30	1	香港	大阪の代表的な場所である大阪城公園をフィニッシュにしているところが良く、環境も美しいし、完走後に食事をするところが多くて、交通も便利だった。
50	1	中國香港	多くの市民の応援があつて非常に良かった。
30	1	Taiwan	沿道で市民と接触する機会が少なくなった。
40	1	Singapore	コースは走りがいがあり、スタートとゴールが大阪城と、同じ場所であることは海外ランナーにとっては素晴らしいことです。変更をありがとう。
60	1	USA	スタートとゴールが同じ場所になり、前回よりもとても改善されたと思います。コスモスクエアよりも大阪城へのアクセスのほうが簡単です。
40	2	Singapore	大阪城からスタートしてゴールできることは、とても良い考えだと思います。レースの後ランナーとその家族と一緒に過ごせる場所が沢山あります。
50	1	Hong Kong	あまりにも多いランナーにとても狭い道路、といったところがありました。もう少しで他のランナーにつまづきそうになりました。
40	2	USA	改善は明らかでした。今年と昨年の両方を走って私はラッキーでした。新しいコースのほうがより親しみやすく、より元気で、より応援してくれる観客に近いです。良い運営でした。
20	1	United States	大阪城でスタートしてゴールするのが良かったです。沿道にはいつも人がいて応援してくれました。
40	2	Singapore	ボトルネックのように道路が狭くなるところが沢山ありました。何度もスローダウンしないといけませんでした。多くの上り坂はひどかったです。最後もとても狭く、ゴールからの距離も標識がなく明確ではありませんでした。

60	1	Australia	全体的なコースは難しいものになりましたが、全コース沿いに観客からのサポートがありました。大阪城でスタートとフィニッシュがあることは良かったです。
30	1	India	新しいコースを気に入りました。バンドや屋台や学生や私たちを応援してくれる人々に会えて幸せでした。日本での滞在は楽しかったです。
50	1	Hong Kong	今回6回目の大阪マラソンでした。前のコースに比べて、最後の7から10キロに沢山の観客が応援してくれていたのがとても良かったです。大阪城でフィニッシュするのは便利ですが、屋外なので天気は左右されるかもしれません（雨天や風がきついなど）インテックスとコスモスクエアは街中から遠すぎますが、利点もあると思います。
50	1	USA	素晴らしいマラソンでした！東京マラソンと比較すると、主要な観光名所が少ないように見えました。観光名所に対して、近隣の地域で観るところが沢山ありました。京都と東京には見どころがたくさんあると思いますが、大阪マラソンの主な目的は観光地を紹介することではないかもしれません。最高だったのは、マイル17付近のフードセクションでした。これまでに参加したマラソンの中で間違いなく最高の経験でした!!!

<ボランティア活動について>

年代	1 男 2 女	国	コメント
50	1	Hong Kong	ボランティアはやさしかった
40	2	Taiwan	秩序が良かった。親切に祝ってくれたボランティアに光栄を感じた。
40	1	香港	情熱と笑顔はランナーを気持ちよくさせた。
30	2	Taiwan	子供たちの応援から元気を感じた。
30	1	台灣	今回のボランティアには満足だった。給水・給食のスポットの人は親切だった。荷物の預かりと受け取りもスムーズだった。
40	2	台灣	途中で一般市民がサロンパスのスプレーを出してくれたことが印象深い。
30	1	中国	完走したらボランティアが拍手してくれて感動した
40	1	Taiwan	自転車を運ぶボランティアが、応援してくれたのが良かった。
20	1	中国	完走後、駅に向かった時に、拍手と笑顔は印象深かった。ヒーローだと感じた。
20	2	Taiwan	中国語のできるボランティアが多くて親切だった

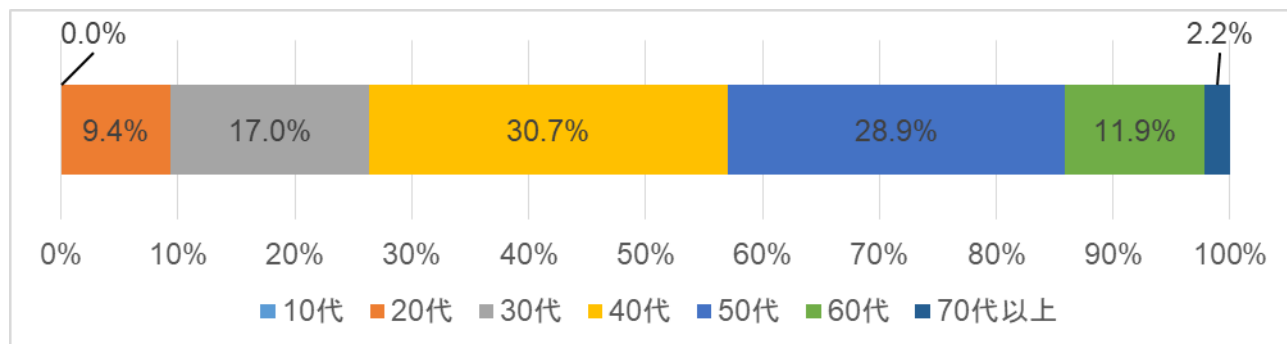
30	1	Hong Kong	車椅子を歩道橋まで運んでいたボランティアの姿を見て印象深かった。大都市で大会を開催することは選手だけではなく、影響される一般市民のことも考えなければならないと思った。
40	1	United Kingdom	全てのボランティアに感謝の気持ちを伝えたいです。他のマラソンにも参加したことがありますが、大阪マラソンのボランティアはこのイベントをととても特別なものにしてくれました。
40	2	Philippines	ボランティアたちにととても感心しました。特にいつも会場をきれいに保っていたことです。いつも前向きで笑顔でした。その姿勢がととても好きでした。
40	1	BELGIUM	彼らにとにかく感謝したいです。
50	2	Philippines	日本だけで見ることのできる素晴らしいボランティア精神とサポートでした。
30	1	Taiwan	ビニール袋をコースから拾ってランナーのためにゴミ箱に捨てたり、歩道橋を渡る観客の自転車を運んだりするボランティアに感謝します。
40	1	Taiwan	ボランティアとスタッフが素晴らしかったです。とても良い仕事をし、ランナー全てに親切にしていました。彼らのもてなしがあるので私は大阪マラソンが好きです。

Ⅲ チャリティランナー意識調査

回答者数：277

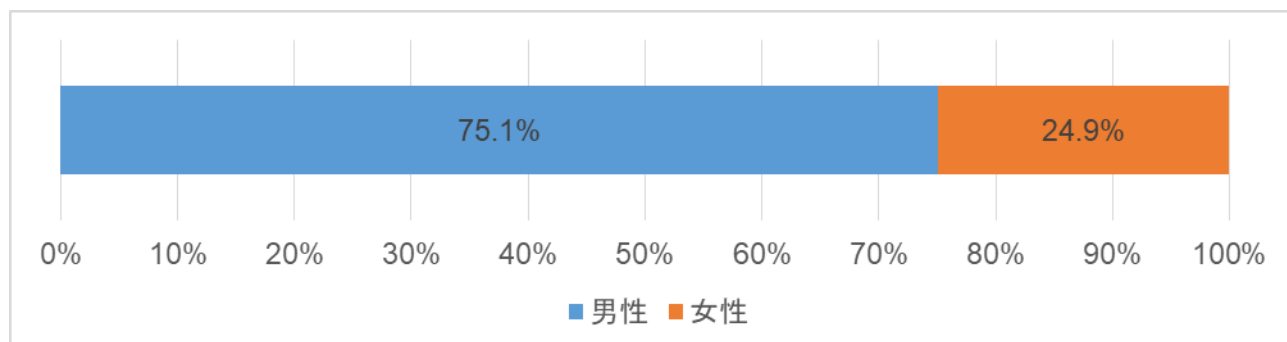
1 あなた自身について

■年齢（年代）



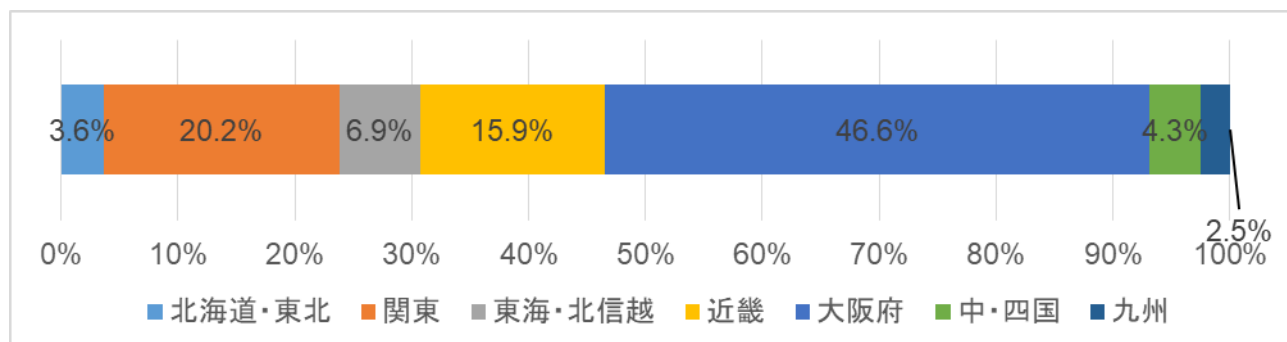
年齢（年代）については、「40代」が30.7%（昨年：37.4%）、「50代」が28.9%（昨年：25.2%）、「30代」が17.0%（昨年：18.4%）であった。

■性別



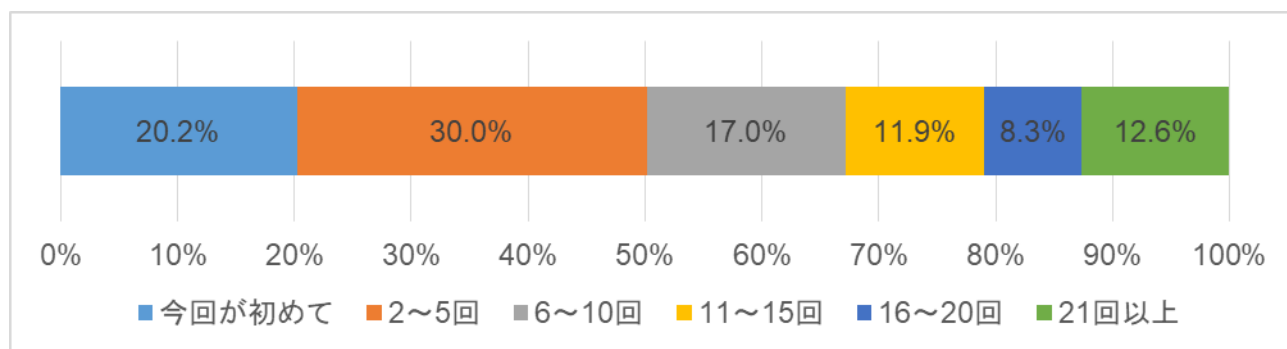
性別については、「男性」が75.1%（昨年：77.3%）、「女性」が24.9%（22.7%）であった。

■住居地域



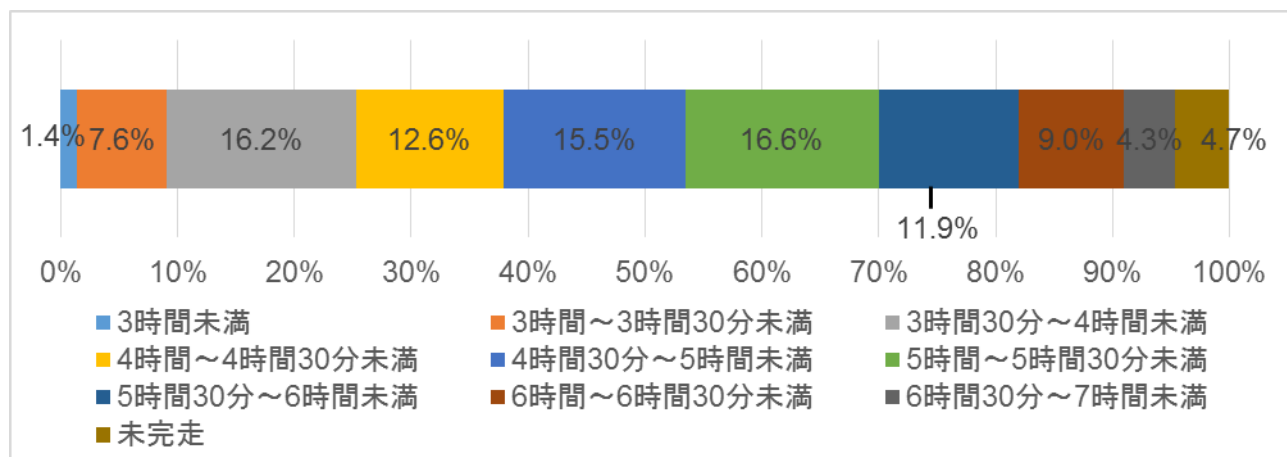
居住地域については、大阪府を含めた「近畿地方」が62.5%（昨年：66.9%）、「関東地方」が20.2%（昨年：15.3%）、「東海・北信越地方」が6.9%（昨年：4.9%）であった。

■市民マラソンへの参加経験



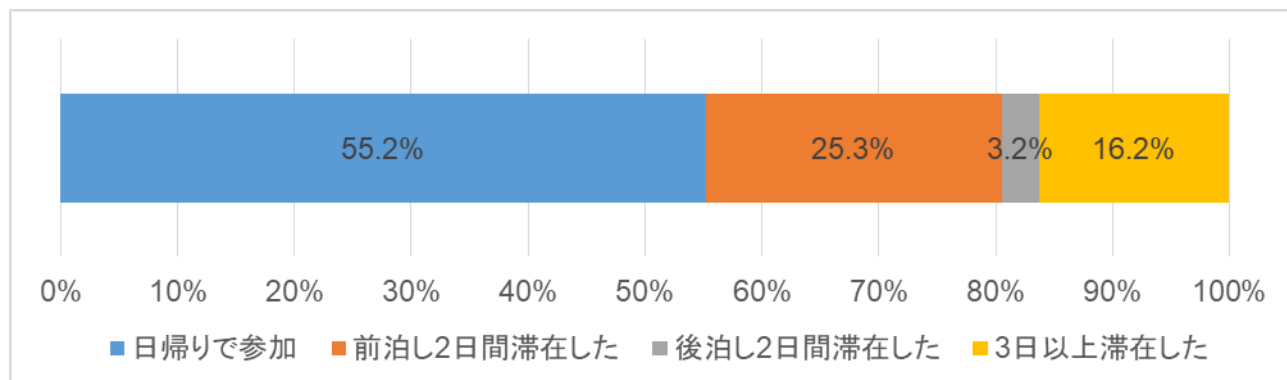
市民マラソンの参加経験については、「2～5回」が30.0%（昨年：28.8%）、「今回が初めて」が20.2%（昨年：31.3%）、「6～10回」が17.0%（昨年：13.5%）であった。

■今回のフルマラソンのタイム



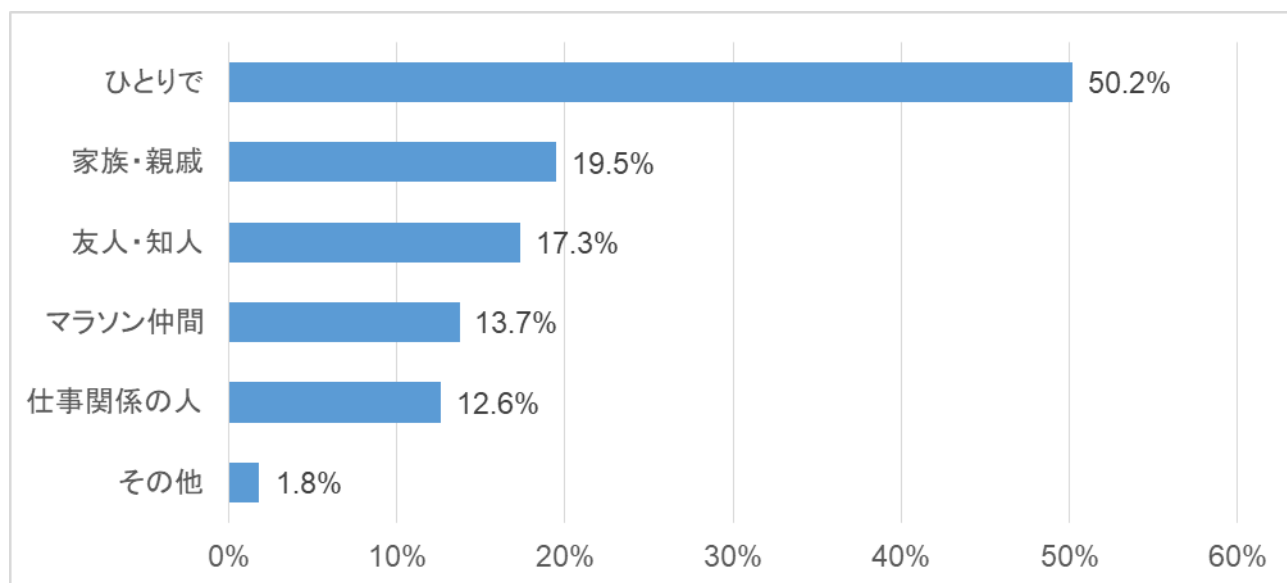
フルマラソンのタイムについては、「5時間から5時間30分未満」が16.6%（昨年：13.5%）、「3時間30分から4時間未満」が16.2%（昨年：14.7%）、「4時間30分から5時間未満」が15.5%（昨年：16.0%）であった。

■滞在日数



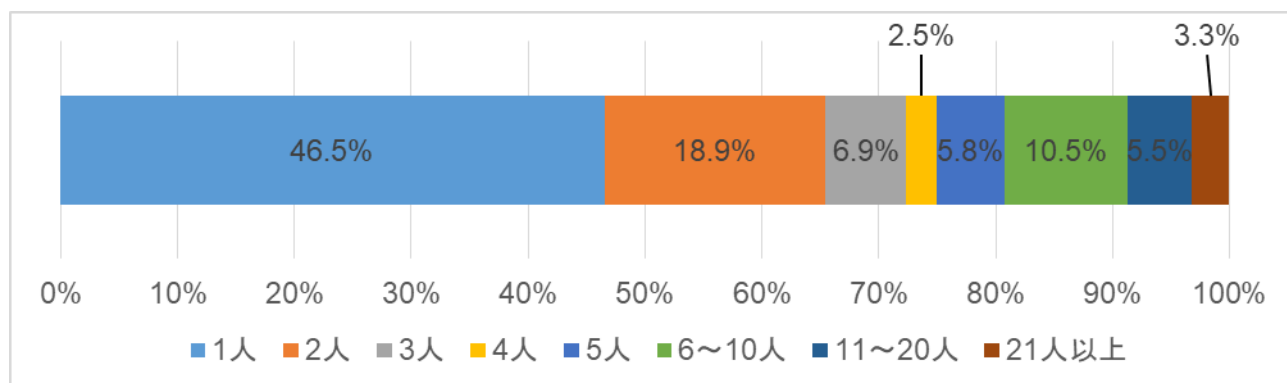
大阪の滞在日数については、「日帰りで参加」が55.2%（昨年：61.3%）、「前泊し2日間滞在した」が25.3%（昨年：20.9%）、「3日以上滞在した」が16.2%（昨年：16.0%）であった。

■大会への同伴（複数回答可）



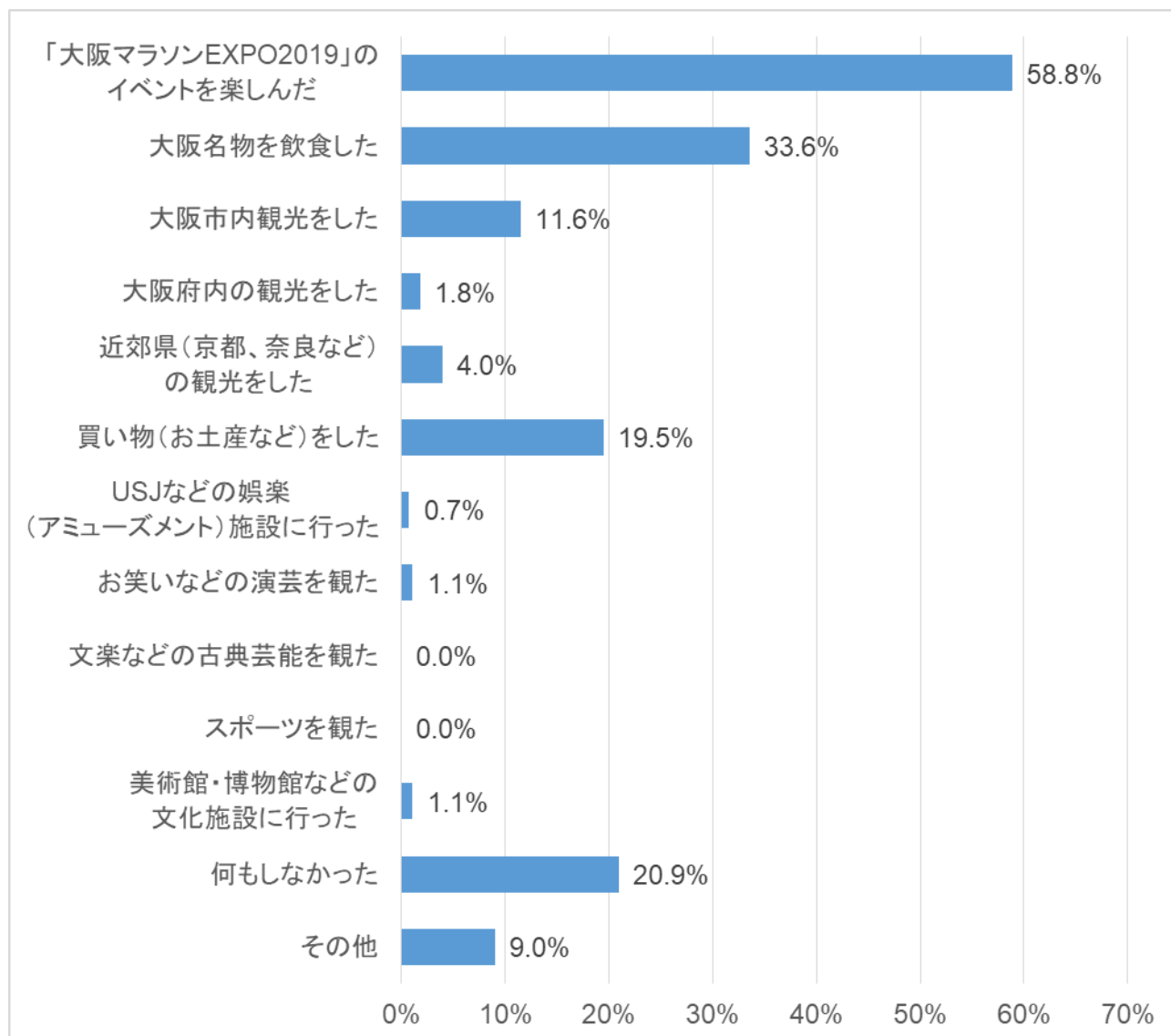
大会の同伴については、「ひとりで」が 50.2%（昨年 30.7%）、「家族・親戚」が 19.5%（昨年：21.5%）、「友人・知人」が 17.3%（昨年：19.6%）であった。

■大会への同伴者の人数



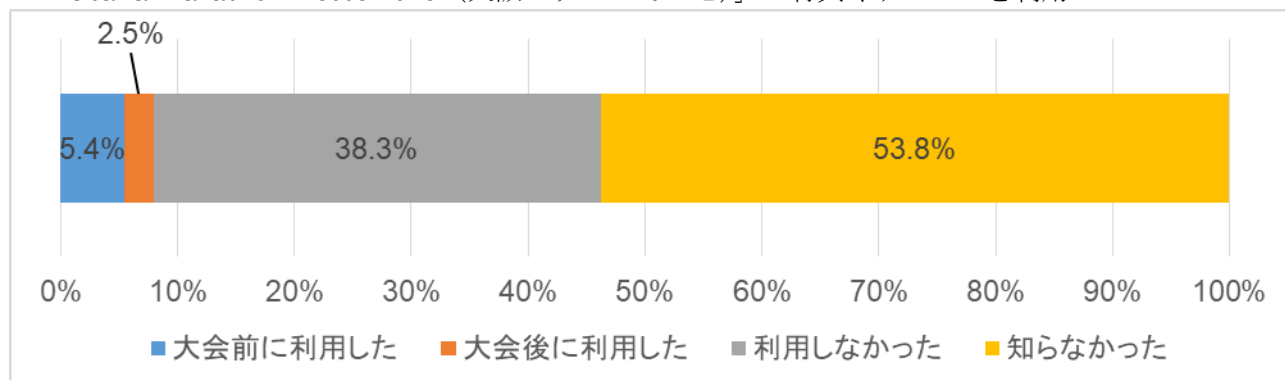
大会への同伴者の人数については、「1人」が 46.5%（昨年：33.1%）、「2人」が 18.9%（昨年：22.7%）、「6～10人」が 10.5%（昨年：13.5%）であった。

■大阪滞在中の大阪マラソン以外の活動（複数回答可）



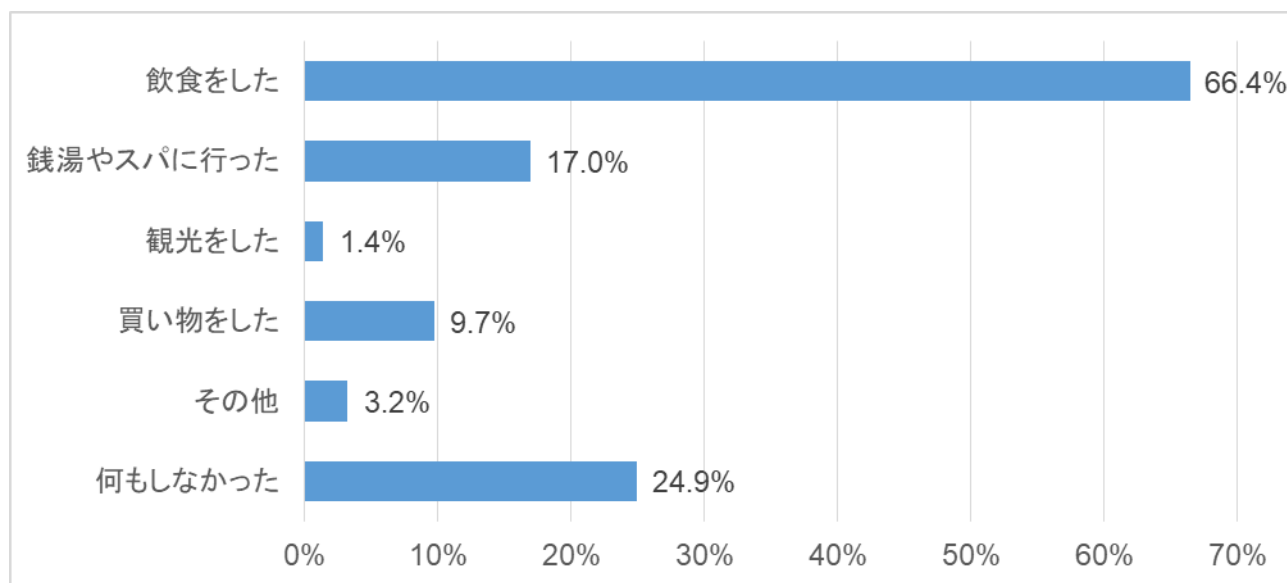
大阪マラソン以外の活動については、「大阪マラソン EXPO2019 のイベントを楽しんだ」が 58.8%（昨年：53.4%）、「大阪名物を飲食した」が 33.6%（昨年：23.3%）「何もしなかった」が 20.9%（昨年：20.2%）であった。

■「Osaka Marathon Desse 2019（大阪マラソンでっせ）」の特典やサービスを利用



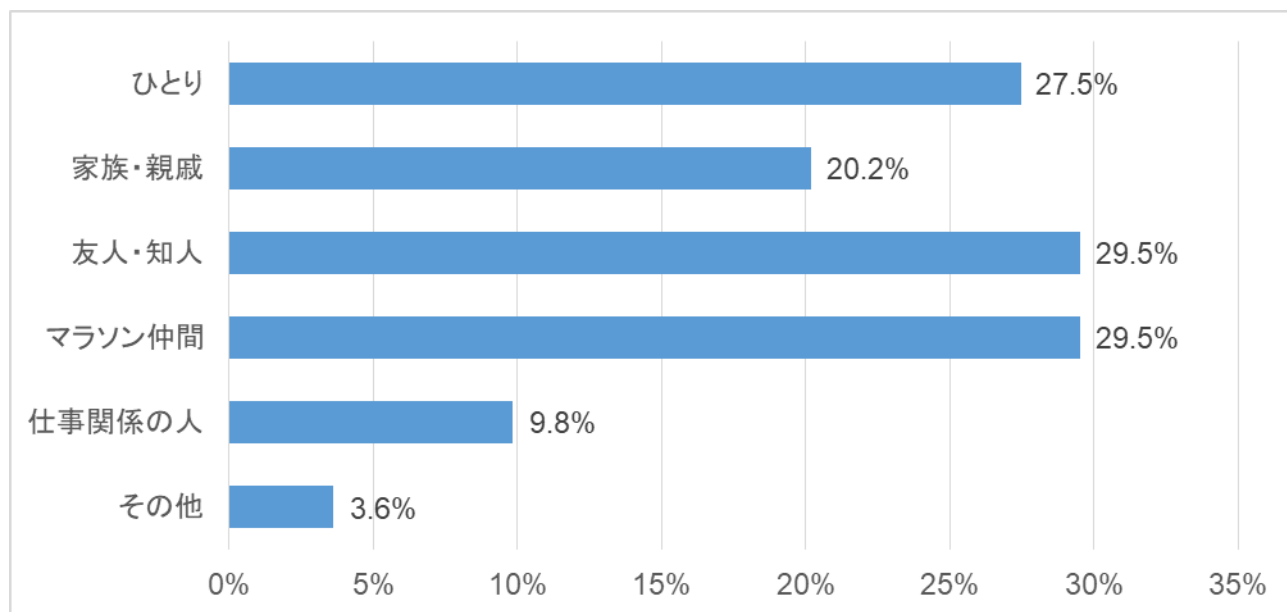
「Osaka Marathon Desse 2019（大阪マラソンでっせ）」を利用した人については、「知らなかった」が 53.8%、「利用しなかった」が 38.3%、「大会前に利用した」が 5.4%であった。

■大阪マラソンの大会終了後の活動（複数回答可）



大会終了後の活動については、「飲食をした」が 66.4%、「銭湯やスパに行った」が 17.0%、「買い物をした」が 9.7%であった。一方、「何もしなかった」が 24.9%であった。

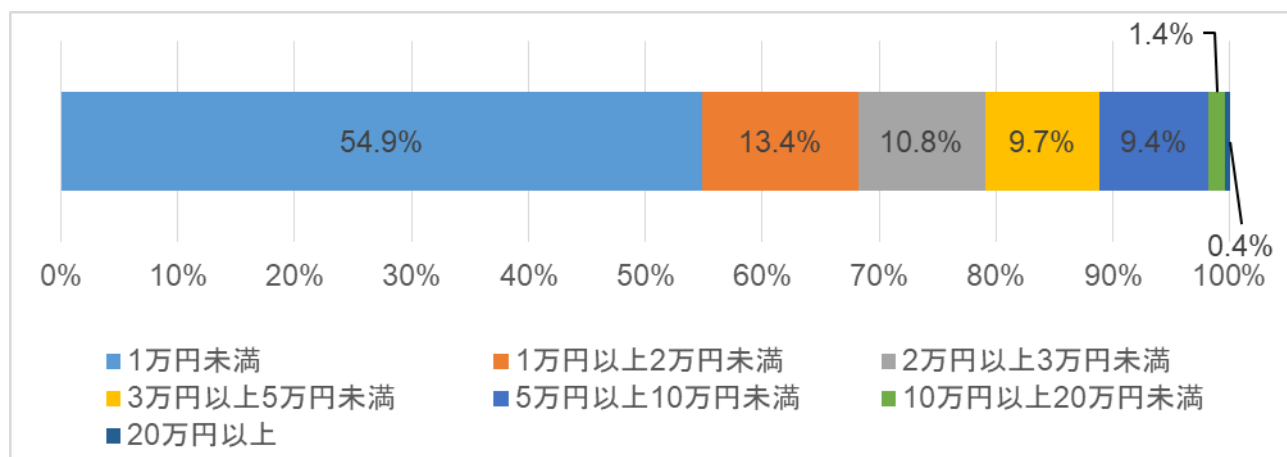
■大会終了後の活動の仲間（複数回答可）



大会終了後の活動の仲間については、「ひとりで」が 27.5%、「友人・知人」が 29.5%、「マラソン仲間」が 29.5%であった。

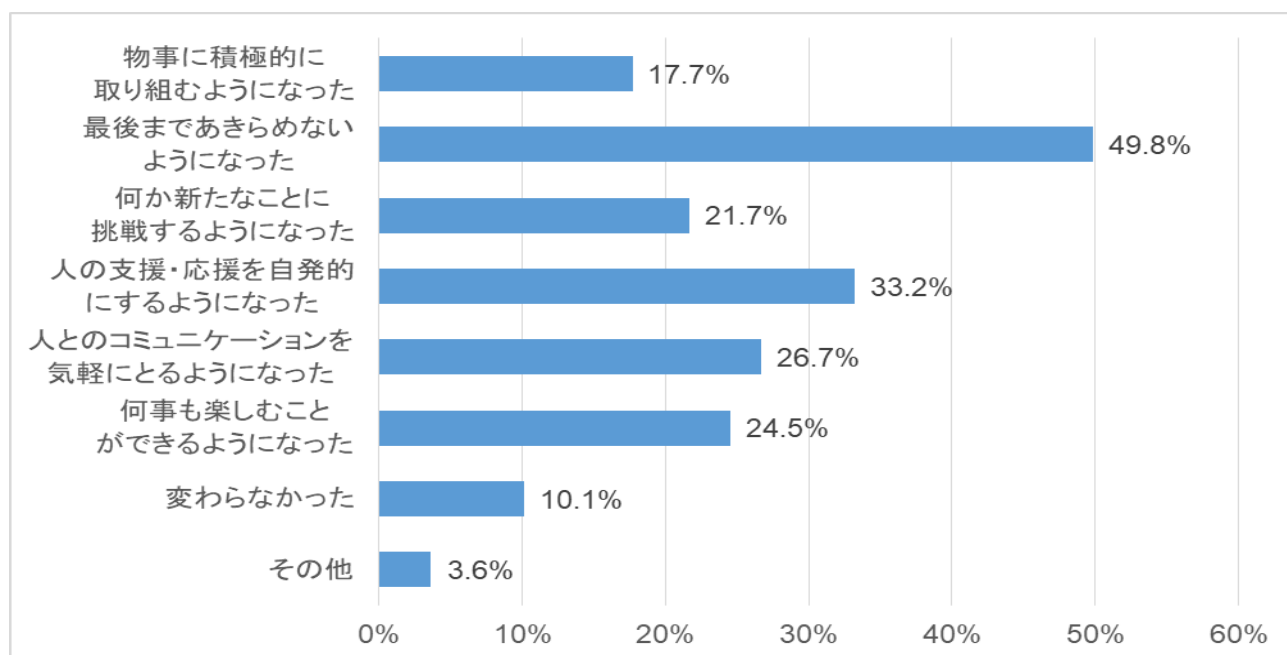
■大阪滞在中の経費

(宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切、大阪マラソン参加料、チャリティは除く)



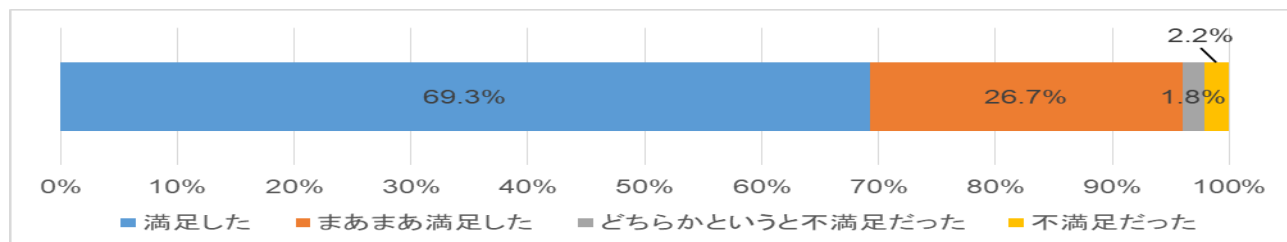
大阪滞在中の経費については、「1 万円未満」が 54.9%（昨年：52.8%）、「1 万円以上 2 万円未満」が 13.4%（昨年：11.7%）、「2 万円以上 3 万円未満」が 10.8%（昨年：13.5%）であった。

■大会参加による生活上の意識や行動の変化（複数回答可）



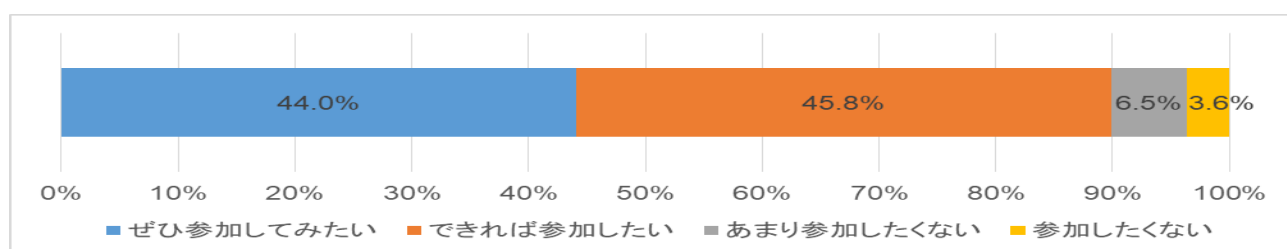
大会参加による生活上の意識や行動の変化については、「最後まであきらめないようになった」が 49.8%（昨年：23.9%）、「人の支援・応援を自発的にするようになった」が 33.2%（昨年：15.3%）、「人とのコミュニケーションを気軽にとるようになった」が 26.7%（昨年：11.0%）であった。

■第9回大阪マラソンのチャリティランナーの満足度



大会の満足度については「満足した」が69.3%（昨年：73.0%）、「まあまあ満足した」が26.7%（昨年：23.9%）と、満足している人が96.0%（昨年：96.9%）であった。

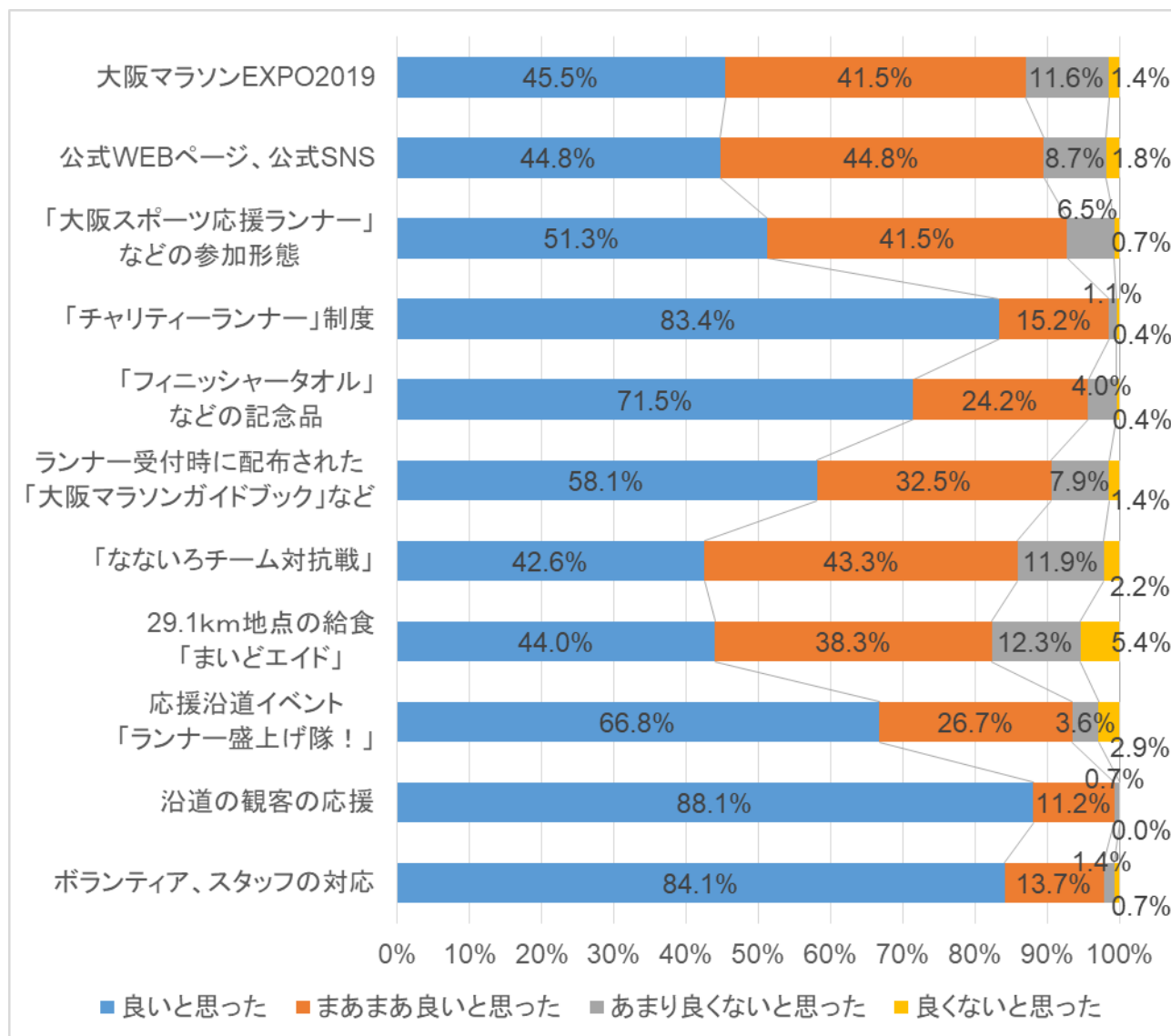
■第10回大阪マラソンへのチャリティランナーの参加意欲



第10回大阪マラソンへの参加意欲については、「できれば参加したい」が45.8%（昨年21.5%）、「ぜひ参加してみたい」が44.0%（昨年：69.9%）と、参加したいと回答した人が89.8%（昨年：91.4%）であった。

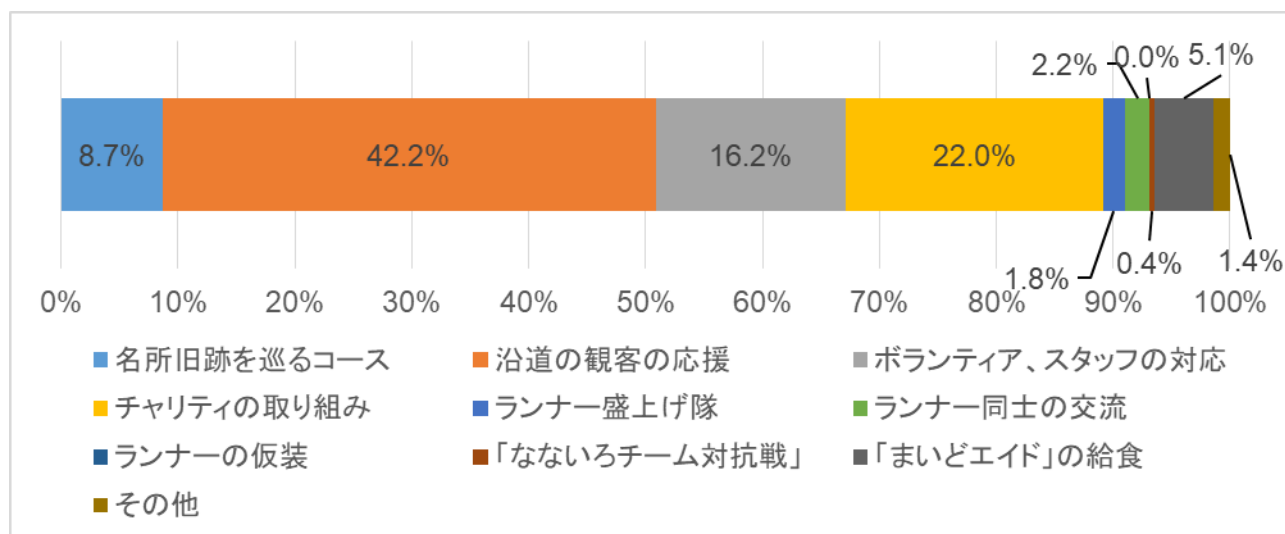
2 第9回大阪マラソンの運営について

■ 第9回大阪マラソンの運営評価



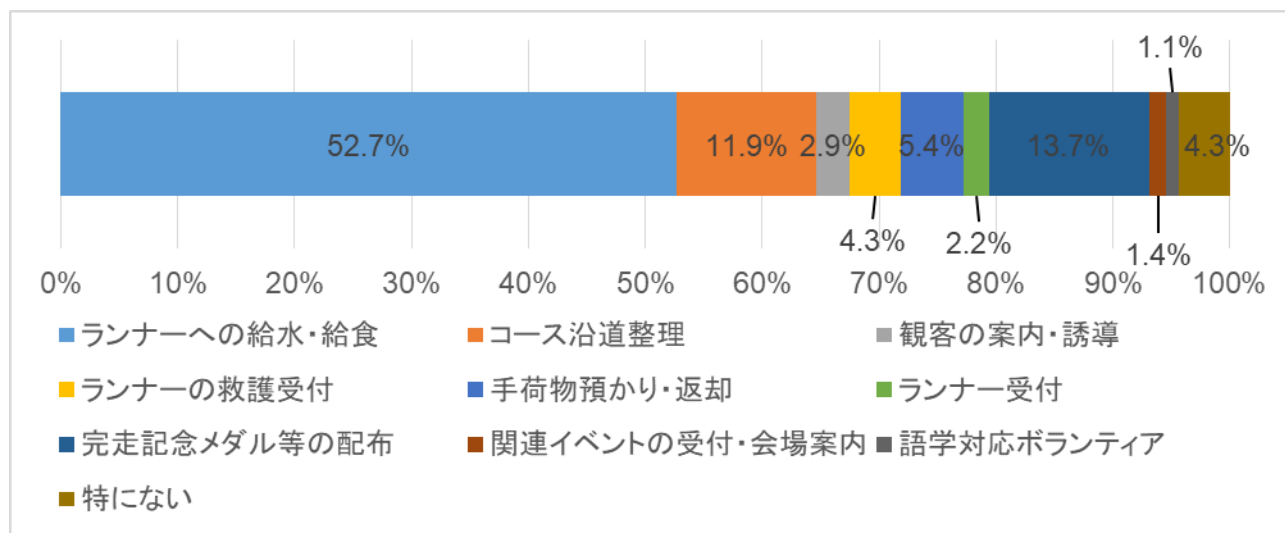
大阪マラソンの運営については、「良いと思った」と回答した人の割合だけで見ると、「沿道の観客の応援」が88.1%（昨年：89.6%）、「ボランティア、スタッフの対応」が84.1%（昨年：87.1%）、「チャリティーランナー制度」が83.4%であった。

■大阪マラソンで最も魅力的なもの



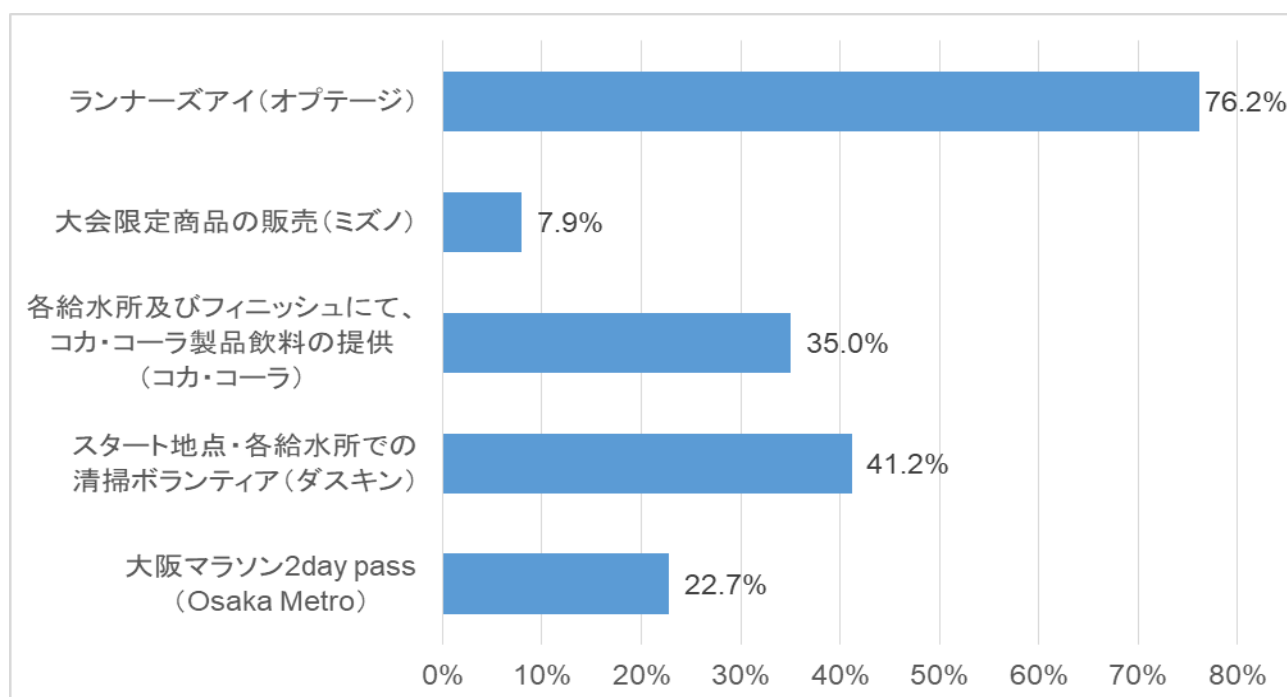
大阪マラソンで最も魅力的なものについては、「沿道の観客の応援」が 42.2%（昨年：64.4%）、「チャリティの取り組み」が 22.0%（昨年：14.1%）、「ボランティア、スタッフの対応」が 16.2%（昨年：6.7%）であった。

■ボランティア活動で最も印象に残ったもの



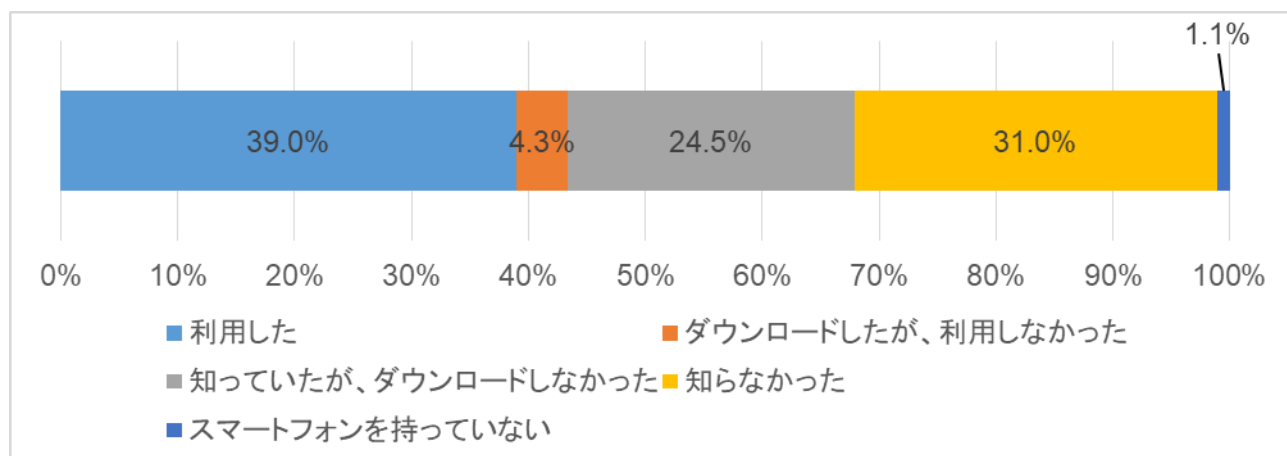
ボランティア活動で最も印象に残ったものについては、「ランナーへの給水・給食」が 52.7%、「完走記念メダル等の配布」が 13.7%、「コース沿道整理」が 11.9%であった。

■大会スポンサーのサービスで良かったもの（複数回答可）



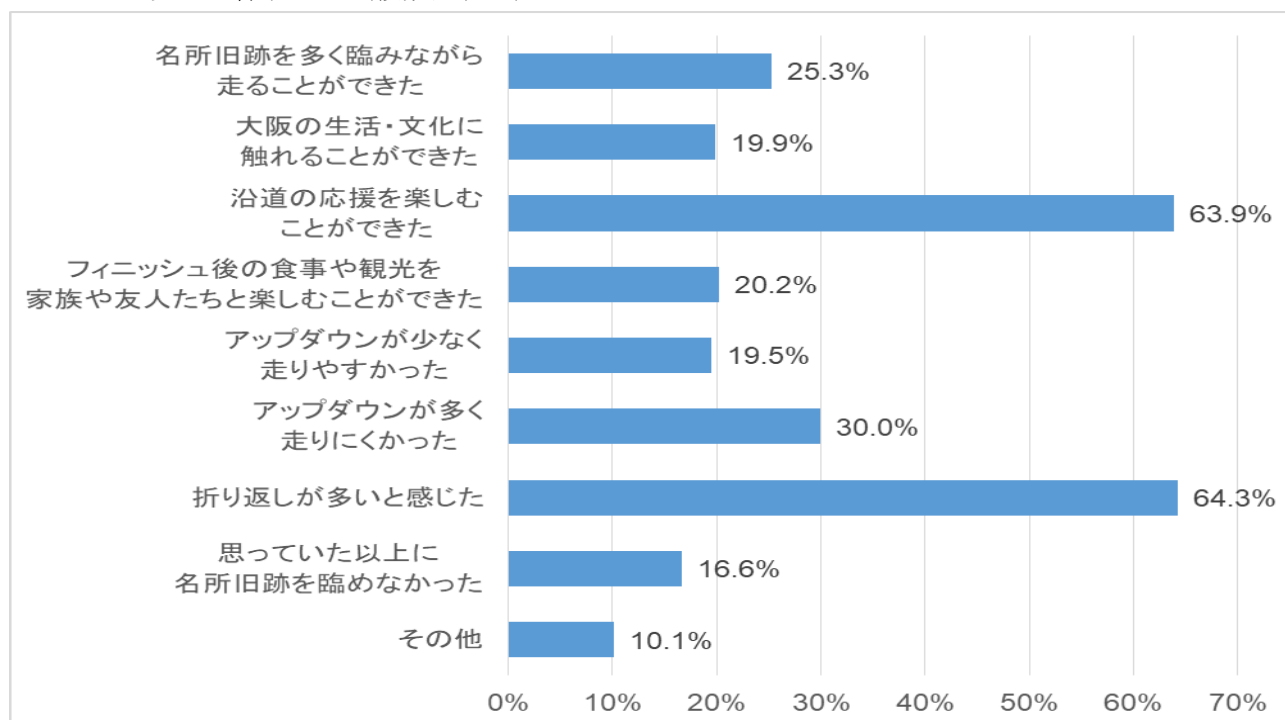
大会スポンサーサービスについては、「ランナーズアイ」が 76.2%（昨年：69.3%）、「スタート地点・各給水所での清掃ボランティア」が 41.2%（昨年：31.3%）、「各給水所及びフィニッシュにて、コカ・コーラ製品飲料の提供」が 35.0%（昨年：38.0%）であった。

■「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」の利用



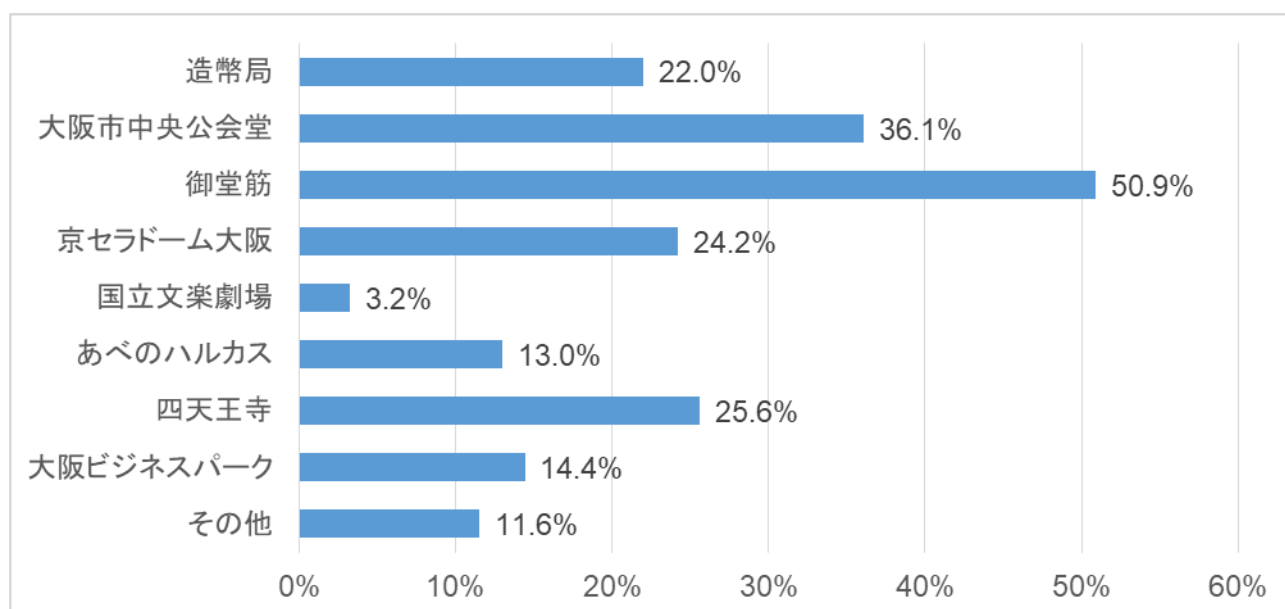
公式スマートフォンアプリについては「利用した」が 39.0%（昨年：36.8%）、「知らなかった」が 31.0%（昨年：25.2%）、「知っていたが、ダウンロードしなかった」が 24.5%（昨年：31.9%）であった。

■コースの変更に伴う感想（複数回答可）



コースの変更に伴う感想については、「折り返しが多いと感じた」が 64.3%、「沿道の応援を楽しむことができた」が 63.9%、「アップダウンが多く走りにくかった」が 30.0%であった。

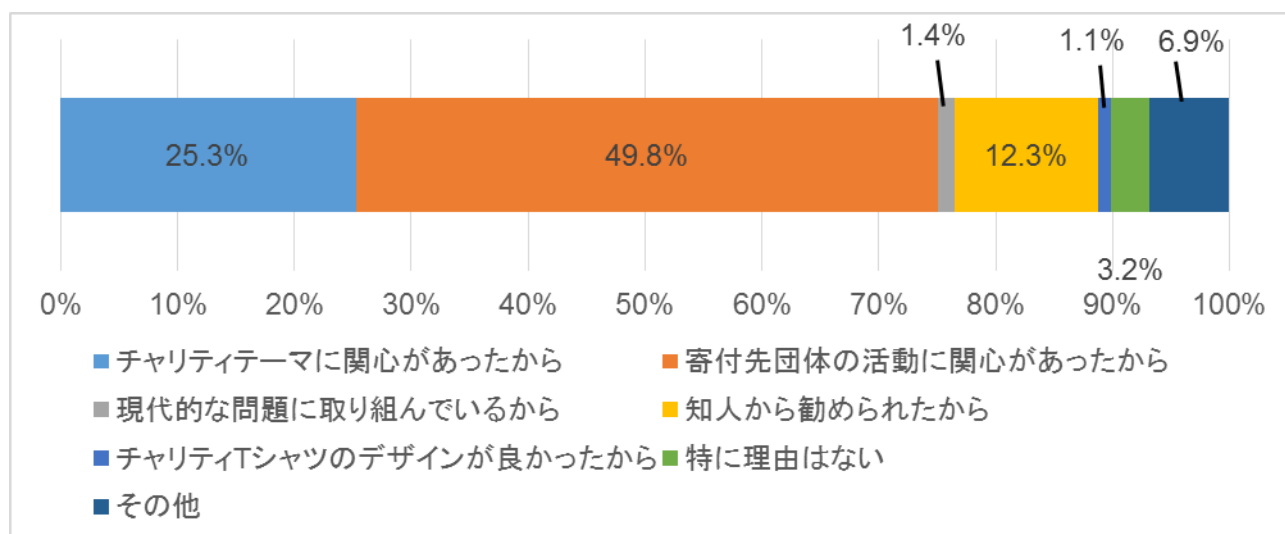
■新しいコースで印象に残った場所（複数回答可）



新しいコースで印象に残った場所については、「御堂筋」が 50.9%、「大阪市中央公会堂」が 36.1%、「四天王寺」が 25.6%、「京セラドーム大阪」が 24.2%、「造幣局」が 22.0%であった。

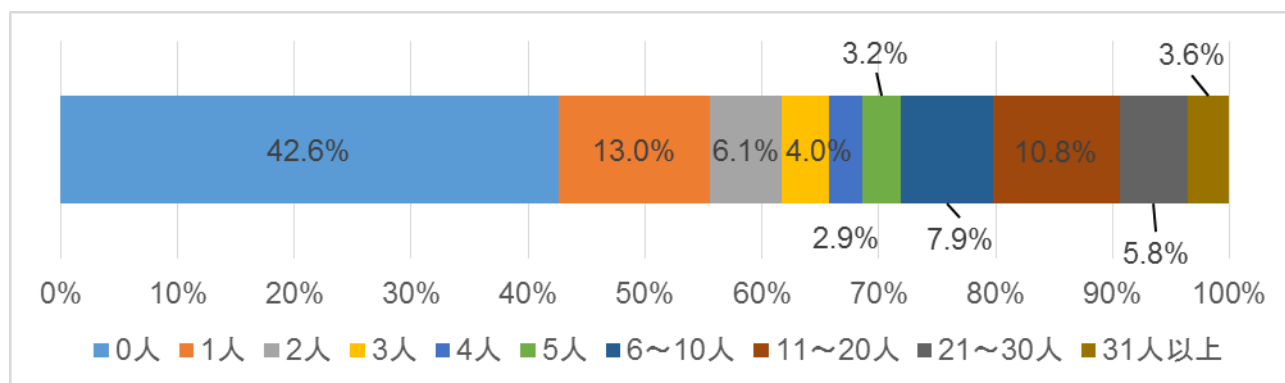
3 チャリティについて

■寄付先団体を決めた理由



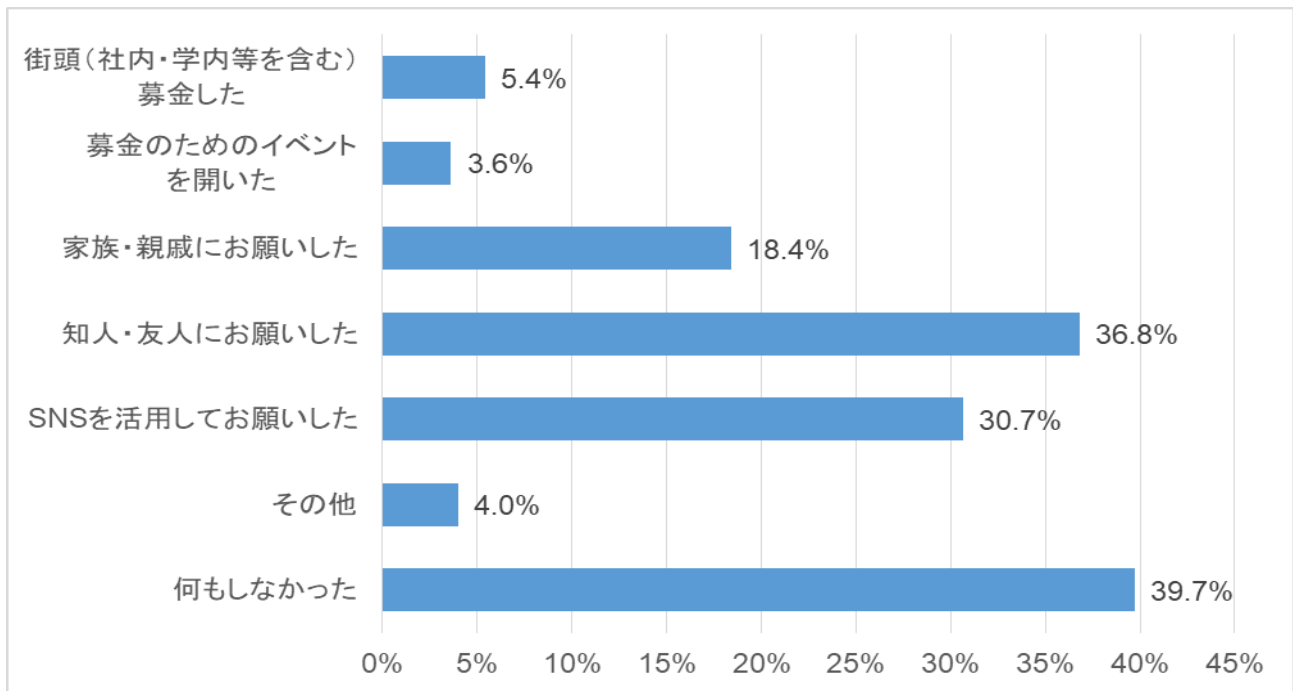
寄付先団体を決めた理由については、「寄付先団体の活動に関心があったから」が 49.8% (昨年: 52.8%) 「チャリティテーマに関心があったから」が 25.3% (昨年: 22.1%)、「知人から勧められたから」が 12.3% (昨年: 9.8%) であった。

■サポーターの人数（自分自身を除く）



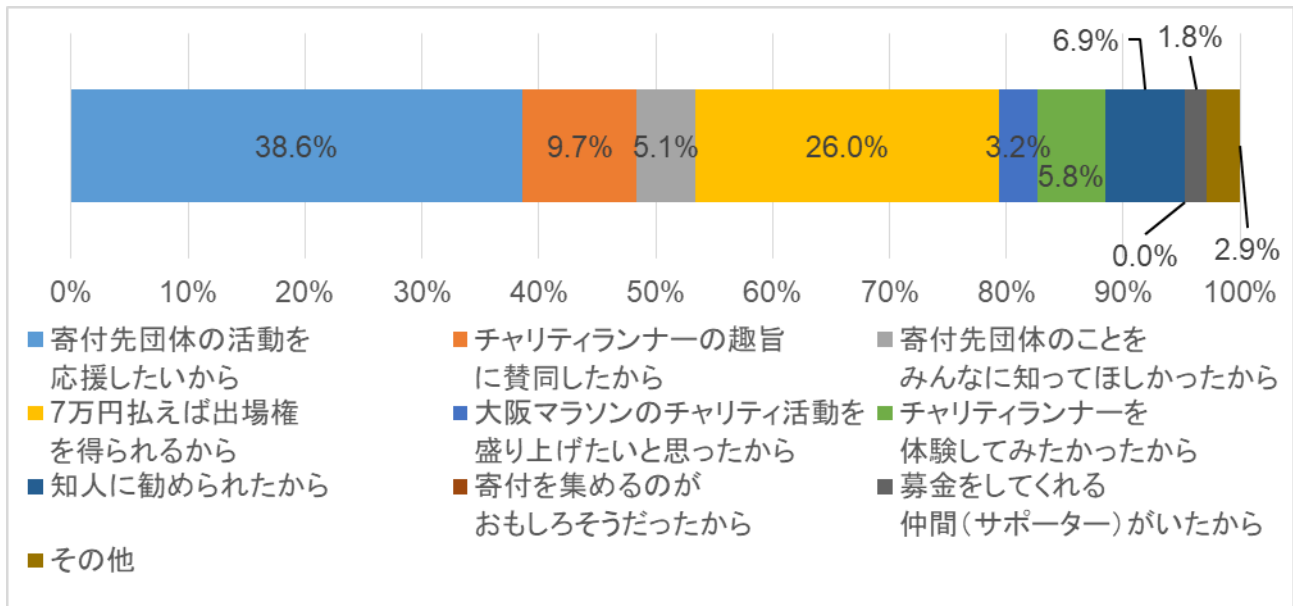
サポーターの人数については、「0 人」が 42.6% (昨年: 28.2%)、「1 人以上」が 13.0% (昨年: 12.3%)、「11~20 人」が 10.8% (昨年 13.5%) であった。

■募金活動の取り組み（複数回答可）



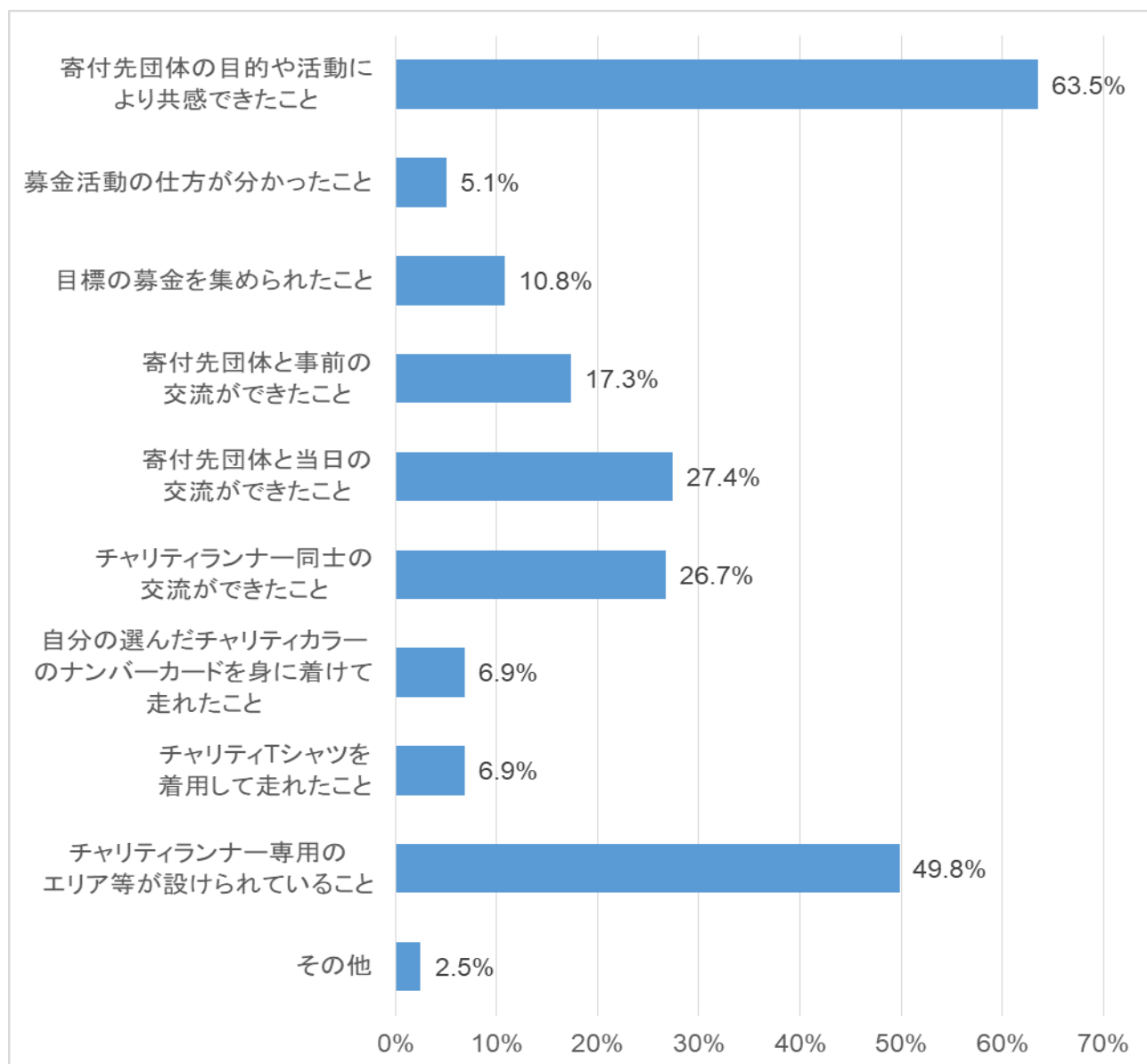
募金活動の取り組みについては、「何もしなかった」が 39.7%（昨年：31.9%）、「知人・友人にお願いした」が 36.8%（昨年：34.4%）、「SNS を活用してお願いした」が 30.7%（昨年：27.6%）であった。

■チャリティランナーとして参加することを決めた一番の理由



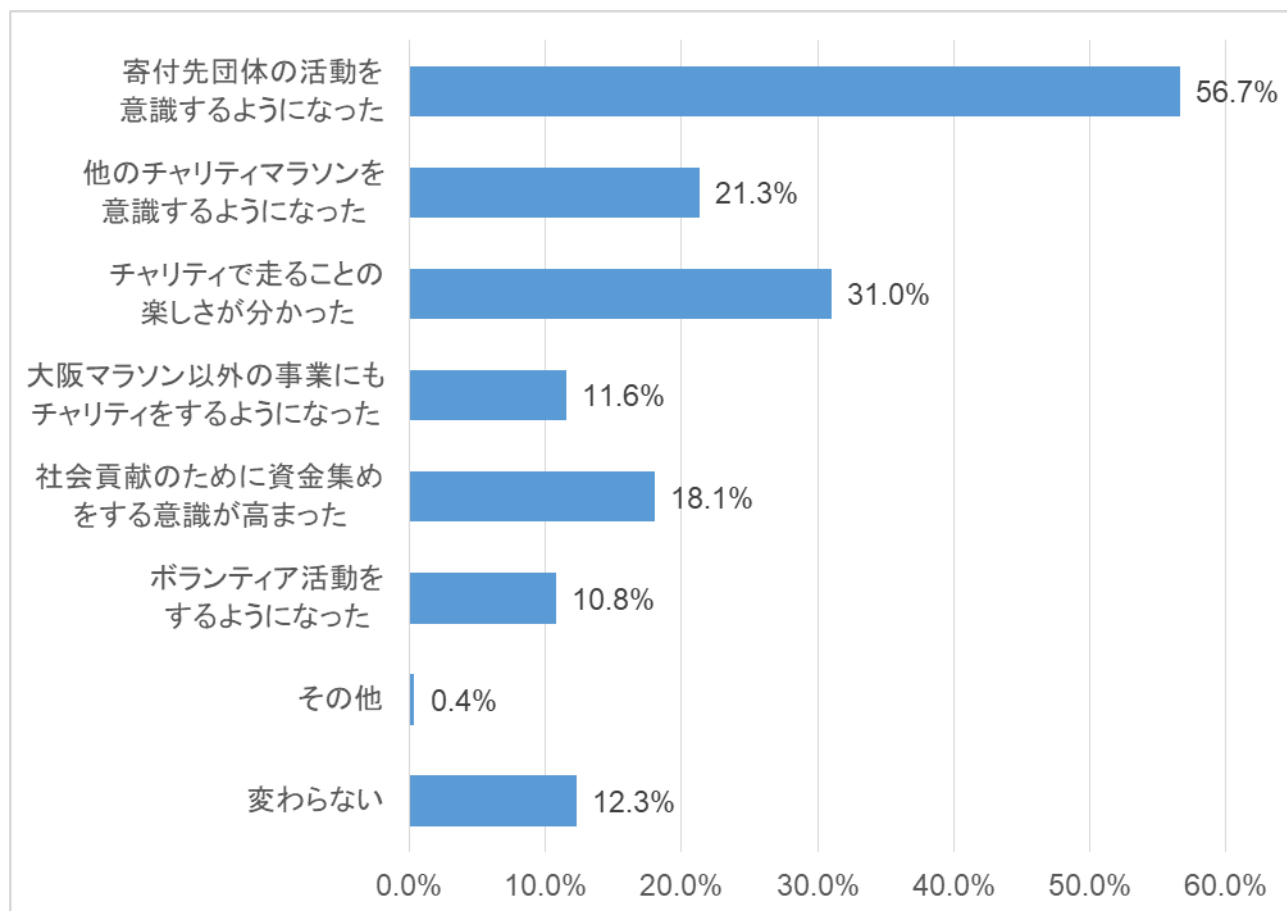
チャリティランナーで参加する理由については、「寄付先団体の活動を応援したいから」が 38.6%（昨年：35.0%）、「7 万円払えば出場権が得られるから」が 26.0%（昨年：21.5%）、「チャリティランナーの趣旨に賛同したから」が 9.7%（昨年：16.0%）であった。

■チャリティランナーとして参加して良かったこと



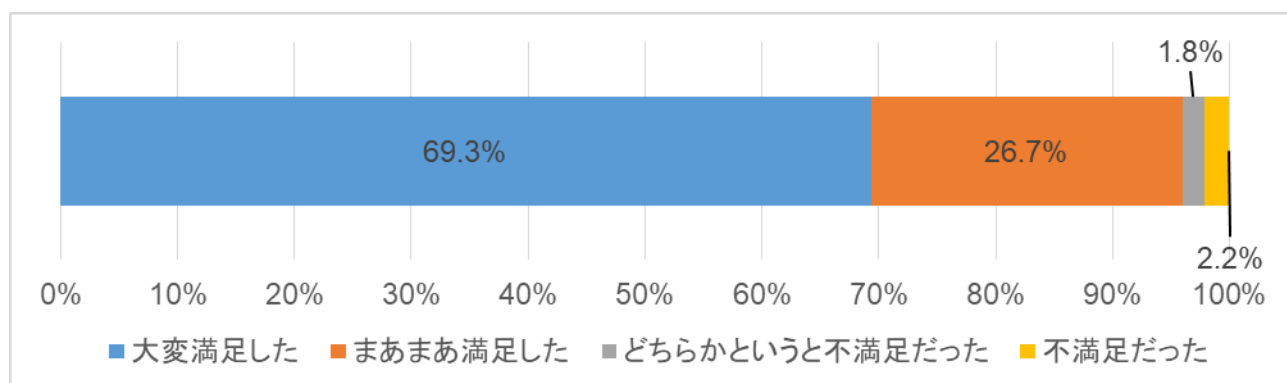
参加して良かったことについては、「寄付先団体の目的や活動により共感できたこと」が 63.5%（昨年：52.8%）、「チャリティランナー専用のエリア等が設けられていること」が 49.8%（昨年：47.9%）、「寄付先団体と当日の交流ができたこと」が 27.4%（昨年：16.6%）であった。

■チャリティに対する意識や活動の変化について（複数回答可）



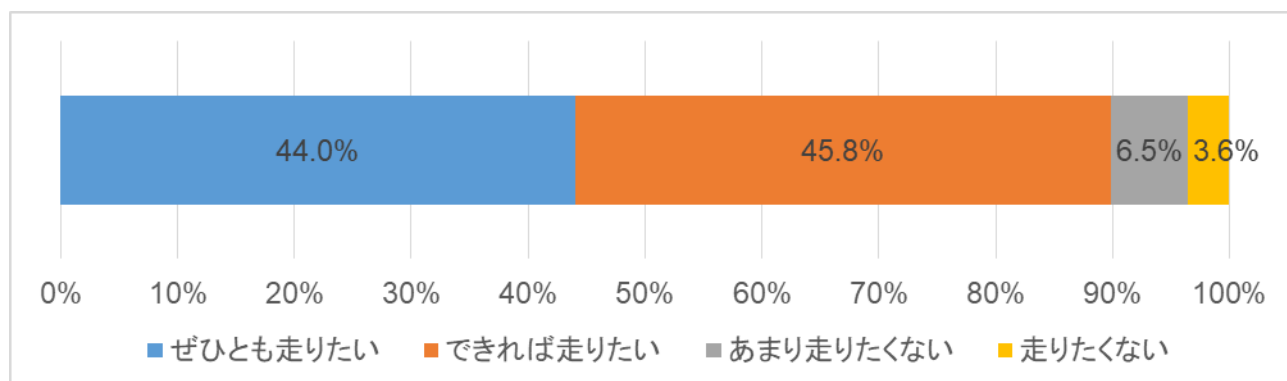
チャリティに対する意識や活動の変化については、「寄付先団体の活動を意識するようになった」が56.7%（昨年：46.6%）、「チャリティで走ることの楽しさが分かった」が31.0%（昨年：17.8%）、「他のチャリティマラソンを意識するようになった」が21.3%（昨年：10.4%）であった。

■チャリティランナーとして満足度



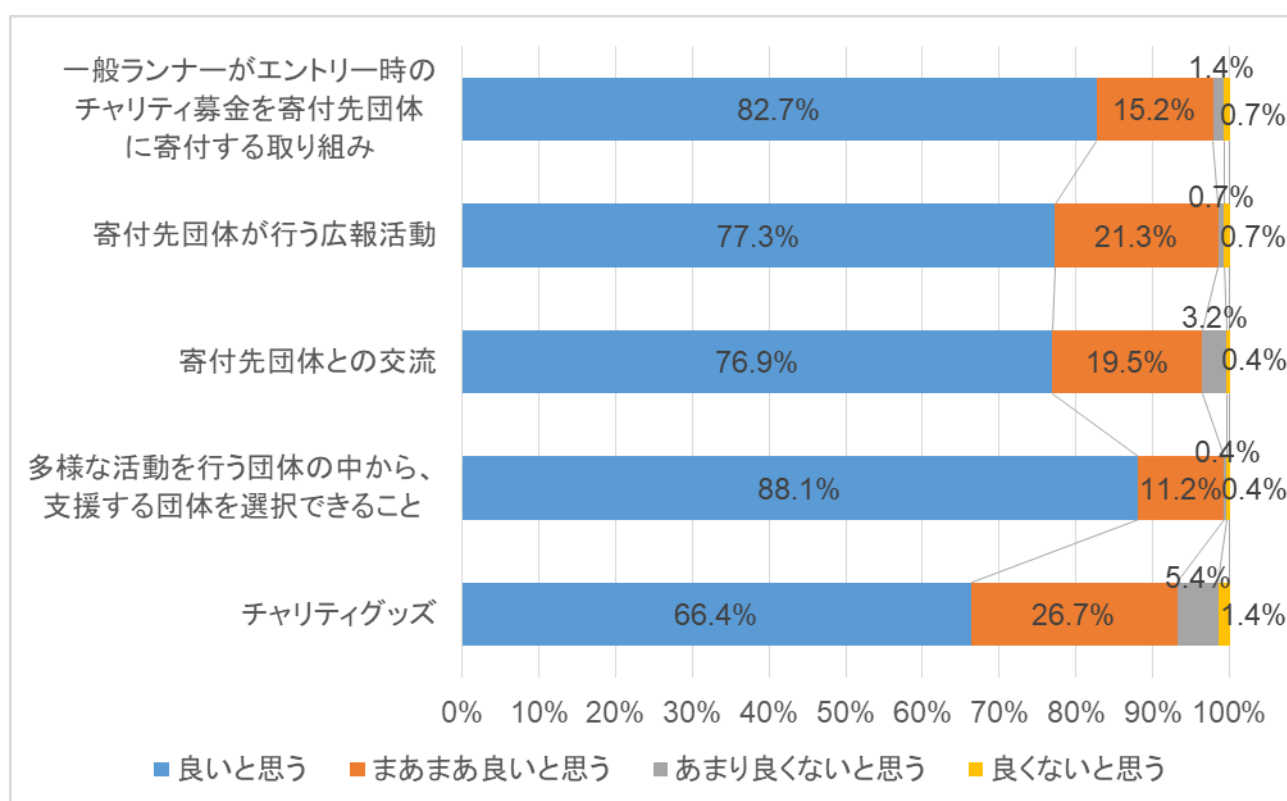
チャリティランナーとしての満足度については、「大変満足した」が69.3%（昨年：75.5%）、「まあまあ満足した」が26.7%（昨年：23.3%）と、満足している人が96.0%（昨年：98.8%）であった。

■チャリティランナーとして来年の参加



チャリティランナーとしての来年の参加については、「できれば走りたい」が45.8%（昨年：34.4%）、「ぜひとも走りたい」が44.0%（昨年：54.6%）と、走りたいと回答した人が89.8%（昨年：89.0%）であった。

■大阪マラソンのチャリティの取り組み



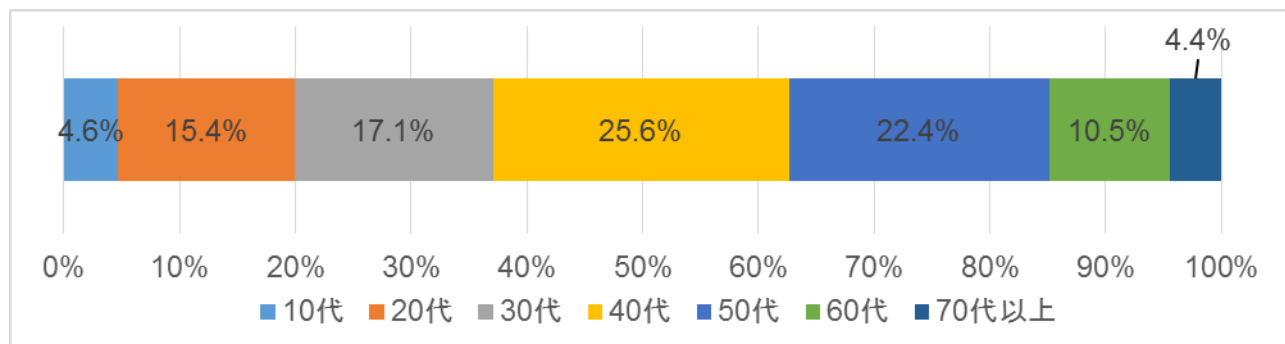
大阪マラソンのチャリティの取り組みについて、「良いと思う」と回答した人の割合だけで見ると、「多様な活動を行う団体の中から、支援する団体を選択できること」が88.1%、「エントリー時のチャリティ募金を寄付先団体に寄付する取り組み」が82.7%、「寄付先団体が行う広報活動」が77.3%であった。

Ⅳ 観客意識調査

回答者数：410

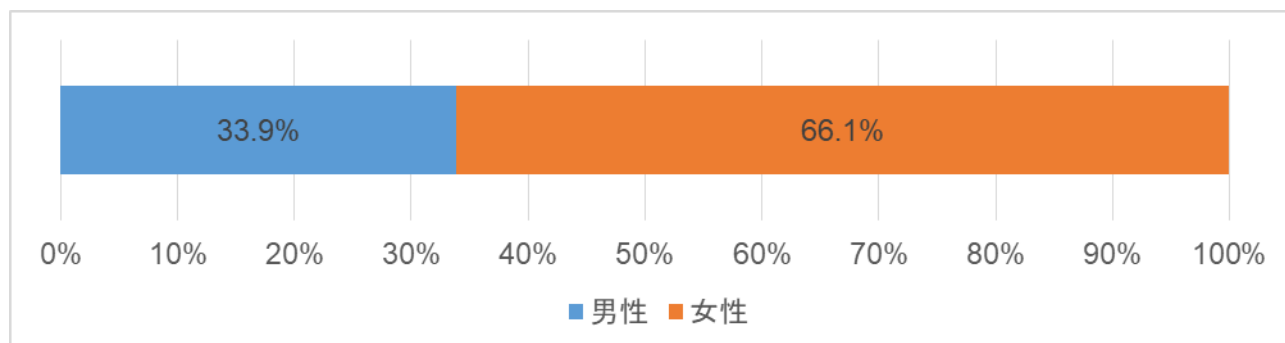
1 あなた自身について

■年齢（年代）



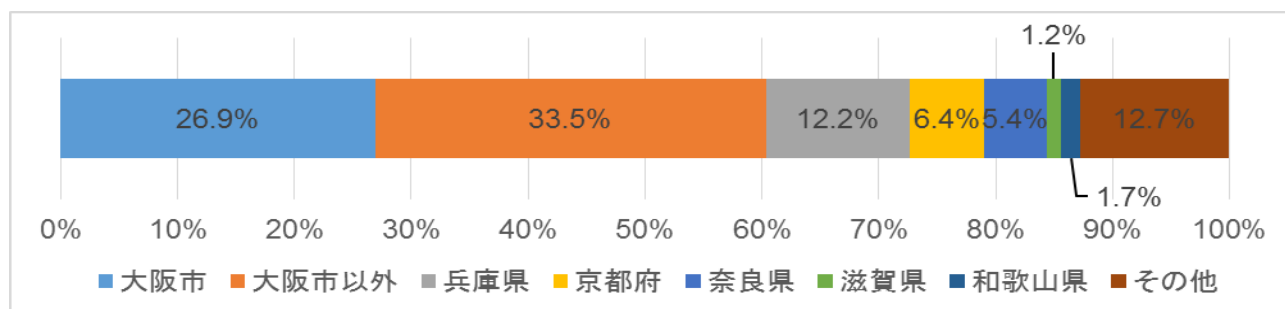
年齢（年代）については、「40代」が25.6%（昨年：19.4%）、「50代」が22.4%（昨年：22.0%）で、「30代」が17.1%（昨年16.6%）であった。

■性別



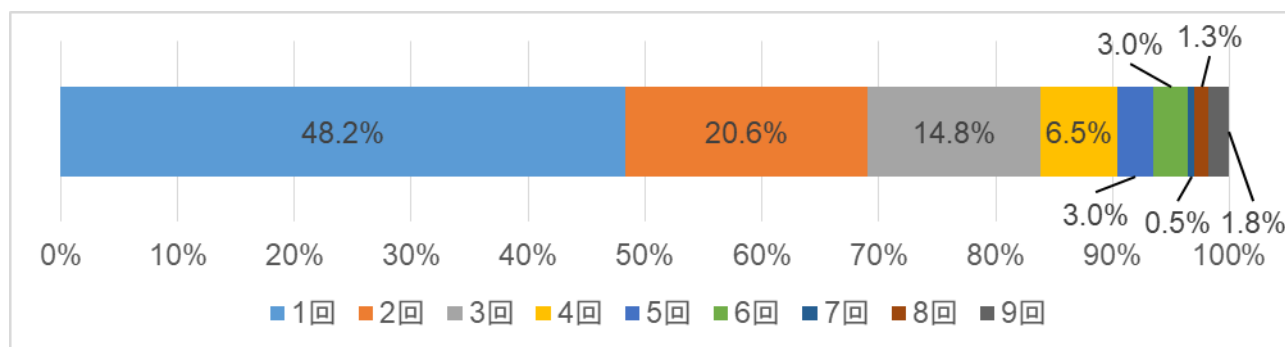
性別については、「男性」が33.9%（昨年：40.1%）、「女性」が66.1%（昨年：59.9%）であった。

■居住地域



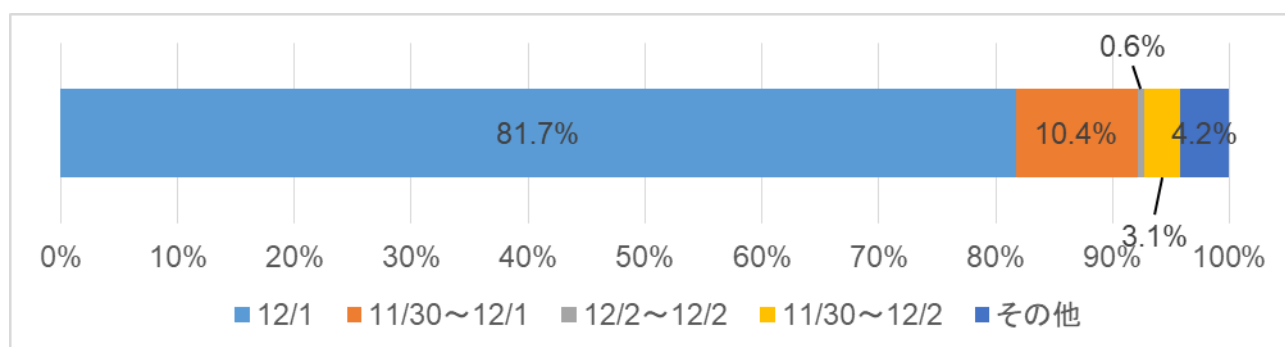
居住地域については、大阪市を含めた「大阪府」が60.4%、「兵庫県」が12.2%、「京都府」が6.4%であった。

■大阪マラソンの参加回数（ランナー、ボランティアを含む）



大阪マラソンの参加回数については、「1回」が48.2%（昨年：47.1%）、「2回」が20.6%（昨年：19.5%）、「3回」が14.8%（昨年：14.2%）であった。

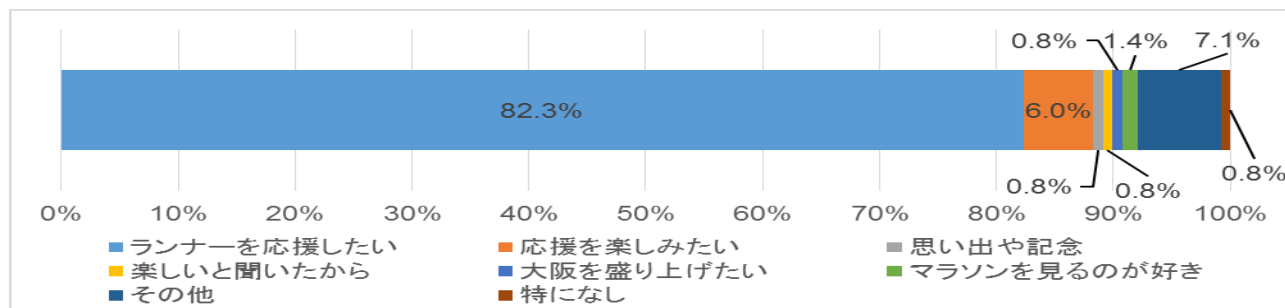
■大阪の滞在日数



大阪での滞在日数については、「当日だけ」が81.7%（昨年：81.2%）、「前日と当日」が10.4%（昨年：10.4%）であった。

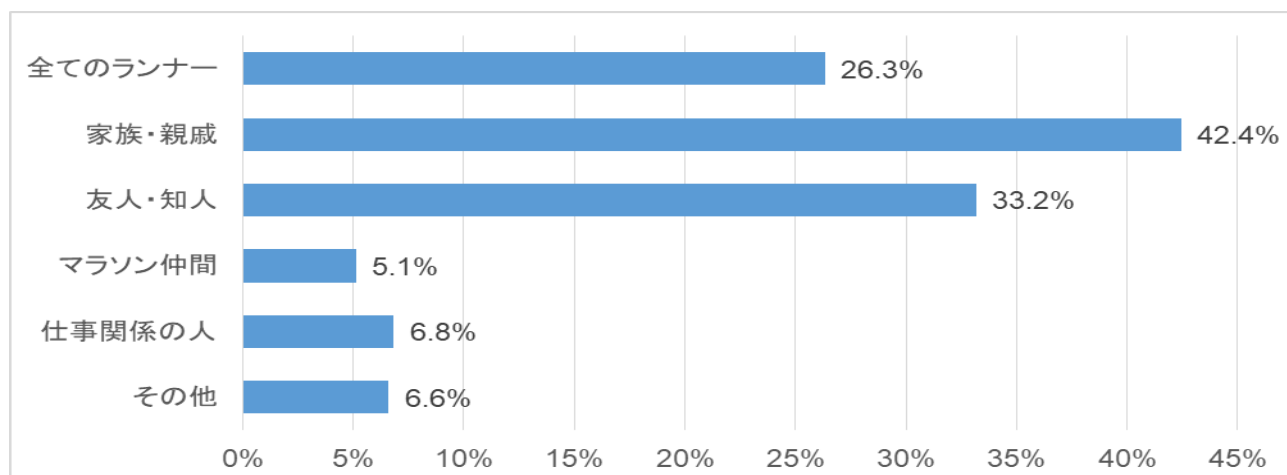
2 観客の行動と意識について

■大阪マラソンの観戦・応援に来た理由



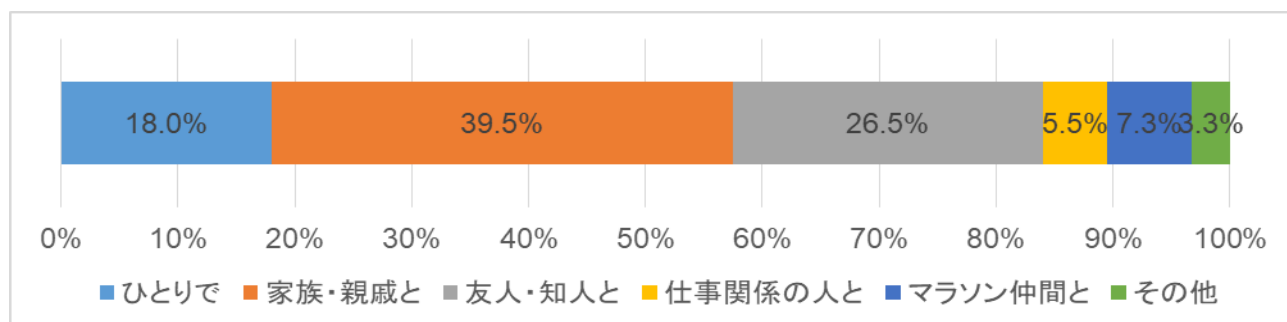
観戦・応援に来た理由については、「ランナーを応援したい」が82.3%（昨年：64.1%）、「大阪を盛り上げたい」が7.1%（昨年：2.7%）、「応援を楽しみたい」が6.0%（昨年：10.5%）であった。

■応援の対象（複数回答可）



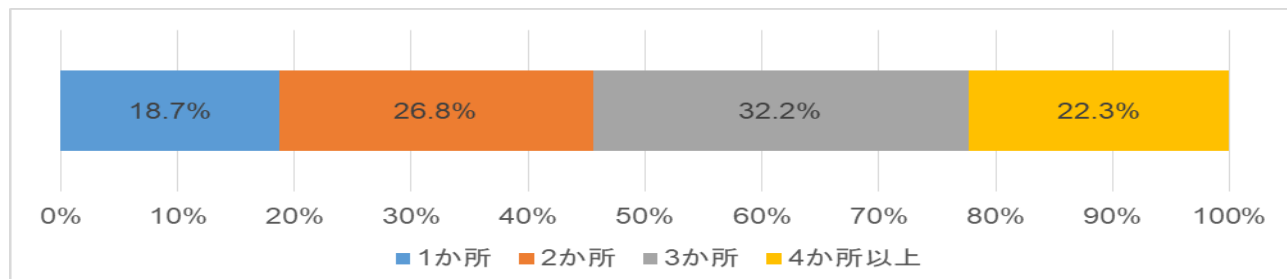
応援対象については、「家族・親戚」が42.4%（昨年：36.4%）、「友人・知人」が33.2%（昨年：24.7%）、「全てのランナー」が26.3%（昨年：36.1%）であった。

■応援の同伴者



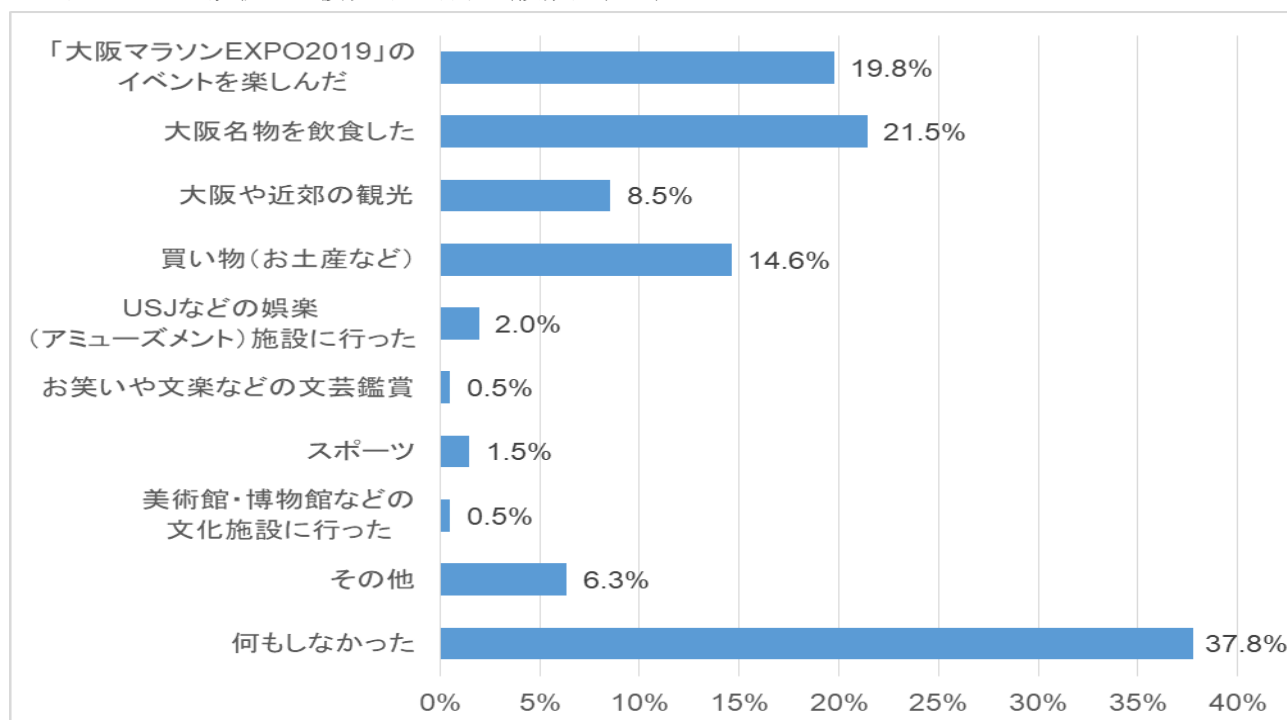
応援の同伴については、「家族・親戚と」が39.5%（昨年：46.0%）、「友人・知人と」が26.5%（昨年：23.5%）、「ひとりで」が18.0%（昨年：23.9%）であった。

■観戦・応援した箇所数



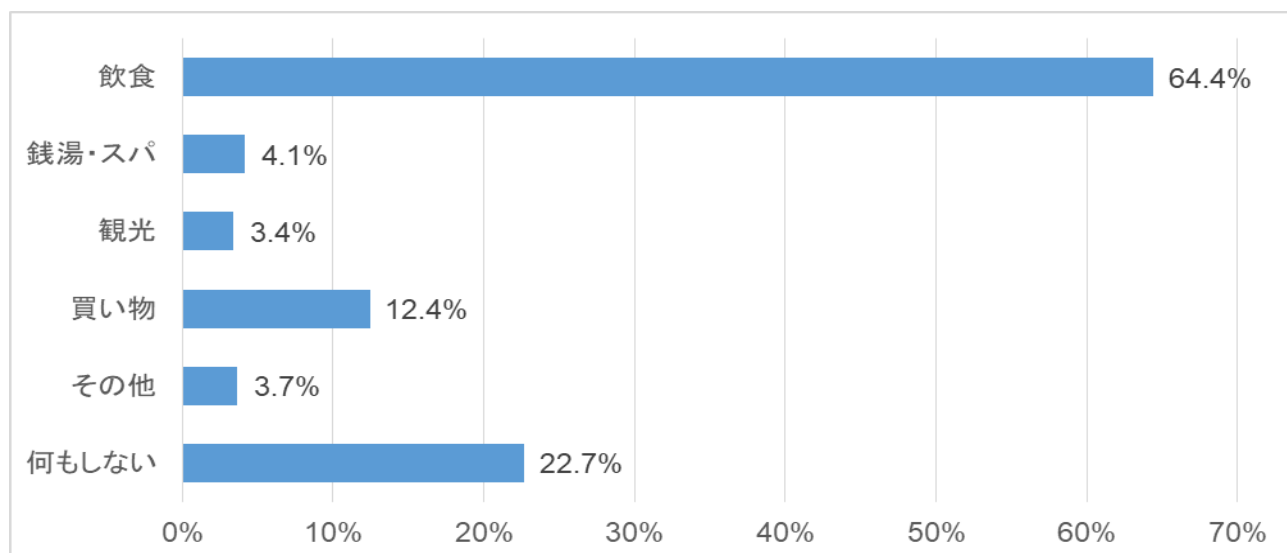
何ヶ所で観戦・応援したかについては、「3か所」が32.2%、「2か所」が26.8%、「4か所以上」が22.3%であった。

■大阪マラソン観戦・応援以外の活動（複数回答可）



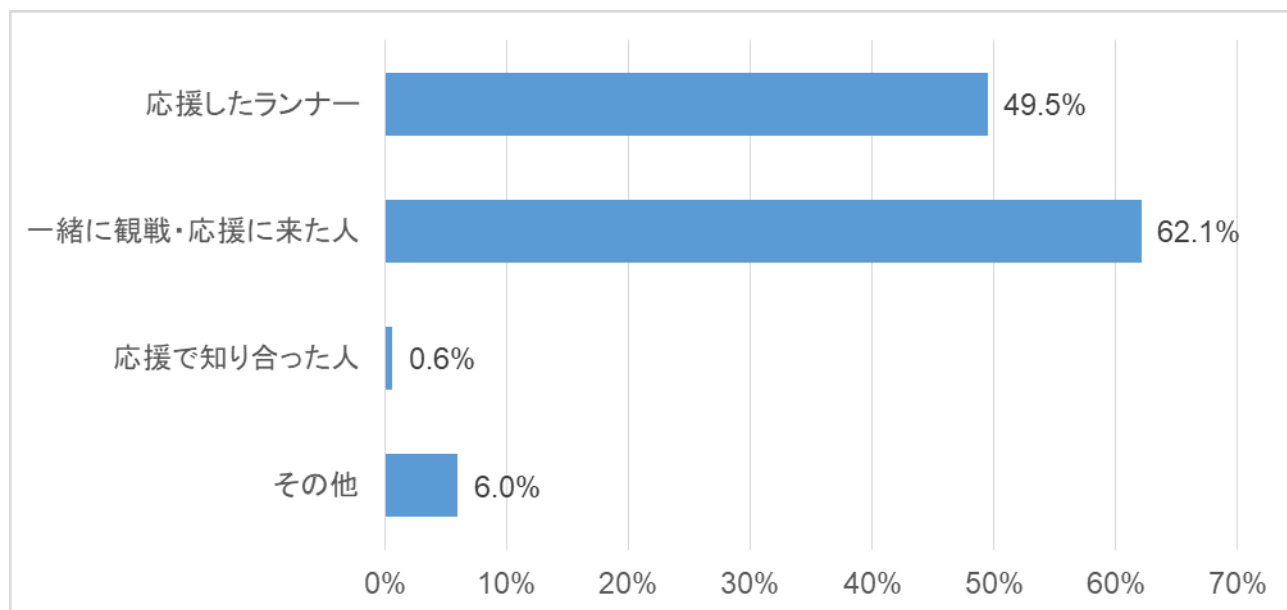
大阪マラソンの観戦・応援以外の活動については、「何もしなかった」が 37.8%（昨年：39.4%）、「大阪名物を飲食した」が 21.5%（昨年：29.1%）「大阪マラソン EXPO2019 のイベントを楽しんだ」が 19.8%（昨年：15.2%）であった。

■観戦・応援後の活動（複数回答可）



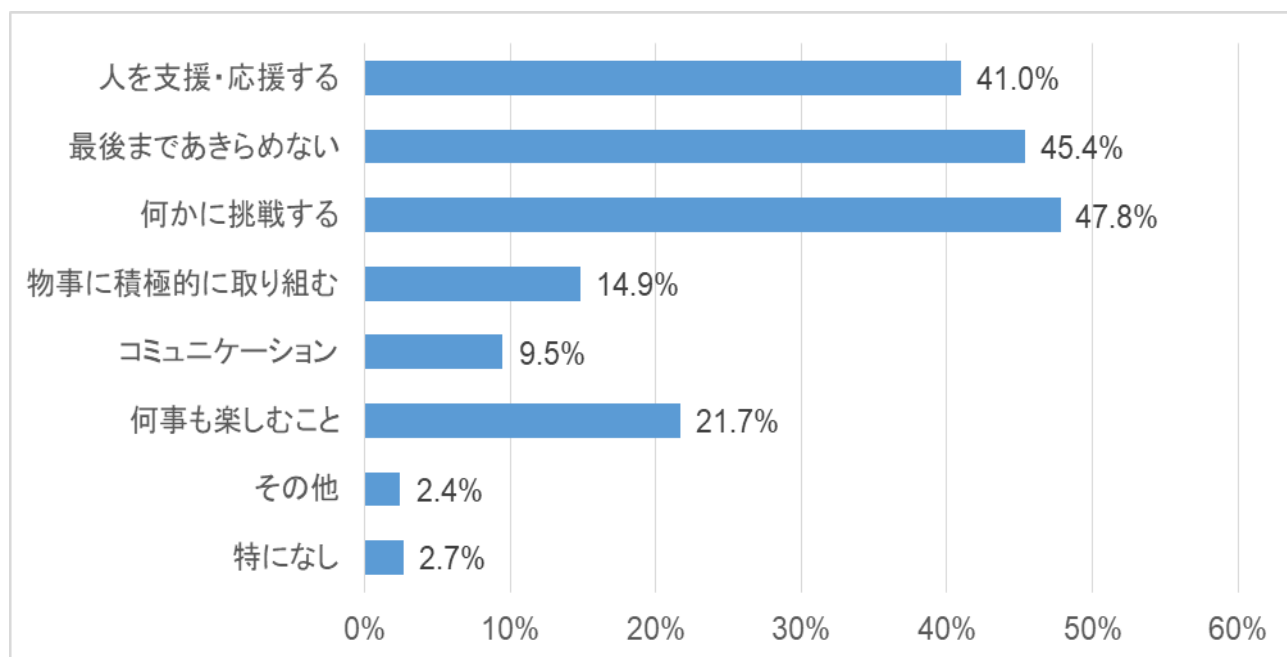
観戦後の行動については、「飲食をする」が 64.4%（昨年：65.3%）「何もしない」が 22.7%（昨年：30.0%）、「買い物をする」が 12.4%（昨年：11.0%）であった。

■観戦・応援後の活動の同伴者（複数回答可）



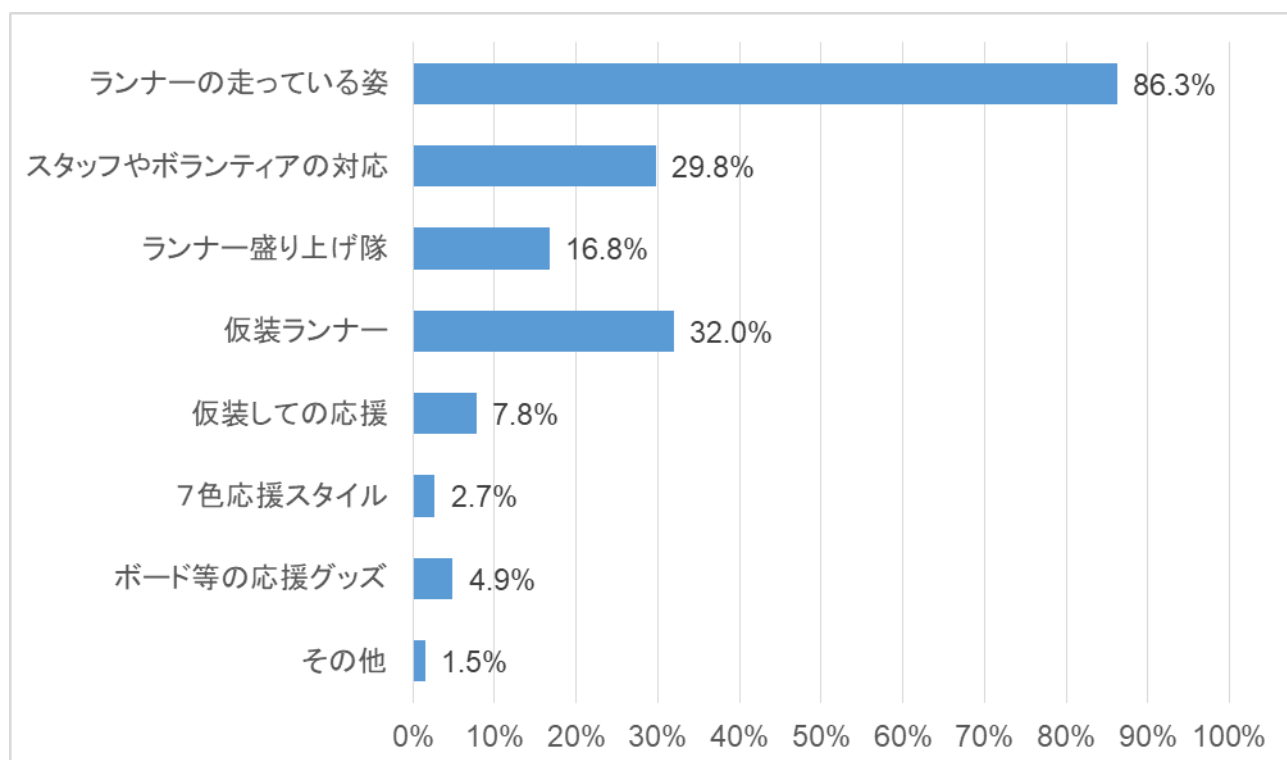
観戦・応援後の活動の同伴者については、「一緒に観戦・応援に来た人」が 62.1%、「応援したランナー」が 49.5%であった。

■観戦・応援することによる生活上の意識や行動の変化（複数回答可）



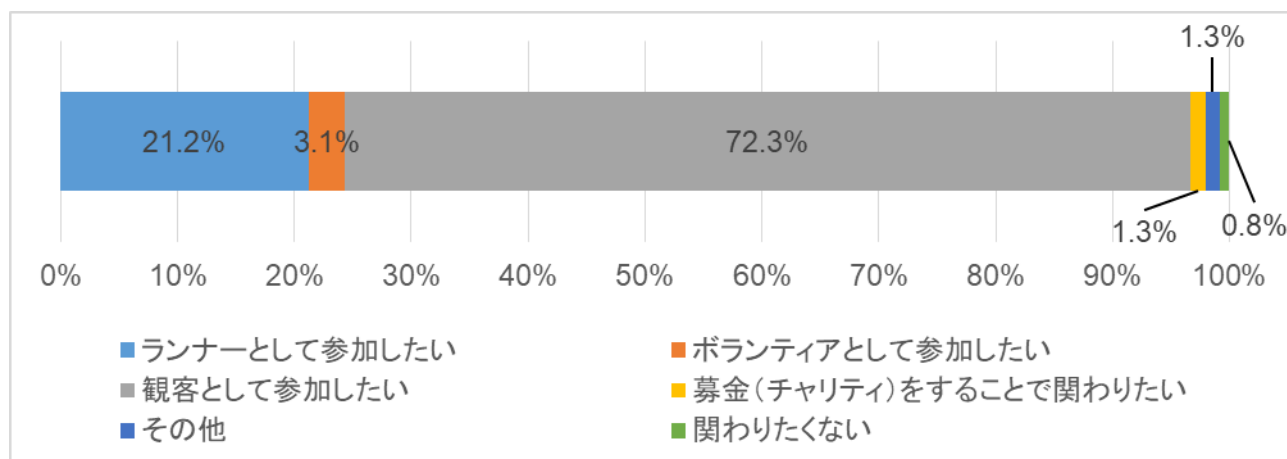
生活上の意識や行動の変化については、「何か挑戦する大切さ」47.8%（昨年：44.8%）、「最後まであきらめない大切さ」45.4%（昨年：41.3%）、「人を支援する・応援する大切さ」41.0%（昨年：40.3%）であった。

■大阪マラソンの観戦・応援をして印象に残ったもの（複数回答可）



印象に残ったものについては、「ランナーの走っている姿」が 86.3%（昨年：57.8%）、「仮装ランナー」が 32.0%（昨年：25.0%）、「スタッフやボランティアの対応」が 29.8%（昨年：28.4%）であった。

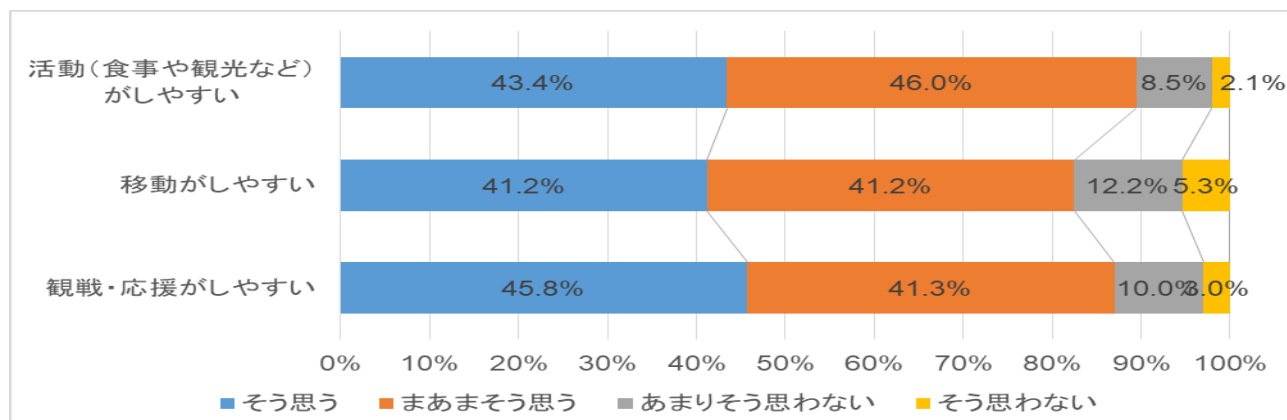
■来年の大阪マラソンへの関わり方



来年の大阪マラソンへの関わり方については、「観客として参加したい」が 72.3%（64.4%）「ランナーとして参加したい」が 21.2%（昨年：24.3%）、「ボランティアとして参加したい」が 3.1%（昨年：9.5%）であった。

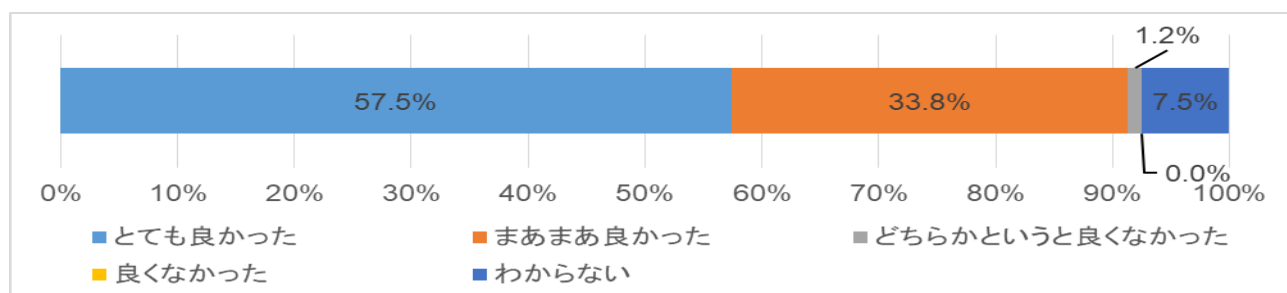
3 大会の運営について

■コース変更に伴う変化



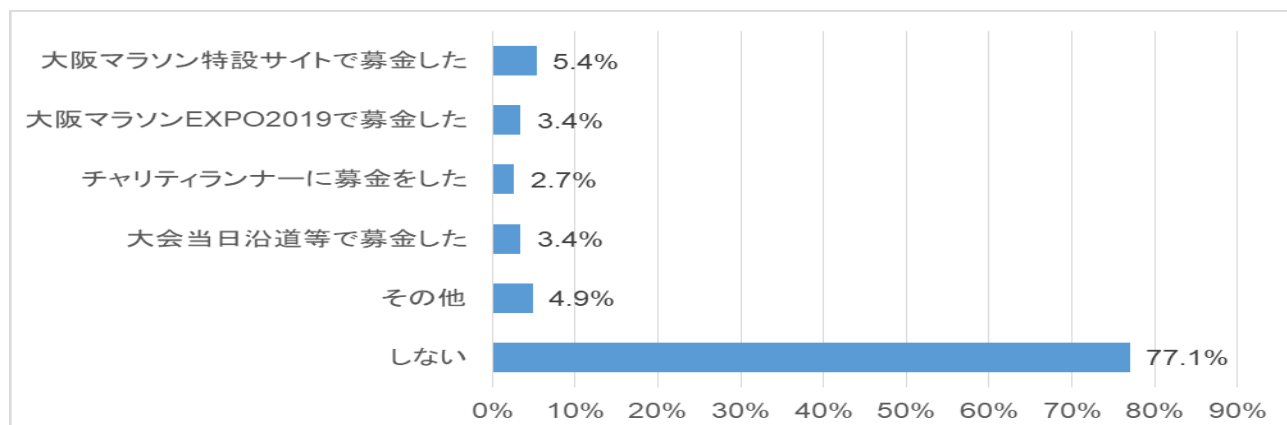
コース変更に伴う変化については、「そう思う」と回答した人の割合だけで見ると、「観戦・応援しやすい」が45.8%「食事や観光などの活動がしやすい」が43.4%「移動しやすい」が41.2%であった。

■ボランティア活動の評価



ボランティア活動の評価については、「とても良かった」が57.5%、「まあまあ良かった」が33.8%と、良かったと回答した人が91.3%であった。

■募金（チャリティ）（複数回答可）



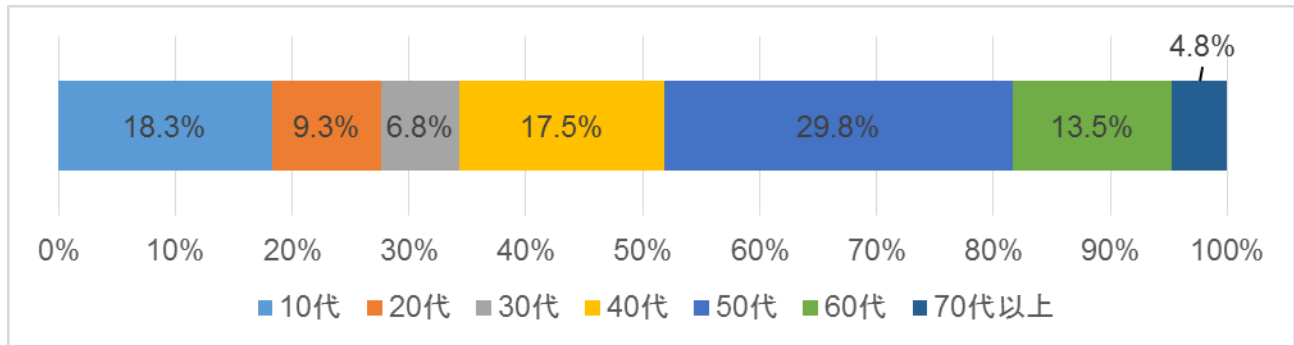
募金（チャリティ）については、「しない」が77.1%、「大阪マラソン特設サイトで募金した」が、5.4%、「その他」が4.9%であった。

V ボランティア意識調査

回答者数：399

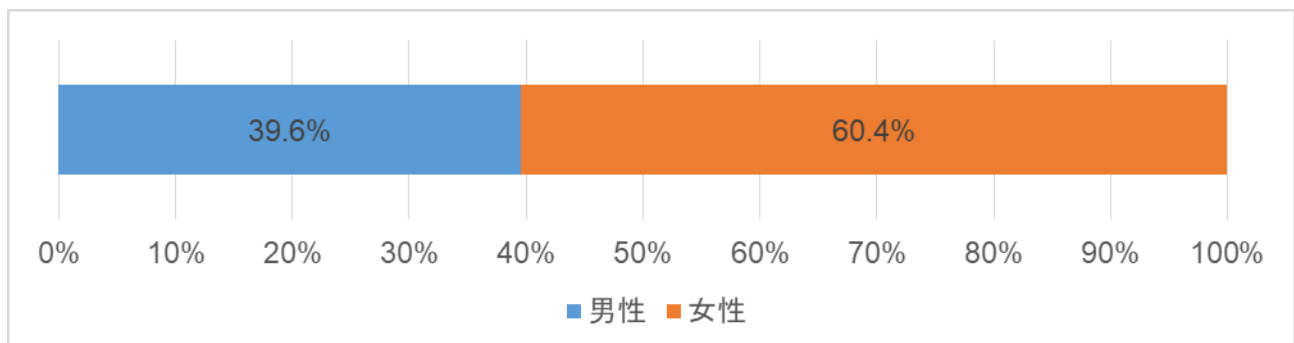
1 あなた自身について

■年齢（年代）



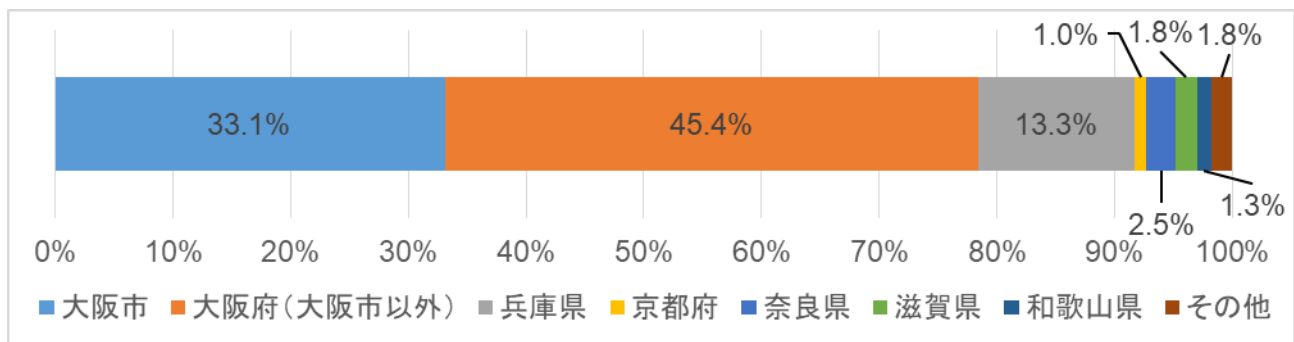
年齢（年代）については、「50代」が29.8%、「10代」が18.3%、「40代」が17.5%であった。

■性別



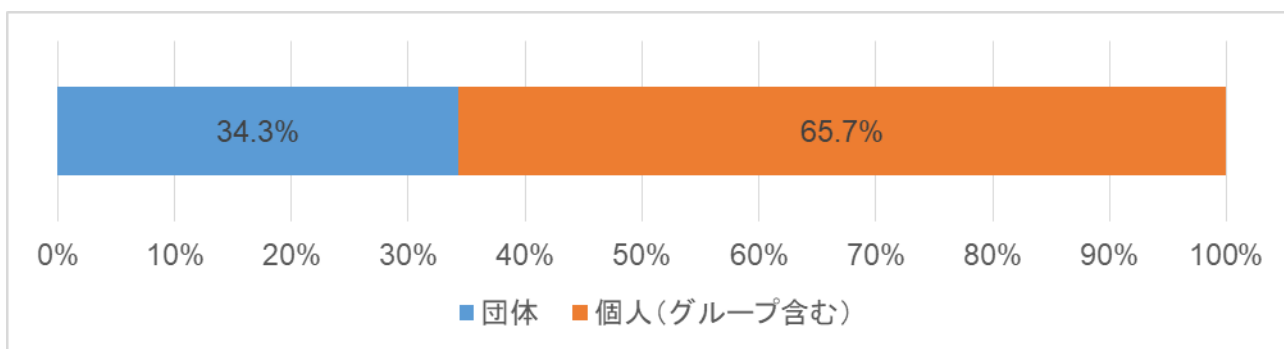
性別については、「男性」が39.6%、「女性」が60.4%であった。

■居住地域



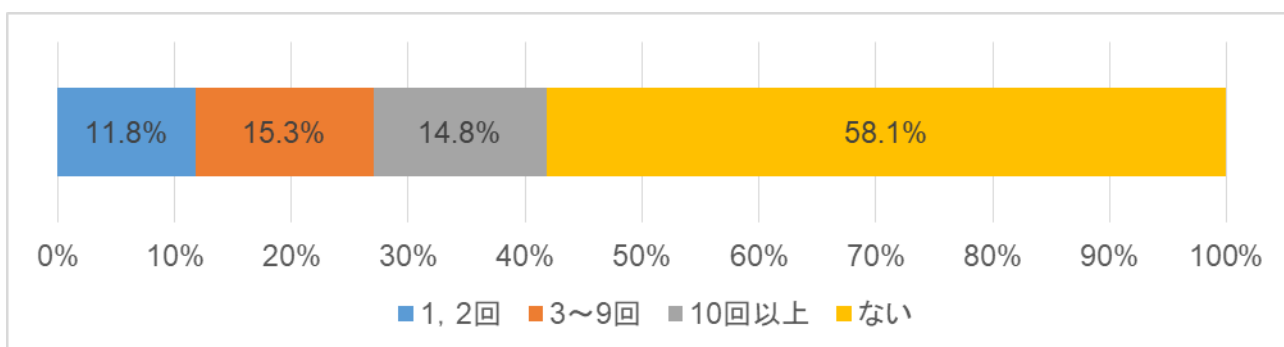
居住地域については、大阪市を含めた「大阪府」が78.5%、「兵庫県」が13.3%、「奈良県」が2.5%であった。

■ボランティアの申込区分



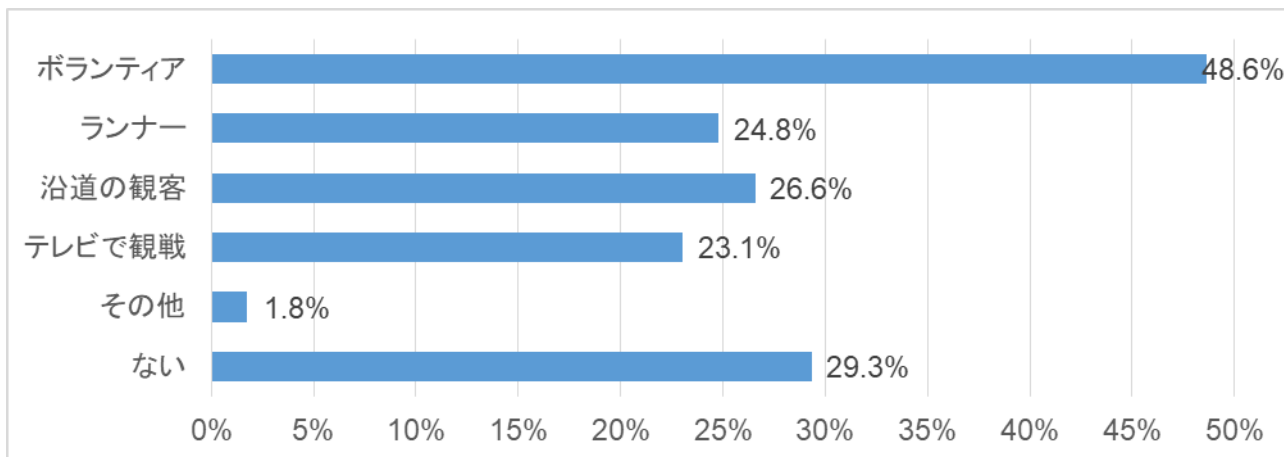
ボランティアの申込区分については、「個人（グループ含む）」が 65.7%、「団体」が 34.3%であった。

■市民マラソンでのランナーとしての参加経験



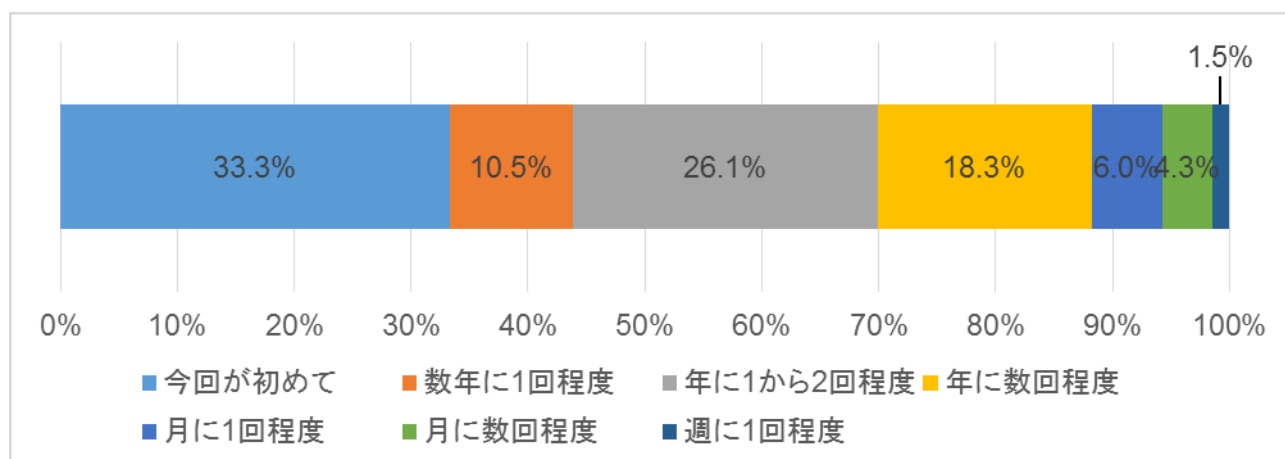
市民マラソンでのランナーとしての参加経験については、「10 回以上」が 14.8%、「3～9 回」が 15.3%、「1、2 回」が 11.8%であった。一方、「ない」が 58.1%であった。

■これまでの大阪マラソンに関わり方（複数回答可）



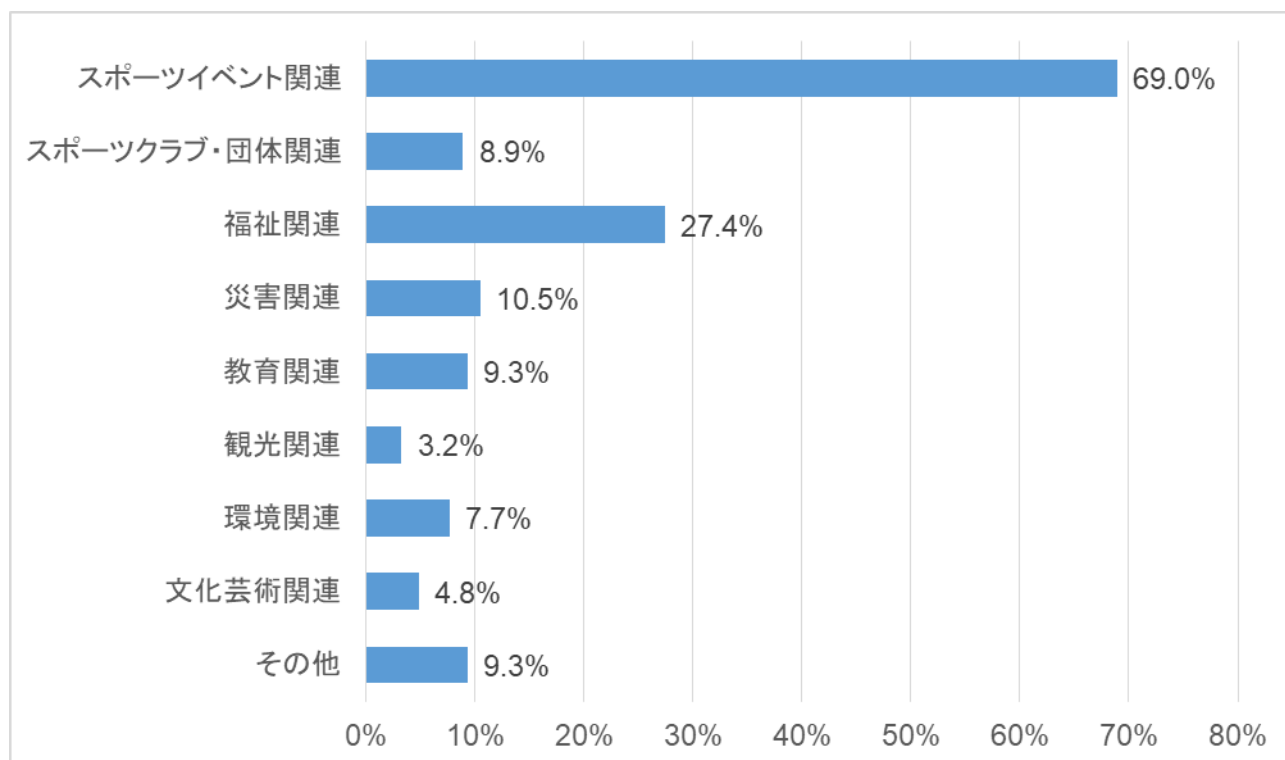
これまでの大阪マラソンへの関わりについては、「ボランティア」が 48.6%、「沿道の観客」が 26.6%、「ランナー」が 24.8%であった。一方「ない」が 29.3%であった。

■ ボランティア活動の参加頻度（活動内容不問）



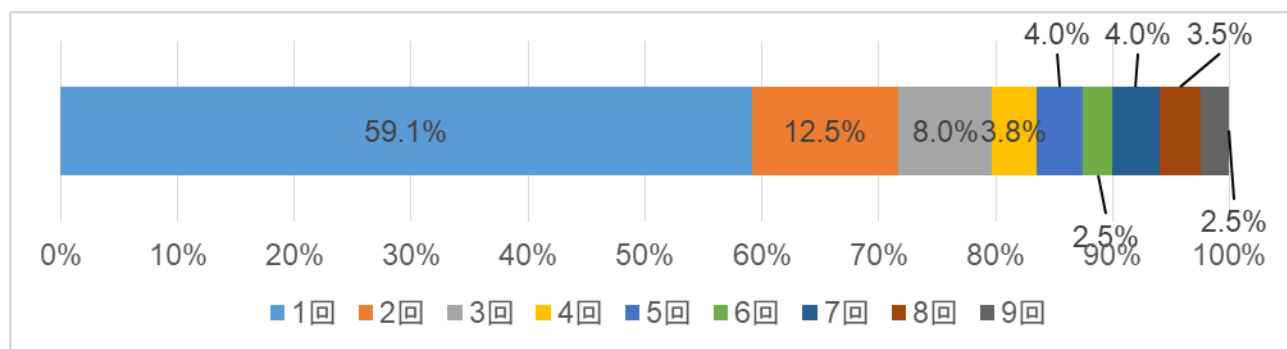
ボランティア活動の参加頻度については、「今回が初めて」が 33.3%、「年に 1 から 2 回程度」が 26.1%、「年に数回程度」が 18.3%であった。

■ これまでに経験したボランティア活動（複数回答可）



これまでに経験したボランティア活動については、「スポーツイベント関連」が 69.0%、「福祉関連」が 27.4%、「災害関連」が 10.5%であった。

■大阪マラソンのボランティア参加経験

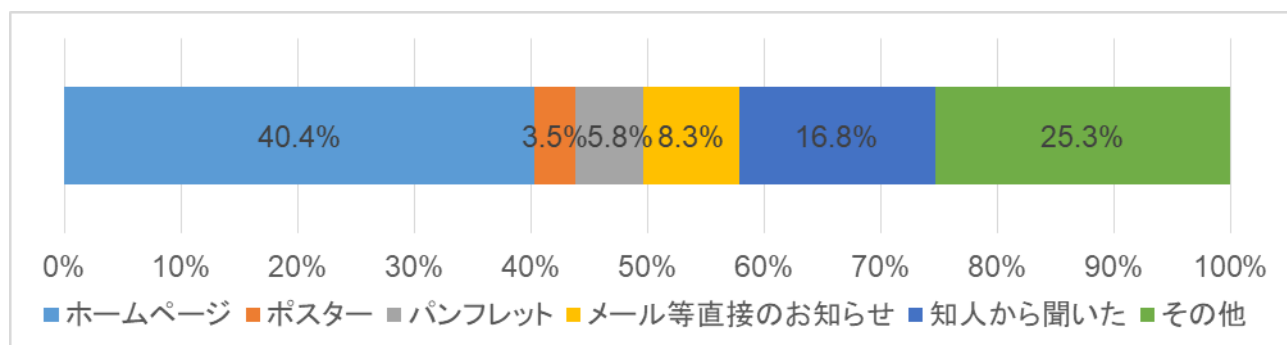


大阪マラソンのボランティア参加経験については、「1回」が59.1%、「2回」が12.5%、「3回」が8.0%であった。

2 ボランティアに関する大会運営について

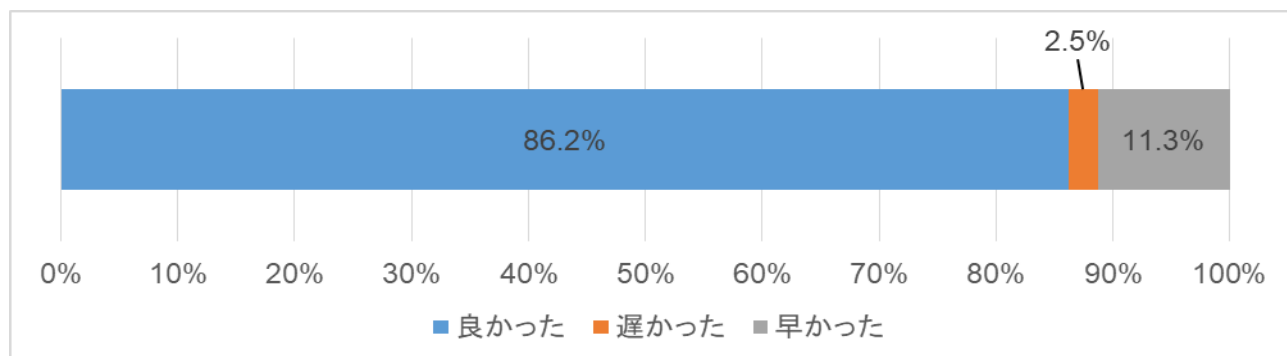
■ボランティアの募集について

ー募集の情報



ボランティアの募集を知った情報については、「ホームページ」が40.4%、「知人から聞いた」が16.8%、「メール等直接のお知らせ」が8.3%、「パンフレット」が5.8%、「ポスター」が3.5%であった。

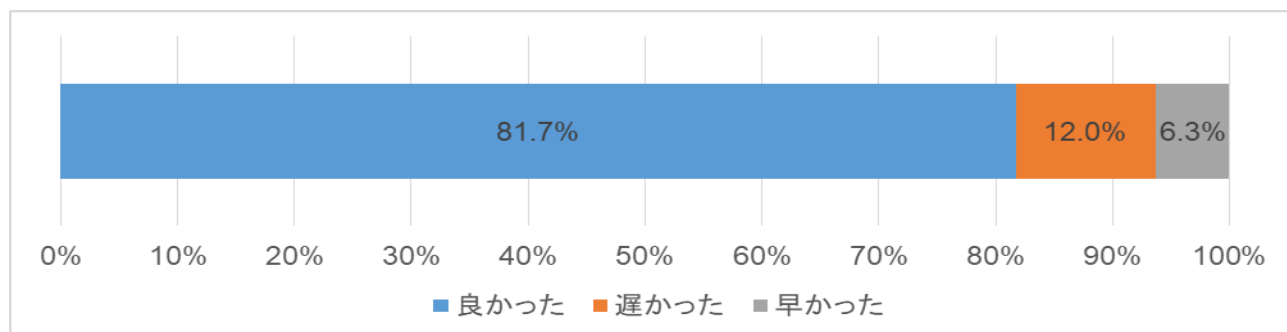
ー募集時期



ボランティアの募集時期については、「良かった」が86.2%、「早かった」が11.3%、「遅かった」が2.5%であった。

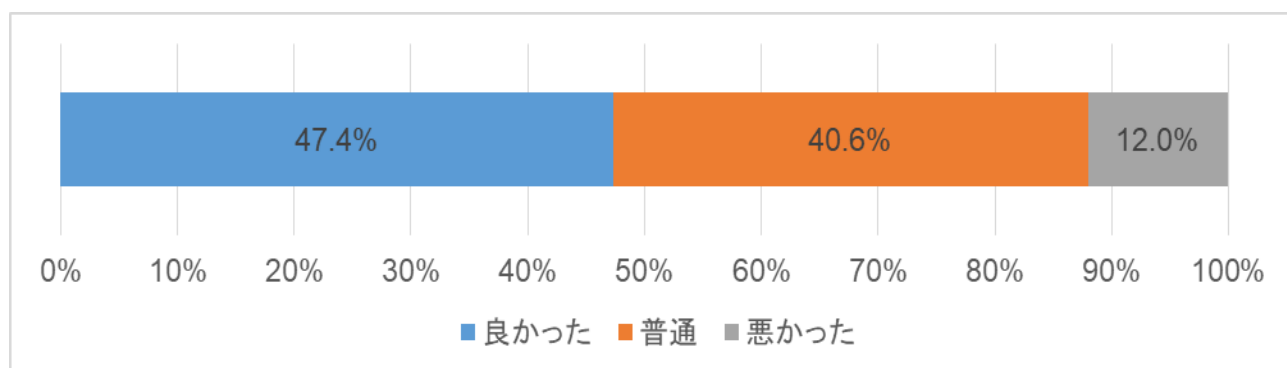
■ボランティアの説明会について

ー説明会の開催時期



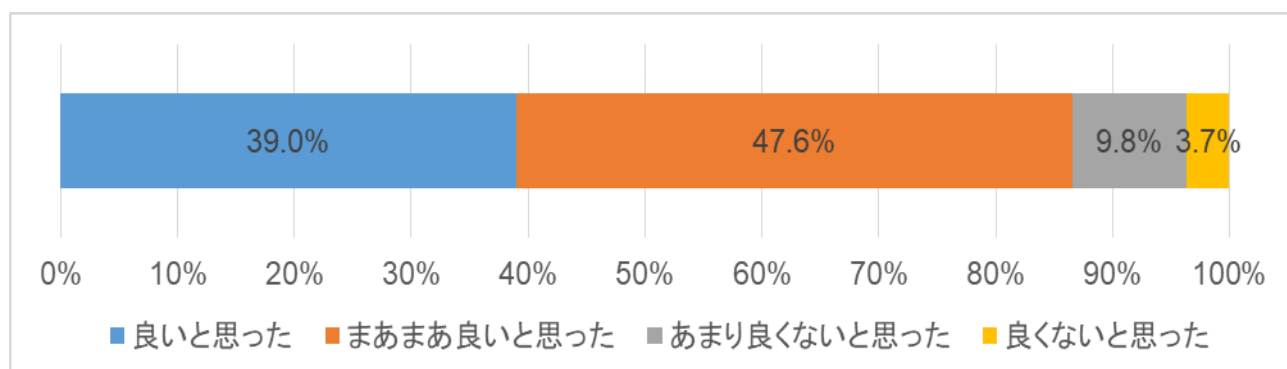
ボランティアの説明会の開催時期については、「良かった」が81.7%、「遅かった」が12.0%、「早かった」が6.3%であった。

ー説明会の開催方法



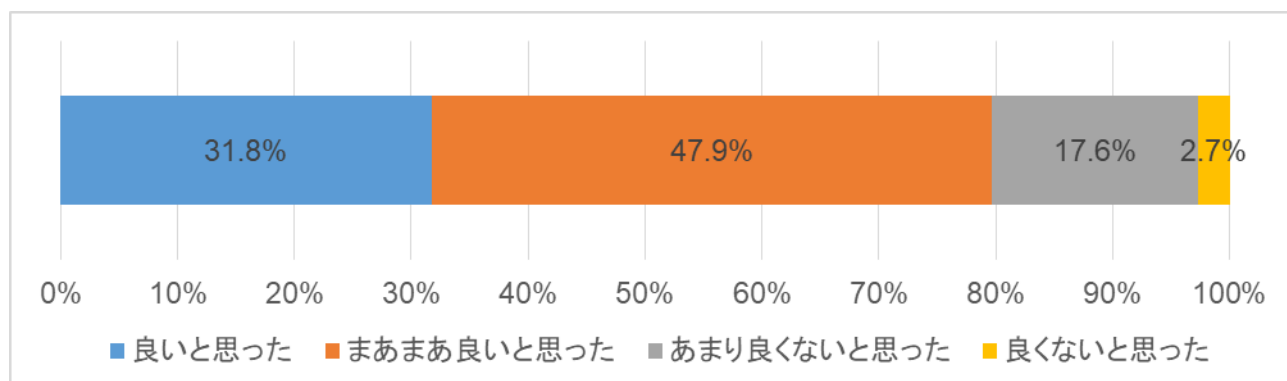
ボランティアの説明会の開催方法については、「良かった」が47.4%、「普通」が40.6%、「悪かった」が12.0%であった。

ーリーダー説明会の内容について



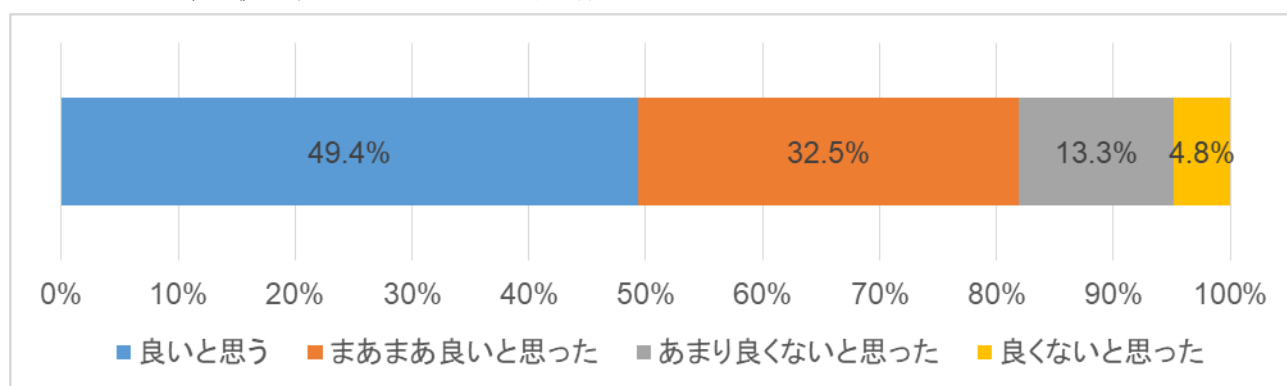
リーダー説明会の内容については、「良いと思った」が39.0%、「まあまあ良いと思った」が47.6%と、良いと回答した人が86.6%であった。

ー個人ボランティア説明会の内容について



個人ボランティア説明会の内容については、「良いと思った」が 31.8%、「まあまあ良いと思った」が 47.9%と、良いと思っている人が 79.7%であった。

ーボランティア初心者ガイダンスの説明内容について

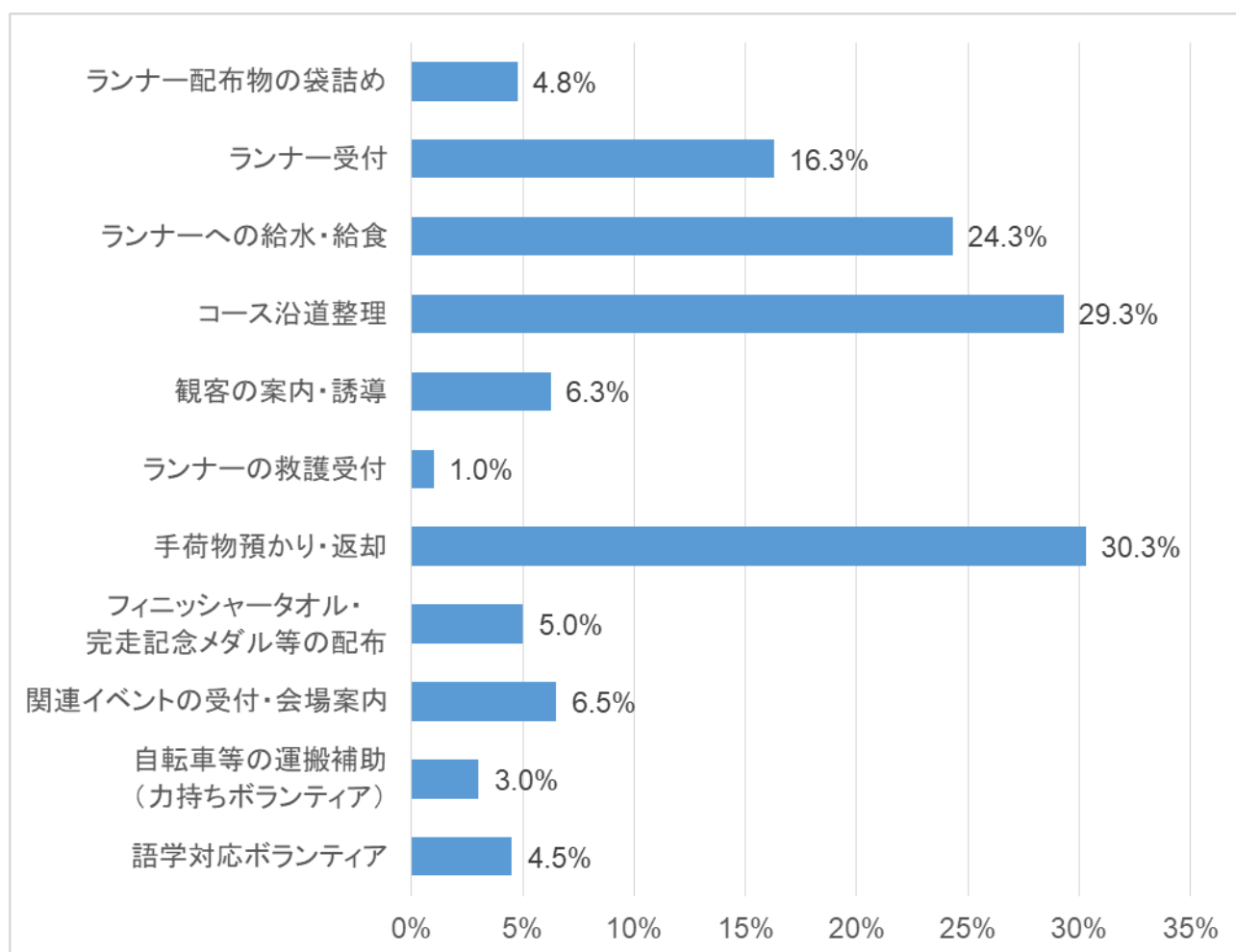


ボランティア初心者ガイダンスの説明内容については、「良いと思う」が 49.4%、「まあまあ良いと思った」が 32.5%と、良いと思っている人が 81.9%であった。

3 ボランティア活動の評価について

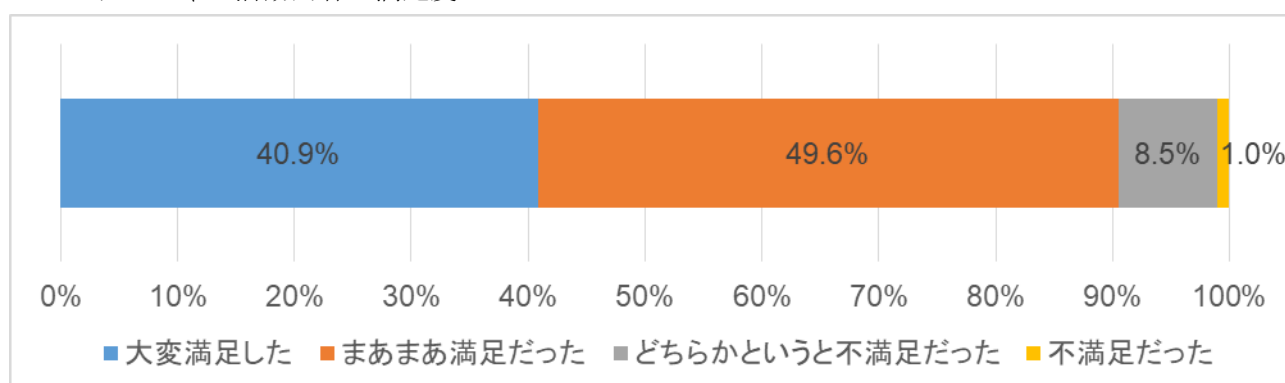
■ ボランティア活動の内容

ー ボランティア活動の内容（複数回答可）



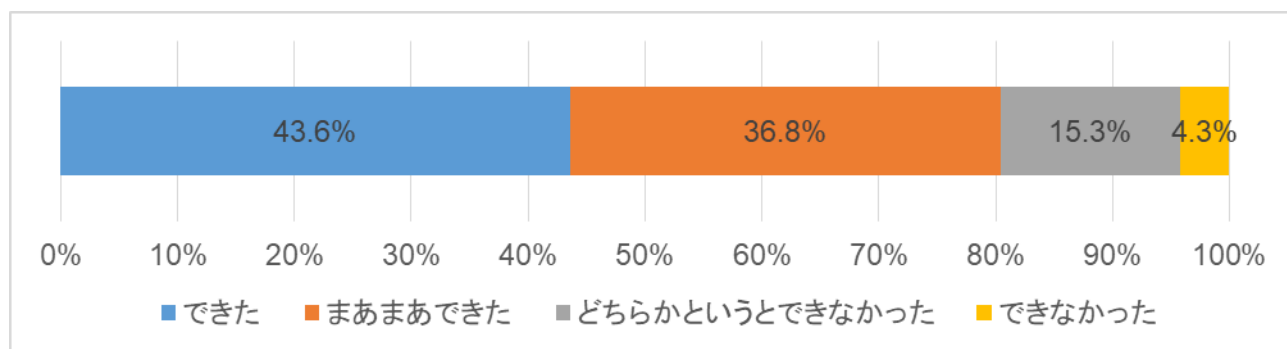
ボランティアの活動内容については、「手荷物預かり・返却」が 30.3%、「コース沿道整理」が 29.3%、「ランナーへの給水・給食」が 24.3%であった。

ー ボランティア活動内容の満足度



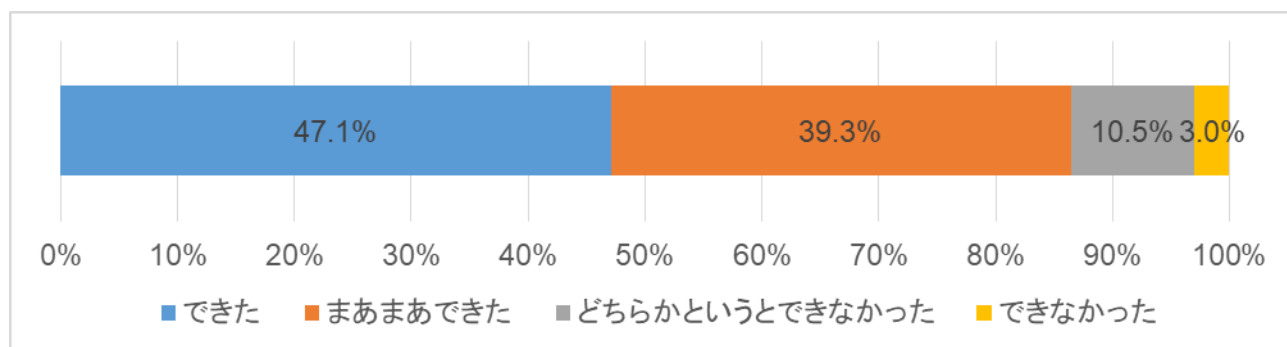
ボランティアの活動内容の満足度については、「大変満足した」が 40.9%、「まあまあ満足だった」が 49.6%と、満足している人が 90.5%であった。

ーランナーや観客との交流



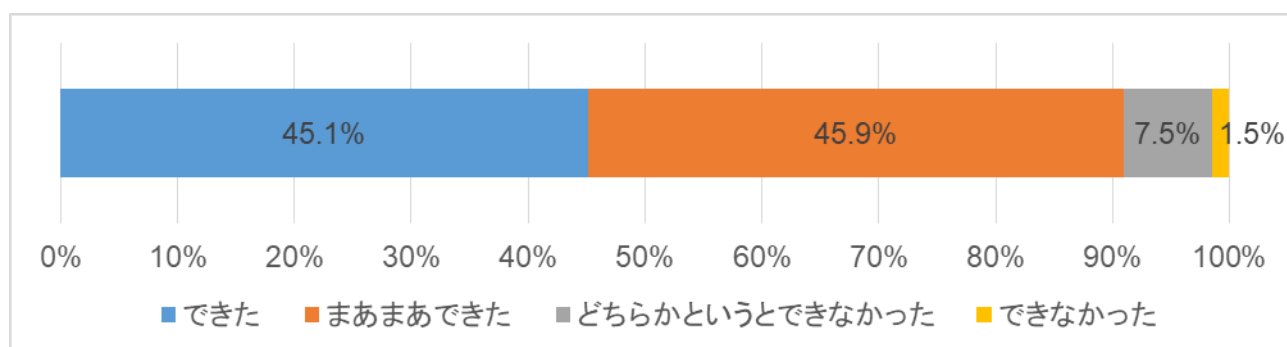
ランナーや観客との交流については、「できた」が43.6%、「まあまあできた」が36.8%と、できたと回答した人が80.4%であった。

ーボランティア同士の交流



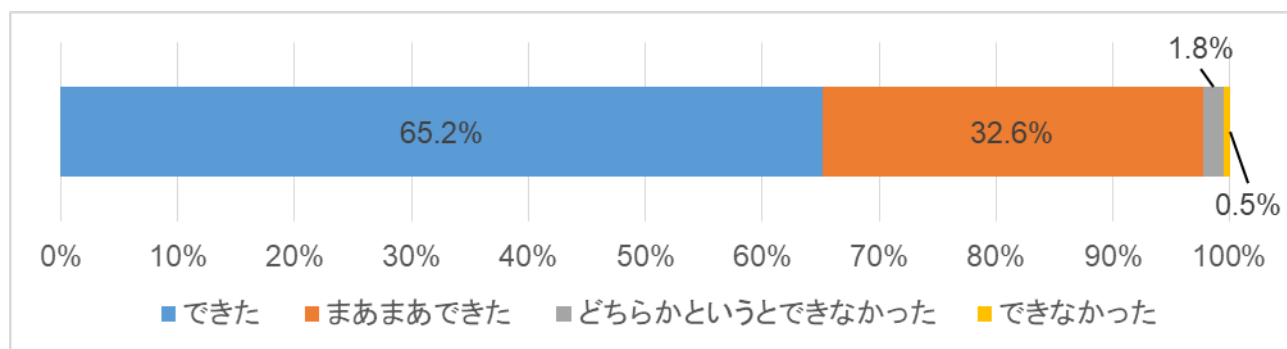
ボランティア同士の交流については、「できた」が47.1%、「まあまあできた」が39.3%と、できたと回答した人が86.4%であった。

ー大阪マラソンを盛り上げること



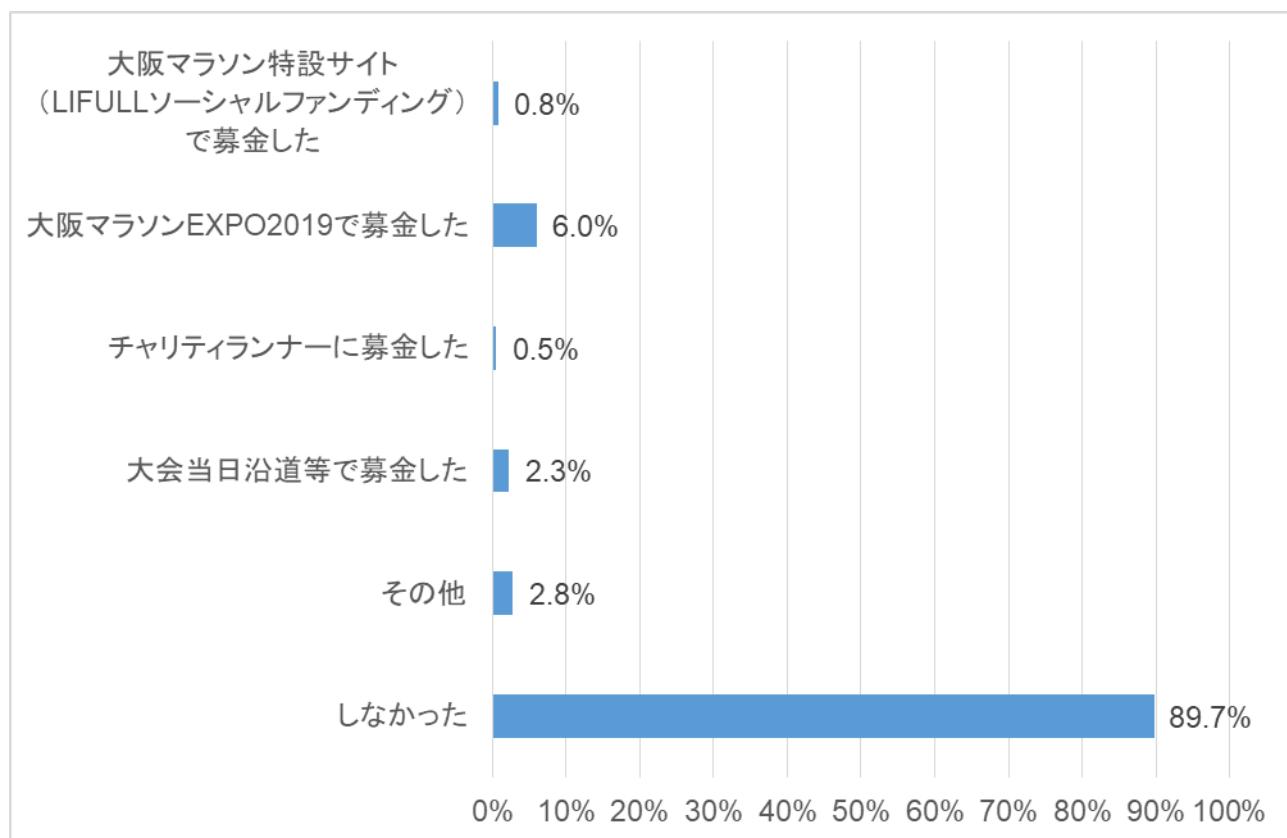
大阪マラソンを盛り上げることについては、「できた」が45.1%、「まあまあできた」が45.9%と、できたと回答した人が91.0%であった。

—積極的なボランティア活動への関わり



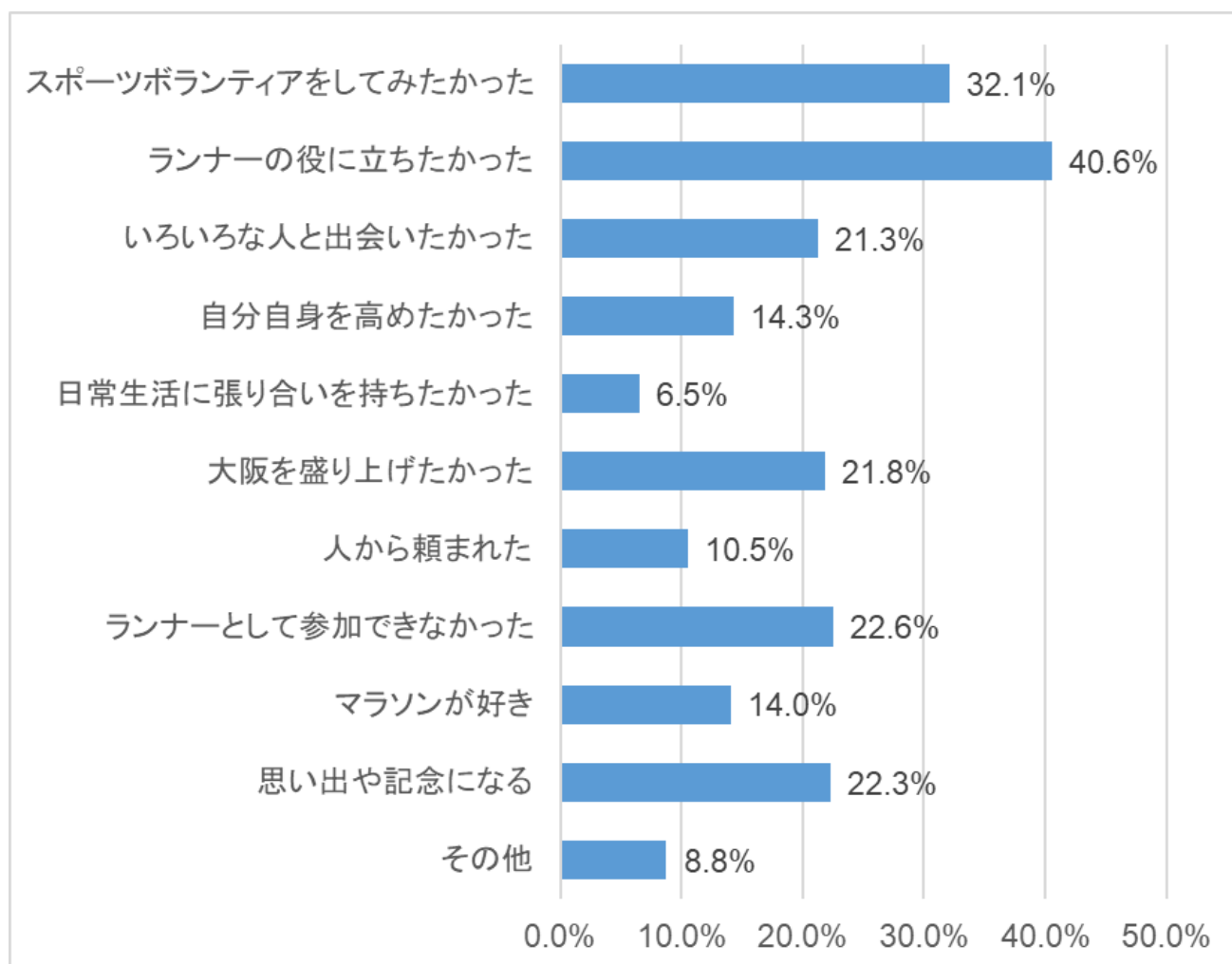
大阪マラソンへの積極的なボランティア活動への関わりについては、「できた」が 65.2%、「まあまあできた」が 32.6%と、できたと回答した人が 97.8%であった。

■チャリティ（募金）



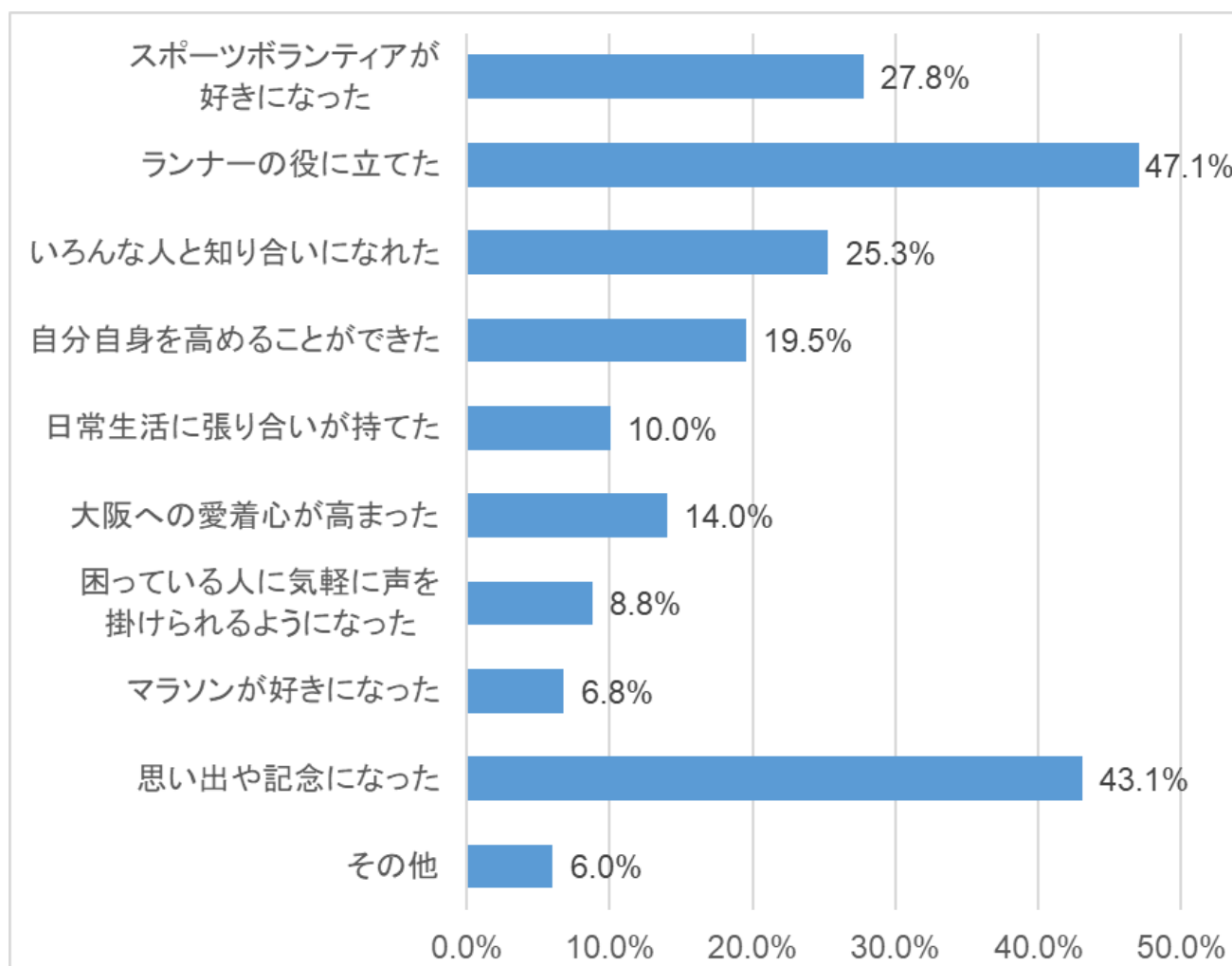
チャリティ（募金）については、「しなかった」が 89.7%、「大阪マラソン EXPO2019 で募金した」が 6.0%、「その他」が 2.8%であった。

■大阪マラソンのボランティアに参加した理由（3 つまで選択）



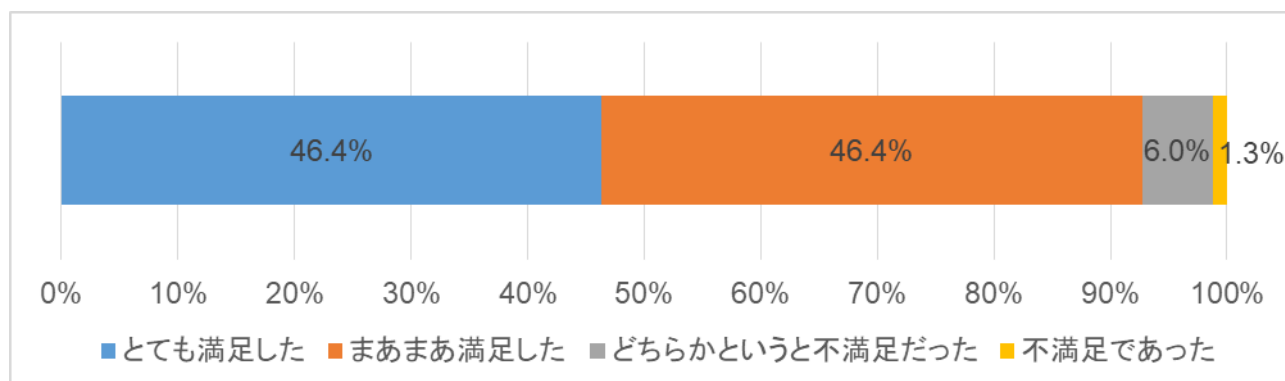
大阪マラソンのボランティアに参加した理由については、「ランナーの役に立ちたかった」が 40.6%、「スポーツボランティアをしてみたかった」が 32.1%、「ランナーとして参加できなかった」が 22.6%、「思い出や記念になる」が 22.3%、「大阪を盛り上げたかった」が 21.8%であった。

■大阪マラソンのボランティアを経験したことによる変化（3つまで選択）



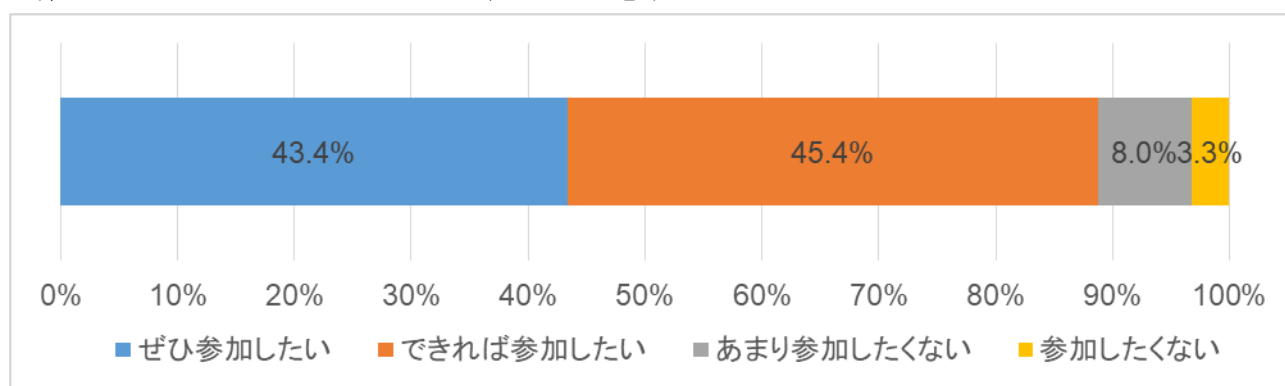
大阪マラソンのボランティアを経験したことによる変化については、「ランナーの役に立てた」が47.1%、「思い出や記念になった」が43.1%、「スポーツボランティアが好きになった」が27.8%、「いろいろな人と知り合いになれた」が25.3%、「自分自身を高めることができた」が19.5%であった。

■第9回大阪マラソンのボランティア活動の満足度



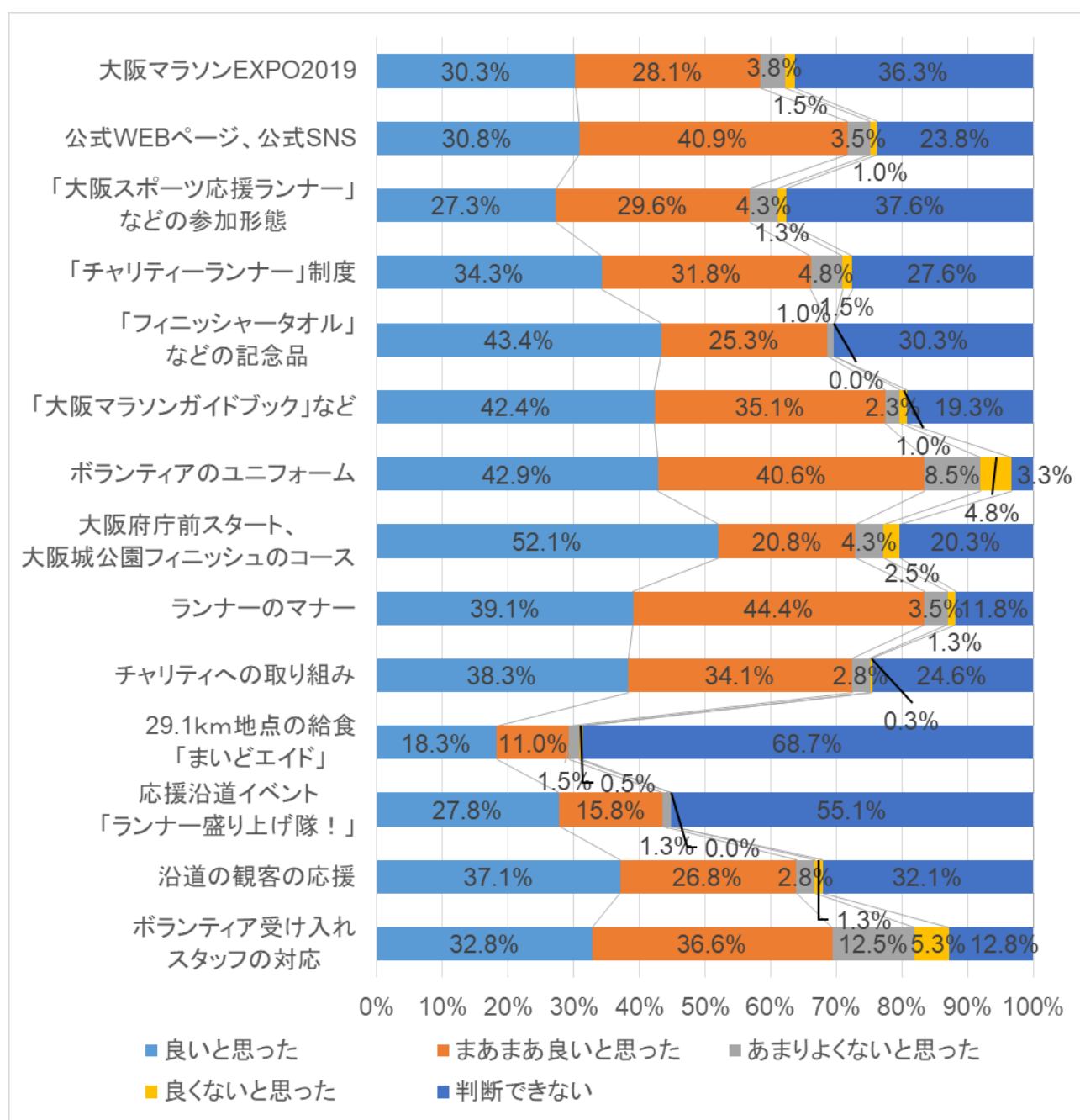
第9回大阪マラソンのボランティア活動の満足度については、「満足した」が46.4%、「まあまあ満足した」が46.4%と、満足している人が92.8%であった。

■第10回大阪マラソンへのボランティアの参加意欲



第10回大阪マラソンへのボランティアの参加意欲については「ぜひ参加したい」が43.4%、「できれば参加したい」が45.4%と、参加したいと回答した人が88.8%であった。

■第9回の大阪マラソンの運営評価



大阪マラソンの運営評価については、「良いと思った」と「まあまあ良いと思った」と合わせて見てみると、「ランナーのマナー」が83.5%、「ボランティアのユニフォーム」が83.5%、「大阪マラソンガイドブックなど」が77.5%、「大阪府庁前スタート、大阪城公園フィニッシュのコース」が72.9%、「チャリティへの取り組み」が72.4%であった。

ボランティア自由記述（抜粋）

<参加理由について>

年代	1 男 2 女	コメント
50	2	生まれ育った大阪の街へ小さな力ではあるけれど恩返ししたい気持ちでお役に立ちたいと思い志願しました。
60	1	ランナーとして走りたかったが抽選に外れたから。全国各地のマラソン大会に出場し、大勢のボランティアのお世話になっているので、年に1度くらいはボランティアでお返しがしたかった。
60	2	頑張っている人をみると、パワーと感動を頂きます。応援したいと思い、参加しました。
40	2	フルマラソン完走する走力はないので、少しでもランナーさんのお役に立ちたかったのと、大阪マラソンを盛り上げたかったから。
20	2	学校から全員参加と言われた。学校の必修科目の1つ、「ボランティア活動論」の活動単位を取得するため。
40	2	中学生の子どもにボランティア経験をさせてみたかった為。
50	1	初めて参加したくランナーとして応募しましたが、落選したので別の形での参加としてボランティアに参加しました。
50	2	語学をいかしたかったから。

<ボランティア活動をしてみて>

年代	1 男 2 女	コメント
50	2	普段は引っ込み思案なところがあるけれどボランティア中は積極的な気持ちに働きました。
40	2	ボランティア精神を生で勉強できた。見返りを求めない(ランナーにもボランティアにも)こと、自ら積極的に行動すること、特に正解はないことを学んだ。
50	2	ランナーと同じ時間を共有することで、自分も頑張ろうと意欲がわいてきた。
50	2	知らない人に声をかける事がなかなか出来なかった私ですが、ボランティアをしてからたくさんの方々に自分から声を掛ける事ができるようになりました。
60	1	大変慌ただしい中にあっても笑顔でいられる人や、そうでない人、休憩がなくてもグチ一つこぼさず業務に励む人や、依頼にすぐに対応される姿に多くの学びが得られた。
50	1	一緒に活動するボランティアの方とは一期一会ですので、楽しく一日をともに過ごせるよう積極的に行動するようになりました。

<大会運営について>

年代	1 男 2 女	コメント
40	2	御堂筋の心斎橋辺りで活動していたが、ランナーが側道を走らないので、沿道の応援とランナーの間に距離を感じ、盛り上がり欠けるように思った。ランナーの方はマナーがよく、ゴミをわざわざ捨てに来てくれたり、ボランティアに対して気持ちよく対応してくれて感動した。給水場所によっては、ゴミ箱がなく、ランナーが道に飲んだあとのコップを捨てるしかないところがあり、ゴミ箱の設置場所をもっと考えた方がいいと思った。
50	1	ボランティアに参加される方の意識が高く、またボランティアセンターのスタッフの方もしっかりサポートしていただいているので、毎回楽しく参加させてもらっています。東京マラソンに負けないマラソン大会になるよう皆さんと一緒に取り組めたら幸いです。
40	1	ボランティアを通じて、大阪マラソン大会の裏側の支えを知ることができました。次回ランナーとして参加できる機会に恵まれたときは、このありがたみを噛み締めて、ボランティアの方々に「ありがとう」と言えるようにしていきたいと思いました。
50	2	2日間参加しましたが、どちらもリーダーさんのご指示がわかりやすく、活動もスムーズにできました。とても楽しく活動できました。またぜひ参加したいです。
20	2	ゴール付近で完走したランナーが次々と着替えのためにパンツ1枚になるので、その付近はタオルか何かで隠して着替えてほしい。
40	2	素晴らしいサポートをしてくださったボランティアリーダーさん。ランナーに落選するとボランティアとして参加されるそうです。来年はランナーとして参加していただければと思います。
50	2	たくさんのボランティアやスタッフの方々が、大会を作り上げているのを、私もボランティアで参加して間近に感じる事が出来てとてもよかった。当日、ボランティアに活動内容を説明したり一緒に活動するスタッフにもう少し知識や各活動場所との相互連絡の手段があれば、もっとスムーズにボランティアが活動出来たのではないかと感じた。質問されても誰もわからず、右往左往する時間がもったいなく、ランナーや観客を待たせて迷惑をかけてしまった。
40	1	沿道で行われる地元の中学生の演奏が非常に感動した。応援曲のセレクションが良く、ランナーと一体となった応援で担当していたボランティアメンバーも楽しく、応援することができた。このように楽しめるボランティア活動は初めて経験した。地元中学校の吹奏楽部の皆さんに感謝したいです。

おわりに

～セントラルフィニッシュとボランティア～

<セントラルフィニッシュについて>

これまでの調査でも皆さんからの要望が多かったセントラルフィニッシュ（フィニッシュ地点は街の中心部）が、今回の第9回大会から実施された。昨年度の報告書でも述べたように、世界6大マラソン（Abbott World Marathon Major）であるロンドンマラソン（London Marathon）、ボストンマラソン（Boston Marathon）、ニューヨークシティマラソン（New York City Marathon）、シカゴマラソン（Chicago Marathon）、ベルリンマラソン（Berlin Marathon）、東京マラソン（Tokyo Marathon）がすべてセントラルフィニッシュであるので、これで世界基準の市民マラソンの仲間入りをしたということになる。

そこで、このセントラルフィニッシュを含むコースの変更について、ランナーの皆さんはどのように評価されているのだろうか。



自由記述では、「ゴール後にそのまま大阪城など観光できるのが良いと思います。また、移動について近隣に複数の交通機関があり、それぞれに乗る事が出来るから便利で、混まないのがゴール後の脚を考えるととても良いと思います。」（40代、男性）と、フィニッシュ後の活動がしやすかったという意見が一番多かった。とりわけ、前回までは、駅まで遠かったり、飲食をする場所が少なかったりで、フィニッシュ後の余韻を楽しむことができなかったが、今回は、それができたことに対する評価が高かった。したがって、大会後に飲食をした人が61.6%もあり、また、その時に飲食等のサービスである「Osaka Marathon Dresse 2019（大阪マラソンでっせ）」を利用した一般ランナーは44.9%であった。しかも、「大阪城からスタートしてゴールできることは、とても良い考えだと思います。レースの後もランナーとその家族と一緒に過ごせる場所が沢山あります。」（40代、女性：シンガポール）と、レース後の活動は、「家族・親戚」と32.7%、「友人・知人」と21.6%、「マラソン仲間」と20.5%と、同伴者と楽しんでいる情景が見えてくる。このように、市民スポーツで大切なアフターのコミュニケーションが、セントラルフィニッシュによって活発に行われるようになったことが、大きな成果であるといえる。

しかも、「41 kmの地点で大阪城公園に入る時、真正面に大阪城が綺麗に見え、とても晴れやかな気持ちになれた。」（50代、女性）と、大阪の象徴的な建物である大阪城にフィニッシュできることに、大阪らしさを感じていた。ただそれだけではなく、「大阪城を見ながらゴールできるようになり、新コースに走らせていただき感謝したい。ただ、この日は晴天で

よかったです、雨天だったら、荷物の受け渡しなどの時に大変かもしれません。」(50代、女性)と、晴れて良かったという感想とともに、雨の時のことを心配してくださる方も多く、大会の主催者側に立って、考えてくださっていることが印象的であった。

コースについては、次のような意見が聞かれた。

四天王寺などの名所旧跡をめぐるコースについては、海外ランナーは、「名所旧跡を多く臨みながら走ることができた」が61.5%（一般ランナー：33.4%）と、名所旧跡のあるコースの評価が高かった。その中でも印象に残ったのは、古代の建造物である「四天王寺」が49.1%と最も多く、大阪の象徴的な場所としての「御堂筋」が45.2%、近代を代表する建造物の「大阪市中央公会堂」が42.2%、「造幣局」が29.1%、現代的な建物である「京セラドーム大阪」が31.4%となっている。一般ランナーで、初めて参加した人にとっては、「中央公会堂の脇を通り、御堂筋は走れるし、京セラドームも見れたり、鶴橋を通ったり、阿倍野ハルカスを見上げることができるなど、楽しめました。」(30代、男性)とコースに大阪らしさを感じている。

その中でも、今回の新しいコースになった「松屋町筋における線香の香りが印象に残りました。走りながら凜とした気持ちになりました。」(50代、男性)との感想があり、単に、建物だけではなく、それぞれの地域で展開される個性的な応援が、今後の大阪マラソンの特徴となることによって、ロンドンマラソンのように、コースの物語（第7回大会の報告書参照）を紡ぎ出すことができるのではないだろうか。

ただ、「御堂筋を往復するコースを復活させたら、もっと良くなると思います。」(30代、男性)と、これまでの大阪マラソンの特徴であった御堂筋の北上を希望される人も多かった。

沿道の応援については、「沿道の応援を楽しむことができた」が海外ランナーで69.7%、一般ランナーで67.9%と、評価が高かった。自由記述においても、「コースは、前回までと違い大阪を走っていることを楽しめたのと、沿道の応援は途切れることなく力を与えてくれた。」(60代、男性)、「全体的なコースは難しいものになりましたが、全コース沿いに観客からのサポートがありました。」(60代、男性：オーストラリア)、「大阪城でスタートしてゴールするのが良かったです。沿道にはいつも人がいて応援してくれました。」(20代、男性：アメリカ)と、ランナーに元気を与える沿道の応援が途切れないことに対する評価が高かった。とりわけ、「終盤35km過ぎてから沿道の応援を頂けるのは嬉しい。」(50代、男性)と、今里あたりの沿道の応援に力をもらった人が多かった。

ただ、「沿道の応援の方々との距離が遠い区間が多く、前回迄よりハイタッチ出来る区間がかなり少なく感じました。」(40代、男性)、「御堂筋は一番の盛り上がる場所だと思っていましたが歩道の応援からかなり遠くて、寂しく感じました。」(50代、女性)、「安全確保のためと思いますが、沿道とランナーの間に1車線区切っている箇所が多く、沿道との距離を感じました。」(30代、女性)と、沿道の観客との距離があることによって、一体感を得ることができなかったという意見もみられた。

一方で、コースの折り返しに対する意見も多かった。サブ4やサブ3という記録を目指

している人にとっては、走りにくいコースだったのかもしれない。ただ、「コースは、折返しが多くて、知り合いがいたらお互いに励まし合いながら走ることが出来ました。」(30代、女性)「折返しが多いのは、他に頑張っているランナー、また著名人と会うことも多かったのも、良かった。」(50代、男性)と、仲間とすれ違いにハイタッチをしたり、声をかけたり、有名人に出会うことができて良かったという積極的な意見もみられた。また、「折返しが多く走りにくいと思いましたが、次の曲がり角までのおおよその距離感がつかめましたのでそれはよかったです。」(40代、女性)と、そのメリットを指摘する意見もあった。

また、「スタートしてから5キロまでの道幅が狭い。」(50代、男性)と、スタートから道路幅が狭いという意見も多かった。地理的条件が異なっているが、ロンドンマラソンのように3か所からのスタートは考えられないだろうか。

＜ボランティア活動について＞

2011年に設定されたスポーツ基本法では、「する」、「見る」、「支える」の3つのスポーツへの関わり方が謳われている。スポーツボランティアとは、この「支える」という関わり方で、現代のスポーツイベントではなくてはならないものとなっている。

このスポーツボランティアは、1948年のロンドン五輪で一般ボランティアを募集したことから始まった。1964年の東京五輪では7,300人のスポーツボランティアが活動したが、これは一般に募集したわけではなく、体育大学の学生、競技団体の関係者、ボーイスカウト、スポーツ少年団など、いわゆる動員された人が中心であった。日本で、一般的にボランティアを公募する方式が始まったのは、1985年のユニバーシアード神戸大会で、8,300人の一般の市民がボランティアとして関わり、給水をはじめとして会場や交通の整理等を行った。さらに、1994年の第12回アジア競技広島大会では一般の広島市民4,000人がスポーツボランティアとして関わった。また、1998年の冬季の長野オリンピックでは33,000人、2002年の日韓サッカーワールドカップでは16,500人のボランティアが活躍し、日本ではスポーツボランティアが認知されるようになった。それが今や市民マラソンのボランティアにまで広がってきたという歴史的経緯がある。

しかし、1996年のアトランタ五輪で、ボランティアが大量に辞退したことによって、バスの運行のトラブルとか、警備の不備による問題が起き、国際オリンピック委員会は、ボランティア研修等を義務づけ、極力ボランティアの人数をおさえるようにという方針を打ち出したのである。

このような状況の中で、今回は、大阪マラソンのボランティア活動のあり方を検討するために調査を行った。

まず、ランナーは大阪マラソンのボランティアについてどのようにみているのだろうか。アンケート調査では、「ボランティア、スタッフの対応」が一般ランナーで87.9%、海外ランナーで88.8%と、その活動を高く評価している。また、ボランティア活動で最も印象に残

ったものとしては、「ランナーへの給水・給食」が一般ランナーで 48.7%、海外ランナーで 44.5%、「完走記念メダル等の配布」が一般ランナーで 14.8%、海外ランナーで 18.8%、「コース沿道整理」が一般ランナーで 12.3%、海外ランナーで 9.5%と、直接ランナーに接するボランティア活動が印象に残ったという。

自由記述でみると、「ボランティアの人達も大変なのに、私達ランナーに声援をかけてくれました。途中足のマメが潰れそうで歩こうと思ったけど、笑顔でゼッケンに記載した名前を呼び、励ましてくれました。なので最後まで歩かず完走出来ました。感謝です。有り難うございました。」(50 代、女子)、「給水や給食のたびに温かい声援や激励があり元氣をもらいました。途中で足が痙攣し何度の止めようと思いましたが、ボランティアの方からの声掛けがあり完走できました、感謝しています。」(60 代、男性)、「『いってらっしゃい』『おかえりなさい』と何気ない言葉だが、完走する意欲と完走した達成感を得ることが出来た。」(40 代、男性)と、ボランティアからの声掛けや励ましに、多くのランナーが感謝している。また、「応援してくれた家族曰く、電車での応援場所移動の案内は親切すぎるほどだったそうです。感謝の一言です。」(40 代、女性)と、親身になって案内してくれるボランティアに感謝している。

特徴的な自由記述として、次のような裏方ともいえるボランティアへの思いが述べられていた。

「お年寄りの自転車をボランティアスタッフが担いで歩道橋を渡っていたのが印象的でした！私たちが走りやすくなるように皆さんが協力してくれているんだな、と改めて感謝です。」(40 代、男性)、「車椅子を歩道橋まで運んでいたボランティアの姿を見て印象深かった。大都市で大会を開催することは選手だけではなく、影響される一般市民のことも考えなければならないと思った。」(30 代、男性：香港)、「歩道橋毎にボランティアの方々が自転車を運んで下さって、『奥さんお待たせしました！』と声をかけてられたのが走っていても聞こえて、そんな中を走らせて頂く事に感謝の気持ちで一杯になりました。」(40 代、女性)、「歩道橋を渡らなければいけない一般の方の自転車を、ボランティアの方々が一台ずつ



があるように思える。

一方、実際にボランティアはどのような思いなのだろうか。無償性、公益性、自発性がボ

ランティアを定義づけるキーワードだが、大阪マラソンのボランティアでは、これらのことがどのように捉えられているのかという問題意識のもと、今回調査を行った。

大阪マラソンのボランティアに参加した理由については、「ランナーの役に立ちたかった」が40.6%であり、「大阪を盛り上げたかった」が21.8%であり、公益性の高い理由があがっている。また、自由記述では、「生まれ育った大阪の街へ小さな力ではあるけれど恩返ししたい気持ちでお役に立ちたいと思い志願しました。」(50代、女性)、「フルマラソン完走する走力はないので、少しでもランナーさんのお役に立ちたかったのと、大阪マラソンを盛り上げたかったから。」(40代、女性)と、活動の公益性が語られている。一方、「スポーツボランティアをしてみたかった」が32.1%で、「思い出や記念になる」が22.3%と、自己実現のための経験を理由としてあげている。また、自由記述では、「頑張ってる人をみると、パワーと感動を頂きます。応援したいと思い、参加しました。」(60代、女性)と、スポーツボランティアならではの感動をあげている。

そして、大阪マラソンのボランティアを経験しての変化については、最も多かったものは「ランナーの役に立てた」が47.1%で、公益性の高いものとなっている。次に、「思い出や記念になった」が43.1%で、自己実現が達成されたことがうかがえる。さらに、「スポーツボランティアが好きになった」が27.8%と、ボランティア活動への積極性が培われた。また、「大阪への愛着心が高まった」が14.0%で、地域愛が高まったといえる。自由記述では、「ボランティア精神を生で勉強できた。見返りを求めない(ランナーにもボランティアにも)こと、自ら積極的に行動すること、特に正解はないことを学んだ。」(40代、女性)と、ボランティアの自発性に気付いたようである。また、「知らない人に声をかける事がなかなか出来なかった私ですが、ボランティアをしてからたくさんの方々に自分から声を掛ける事ができるようになりました。」と、積極的なコミュニケーションのあり方を体験し、実生活での実践に繋がったようである。

このように、公益性と自己実現の理由から、大阪マラソンのボランティア活動に参加した人が、公益性をもった活動に変わっていき、しかも、活動が好きになったり、積極的なコミュニケーションの方法を学んだりと、大阪マラソンが単にスポーツボランティアの登竜門だけではなく、ボランティアとしての公益性や自発性を培う場となっているといえよう。

ボランティアは「活動のチャリティ」と捉えている大阪マラソンでは、ボランティアはとても大切な役割である。これらのランナーの思い、ボランティアの思いを受けて、大阪マラソンのボランティア活動が世界に誇れるように、受け入れや研修の在り方を工夫していく必要があろう。

資料

参加ランナー意識調査票

海外ランナー意識調査票

チャリティランナー意識調査票

観客意識調査票

ボランティア意識調査票

読売新聞掲載紙面

第9回大阪マラソン 参加ランナー意識調査

このたびは、第9回大阪マラソンにご参加いただきありがとうございました。

さて、「第9回大阪マラソン 参加ランナー意識調査」は、大阪マラソンがもたらす効果と影響を明らかにし、今後の大会運営に活かすことを目的として、読売新聞社と関西大学が、大阪マラソン組織委員会の依頼を受け、調査を実施するものです。

調査結果は、大阪マラソン組織委員会に報告するとともに、読売新聞に掲載することとしています。

なお、調査結果については、統計的に処理し、調査票に記載されました個人情報、本調査以外の目的で使用されることはありませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力お願いします。

<あなた自身について>

1. 年齢（年代）：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
2. 性別：①男性 ②女性
3. お住まいの都道府県：①北海道、・・・④沖縄県
4. 参加区分：①登録 ②一般 ③車いす ④市民アスリート ⑤連続落選者枠ランナー
⑥大阪スポーツ応援ランナー
5. 参加申し込み区分：①個人 ②ペア ③グループ
6. 市民マラソンへの参加経験
①今回が初めて ②2～5回 ③6～10回 ④11～15回 ⑤16～20回 ⑥21回以上
7. 今回のフルマラソンのタイム
①3時間未満 ②3時間～3時間30分未満 ③3時間30分～4時間未満
④4時間～4時間30分未満 ⑤4時間30分～5時間未満 ⑥5時間～5時間30分未満
⑦5時間30分～6時間未満 ⑧6時間～6時間30分未満 ⑨6時間30分～7時間未満 ⑩未完走
8. 大会前後の大阪滞在日数
①日帰り参加 ②前泊し2日間滞在した ③後泊し2日間滞在した ④3日以上滞在した
9. 大会には誰と来られましたか。（複数回答可）
①ひとり ②家族・親戚 ③友人・知人 ④マラソン仲間 ⑤仕事関係の人 ⑥その他（ ）
10. 大会には何人で来られましたか。：自分を含めて全員で（ ）人
11. あなたは、大阪滞在中に大阪マラソン以外にどのようなことをされましたか。（複数回答可）
①「大阪マラソン EXP02019」のイベントを楽しんだ ②大阪名物を飲食した
③大阪市内観光をした ④大阪府内の観光をした ⑤近郊県（京都、奈良など）の観光をした
⑥買い物（お土産など）をした ⑦USJなどの娯楽（アミューズメント）施設に行った
⑧お笑いなどの演芸を観た ⑨文楽などの古典芸能を観た ⑩スポーツを観た
⑪美術館・博物館などの文化施設に行った ⑫何もしなかった⑬その他（ ）
12. 「11」で回答された内容について、大阪マラソンを街一帯で盛上げる取り組みである、「Osaka Marathon Desse 2019（大阪マラソンでっせ）」の特典やサービスを利用されましたか。
①大会前に利用した ②大会後に利用した ③利用しなかった ④知らなかった

13. 大阪マラソンの大会終了当日は、何をされましたか。(複数回答可)
- ①飲食をした ②銭湯やスパに行った ③観光をした ④買い物をした ⑤その他 ()
- ⑥何もしなかった
14. 「13」の①から⑤と回答された方にお尋ねします。それは、どなたとされましたか。(複数回答可)
- ①ひとり ②家族・親戚 ③友人・知人 ④マラソン仲間 ⑤仕事関係の人 ⑥その他 ()
15. あなたは、大阪滞在中に概算でどれだけ使われましたか。(宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切、大阪マラソン参加料、チャリティは除く)
- ①1万円未満 ②1万円以上2万円未満 ③2万円以上3万円未満 ④3万円以上5万円未満
- ⑤5万円以上10万円未満 ⑥10万円以上20万円未満 ⑦20万円以上
16. あなたは、「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」を利用されましたか。
- ①利用した ②ダウンロードしたが、利用しなかった ③知っていたが、ダウンロードしなかった
- ④知らなかった ⑤スマートフォンを持っていない
17. 今大会から大阪マラソンは、大阪府庁前スタート、大阪城公園フィニッシュというコースに変更となりましたが、実際に走られてどう感じましたか。(複数回答可)
- ①名所旧跡を多く臨みながら走ることができた ②大阪の生活・文化に触れることができた
- ③沿道の応援を楽しむことができた
- ④フィニッシュ後の食事や観光を家族や友人たちと楽しむことができた
- ⑤アップダウンが少なく走りやすかった ⑥アップダウンが多く走りにくかった
- ⑦折り返しが多いと感じた ⑧思っていた以上に名所旧跡を臨めなかった
- ⑨その他、コースの変更に関して、何かご意見があればお聞かせください。
-
18. 新しいコースは、これまで以上に大阪の名所等を巡るコースとなりましたが、印象に残ったものをお答えください。(複数回答可)
- ①造幣局 ②大阪市中央公会堂 ③御堂筋 ④京セラドーム大阪 ⑤国立文楽劇場
- ⑥あべのハルカス ⑦四天王寺 ⑧大阪ビジネスパーク ⑨その他 ()
19. ボランティアや沿道の観客の応援などを経験されたことによって、あなたの意識や生活はどのように変わりましたか。(複数回答可)
- ①物事に積極的に取り組むようになった ②最後まであきらめないようになった
- ③何か新たなことに挑戦するようになった ④人の支援・応援を自発的にするようになった
- ⑤人とのコミュニケーションを気軽に取るようになった
- ⑥何事も楽しむことができるようになった ⑦変わらなかった ⑧その他、大阪マラソンに参加して、生活の変化のエピソードがあれば、差し支えない範囲でお聞かせください。
-
20. 第9回大阪マラソンに満足されましたか。
- ①満足した ②まあまあ満足した ③どちらかというの不満足だった ④不満足だった
21. 第10回大阪マラソンに参加したいですか。
- ①ぜひ参加してみたい ②できれば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない

<第9回大阪マラソンの運営について>

22. 第9回の大阪マラソンの運営について、どのように思われますか。 次の項目について4段階で評価してください。

①大阪マラソン EXP02019	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
②公式 WEB ページ、公式 SNS	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
③「大阪スポーツ応援ランナー」「連続落選者枠」「市民アスリート枠」などの参加形態	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
④「チャリティランナー」制度	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑤「フィニッシャータオル」「完走記念メダル」「参加記念 T シャツ」などの記念品	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑥ランナー受付時に配布された「大阪マラソンガイドブック」「大阪マラソンポケットガイド」「大阪マラソン応援 MAP」	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑦「なないろチーム対抗戦」	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑧29.1km 地点の給食「まいどエイド」	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑨応援沿道イベント「ランナー盛上げ隊！」	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った

⑩沿道の観客の応援	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑪ボランティア、スタッフの対応	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った

23. 大阪マラソンで最も魅力的なものは何ですか。一つだけお答えください。
- ①名所旧跡を巡るコース ②沿道の観客の応援 ③ボランティア、スタッフの対応
 ④チャリティの取り組み ⑤ランナー盛上げ隊 ⑥ランナー同士の交流 ⑦ランナーの仮装
 ⑧「なないろチーム対抗戦」 ⑨「まいどエイド」の給食 ⑩その他（ ）
24. ボランティア活動で、最も印象に残ったものは何ですか。一つだけお答えください。
- ①ランナーへの給水・給食 ②コース沿道整理 ③観客の案内・誘導 ④ランナーの救護受付
 ⑤手荷物預かり・返却 ⑥ランナー受付 ⑦フィニッシャータオル・完走記念メダル等の配布
 ⑧関連イベントの受付・会場案内 ⑨語学対応ボランティア ⑩特にない
25. 「24」で①から⑨のいずれかに答えられた方にお尋ねします。具体的にどのようなことが印象に残りましたか。よろしければ記入してください。

26. 大会スポンサーのサービスで良かったものを教えてください。(複数回答可)
- ①ランナーズアイ (オプテージ)
 ②大会限定商品の販売 (ミズノ)
 ③各給水所及びフィニッシュにて、コカ・コーラ製品飲料の提供 (コカ・コーラ)
 ④スタート地点・各給水所での清掃ボランティア (ダスキン)
 ⑤大阪マラソン 2day pass の販売 (Osaka Metro)

<チャリティについて>

27. チャリティ募金の際にチャリティカラーを決めた理由は何ですか。
- ①チャリティテーマに関心があったから ②寄付先団体の活動に関心があったから
 ③現代的な問題に取り組んでいるから ④知人から勧められたから
 ⑤チャリティTシャツのデザインが良かったから ⑥特に理由はない ⑦その他（ ）
28. チャリティグッズは購入しましたか。(複数回答可)
- ①なないろチャリティTシャツを購入した ②なないろチャリティキャップを購入した
 ③チャリティウィンドブレーカーを購入した ④なないろチャティアームウォーマーを購入した
 ⑤ニックネーム入りナンバーカードを購入した ⑥購入しなかった

29. 大阪マラソンはチャリティマラソンですが、参加してみて、あなたのチャリティの意識や活動は変わりましたか。(複数回答可)
- ①寄付先団体の活動を意識するようになった ②他のチャリティマラソンを意識するようになった
 ③チャリティで走る楽しさが分かった
 ④大阪マラソン以外の事業にもチャリティをするようになった
 ⑤社会貢献のために資金集めをする意識が高まった ⑥ボランティア活動をするようになった
 ⑦変わらなかった ⑧その他 ()
30. 大阪マラソンは、さまざまなチャリティの取り組みをしていますが、次の項目について、4段階で評価してください。

エントリー時のチャリティ募金を寄付先団体に寄付する取り組み	☐ 良いと思う ☐ まあまあ良いと思う ☐ あまり良くないと思う ☐ 良くないと思う
大阪マラソン HP や「大阪マラソン EXP02019」チャリティコーナーでの寄付先団体が行う広報活動	☐ 良いと思う ☐ まあまあ良いと思う ☐ あまり良くないと思う ☐ 良くないと思う
「大阪マラソン EXP02019」チャリティコーナーでの寄付先団体との交流	☐ 良いと思う ☐ まあまあ良いと思う ☐ あまり良くないと思う ☐ 良くないと思う
チャリティTシャツなどのチャリティグッズ (ないろハイタッチ手袋を含む)	☐ 良いと思う ☐ まあまあ良いと思う ☐ あまり良くないと思う ☐ 良くないと思う

<大阪マラソンへの要望>

大会に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。(300 文字以内)

ご協力ありがとうございました。

第9回大阪マラソン 海外ランナー意識調査

このたびは、第9回大阪マラソンにご参加いただきありがとうございました。

さて、「第9回大阪マラソン 海外ランナー意識調査」は、大阪マラソンがもたらす効果と影響を明らかにし、今後の大会運営に活かすことを目的として、読売新聞社と関西大学が、大阪マラソン組織委員会の依頼を受け、調査を実施するものです。

調査結果は、大阪マラソン組織委員会に報告するとともに、読売新聞に掲載することとしています。

なお、調査結果については、統計的に処理し、調査票に記載されました個人情報、本調査以外の目的で使用されることはありませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力お願いします。

<あなた自身について>

1. 年齢（年代）：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
2. 性別：①男性 ②女性
3. お住まいの国：（ ）
4. これまでのマラソン経験
①今回が初めて ②2～5回 ③6～10回 ④11～15回 ⑤16～20回 ⑥21回以上
5. これまでの日本でのマラソン参加経験
①今回が初めて ②2回 ③3回 ④4回 ⑤5回以上
6. 今回のフルマラソンのタイムを選択してください。
①3時間未満 ②3時間～3時間30分未満 ③3時間30分～4時間未満
④4時間～4時間30分未満 ⑤4時間30分～5時間未満 ⑥5時間～5時間30分未満
⑦5時間30分～6時間未満 ⑧6時間～6時間30分未満 ⑨6時間30分～7時間未満 ⑩未完走
7. 今回大阪には何日滞在されましたか。：（ ）日
8. 大会には誰と来られましたか。（複数回答可）
①ひとり ②家族・親戚 ③友人・知人 ④マラソン仲間 ⑤仕事関係の人 ⑥その他（ ）
9. 大会には何人で来られましたか。：自分を含めて全員で（ ）人
10. あなたは、大阪滞在中に大阪マラソン以外にどのようなことをされましたか。（複数回答可）
①「大阪マラソン EXP02019」のイベントを楽しんだ ②大阪名物を飲食した
③大阪市内観光をした ④大阪府内の観光をした ⑤近郊県（京都、奈良など）の観光をした
⑥買い物（お土産など）をした ⑦USJなどの娯楽（アミューズメント）施設に行った
⑧お笑いなどの演芸を観た ⑨文楽などの古典芸能を観た ⑩スポーツを見た
⑪美術館・博物館などの文化施設に行った ⑫何もなかった ⑬その他（ ）
11. あなたは、大阪滞在中に概算でどれだけ使われましたか。（宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切、大阪への渡航費、大阪マラソン参加料、チャリティは除く）
①5万円未満 ②5万円以上10万円未満 ③10万円以上15万円未満 ④15万円以上20万円未満
⑤20万円以上30万円未満 ⑥30万円以上50万円未満 ⑦50万円以上

12. あなたは、「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」を利用されましたか。
- ①利用した ②ダウンロードしたが、利用しなかった ③知っていたが、ダウンロードしなかった
④知らなかった ⑤スマートフォンを持っていない
13. 今大会から大阪マラソンは、大阪府庁前スタート、大阪城公園フィニッシュというコースに変更となりましたが、実際に走られてどう感じましたか。(複数回答可)
- ①名所旧跡を多く臨みながら走られることができた ②大阪の生活・文化に触れることができた
③沿道の応援を楽しむことができた
④フィニッシュ後の食事や観光を家族や友人たちと楽しむことができた
⑤アップダウンが少なく走りやすかった
⑥アップダウンが多く走りにくかった ⑦折り返しが多いと感じた
⑧思っていた以上に名所旧跡を臨めなかった
⑨その他、コースの変更に関して、何かご意見があればお聞かせください。

--

14. 新しいコースは、これまで以上に大阪の名所を巡るコースとなりましたが、印象に残ったものをお答えください。(複数回答可)
- ①造幣局 ②大阪市中央公会堂 ③御堂筋 ④京セラドーム大阪 ⑤国立文楽劇場
⑥あべのハルカス ⑦四天王寺 ⑧大阪ビジネスパーク ⑨その他 ()
15. 大阪マラソンに参加して、ボランティアや沿道の観客の応援などを経験することによって、あなたの意識や生活はどのように変わりましたか。(複数回答可)
- ①物事に積極的に取り組むようになった ②最後まであきらめないようになった
③何か新たなことに挑戦するようになった ④人の支援・応援を自発的にするようになった
⑤人とのコミュニケーションを気軽にとるようになった
⑥何事も楽しむことができるようになった ⑦変わらなかった
⑧その他、大阪マラソンに参加して、生活の変化のエピソードがあれば、差し支えない範囲でお聞かせください。(英字：900 文字以内／繁体字：200 文字以内)

--

16. 第9回大阪マラソンに満足しましたか。
- ①満足した ②まあまあ満足した ③どちらかという和不満足だった ④不満足だった
17. 第10回大阪マラソンに参加してみたいですか。
- ①ぜひ参加してみたい ②できれば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない

<第9回大阪マラソンの運営について>

18. 第9回の大阪マラソンの運営について、どのように思われますか。次の項目について4段階で評価してください。

①大阪マラソン EXP02019	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
②公式 WEB ページ、公式 SNS	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
③「フィニッシャータオル」「完走メダル」「参加記念 T シャツ」などの記念品	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
④言語の対応	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑤宿泊施設の受け入れ	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑥「なないろチーム対抗戦」	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑦29.1km 地点の給食「まいどエイド」	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑧沿道の観客の応援	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑨ボランティア、スタッフの対応	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った

19. 大阪マラソンで最も魅力的なものは何ですか。一つだけお答えください。
- ①名所旧跡を巡るコース ②沿道の観客の応援 ③ボランティア、スタッフの対応
 ④チャリティの取り組み ⑤ランナー盛上げ隊 ⑥ランナー同士の交流 ⑦ランナーの仮装
 ⑧「なないろチーム対抗戦」 ⑨「まいどエイド」の給食 ⑩その他（ ）
20. ボランティア活動で、最も印象に残ったものは何ですか。一つだけお答えください。
- ①ランナーへの給水・給食 ②コース沿道整理 ③観客の案内・誘導 ④ランナーの救護受付
 ⑤手荷物預かり・返却 ⑥ランナー受付 ⑦フィニッシャータオル・完走記念メダル等の配布
 ⑧関連イベントの受付・会場案内 ⑨語学対応ボランティア ⑩特にない
21. 「20」で①から⑨のいずれかに答えられた方にお尋ねします。具体的にどのようなことが印象に残りましたか？よろしければ記入してください。

22. 大会スポンサーのサービスで良かったものを教えてください。(複数回答可)
- ①ランナーズアイ (オプテージ)
 ②大会限定商品の販売 (ミズノ)
 ③各給水所及びフィニッシュにて、コカ・コーラ製品飲料の提供 (コカ・コーラ)
 ④スタート地点・各給水所での清掃ボランティア (ダスキン)
 ⑤大阪マラソン 2day pass の販売 (Osaka Metro)

<チャリティについて>

23. チャリティ募金の際にチャリティカラーを決めた理由は何ですか？
- ①チャリティテーマに関心があったから ②寄付先団体の活動に関心があったから
 ③現代的な問題に取り組んでいるから ④知人から勧められたから
 ⑤チャリティTシャツのデザインが良かったから ⑥特に理由はない ⑦その他（ ）
24. チャリティグッズは購入しましたか。(複数回答可)
- ①なないろチャリティTシャツを購入した ②なないろチャリティキャップを購入した
 ③チャリティウィンドブレーカーを購入した
 ④なないろチャリティアームウォーマーを購入した
 ⑤ニックネーム入りナンバーカードを購入した ⑥購入しなかった
25. 大阪マラソンはチャリティマラソンですが、参加してみて、あなたのチャリティの意識や活動は変わりましたか。(複数回答可)
- ①寄付先団体の活動を意識するようになった ②他のチャリティマラソンを意識するようになった
 ③チャリティで走る楽しさが分かった
 ④大阪マラソン以外の事業にもチャリティをするようになった
 ⑤社会貢献のために資金集めをする意識が高まった ⑥ボランティア活動をするようになった
 ⑦変わらない ⑧その他（ ）

26. 大阪マラソンは、さまざまなチャリティの取り組みをしていますが、次の項目について、4段階で評価してください。

①エントリー時のチャリティ募金を寄付先団体に寄付する取り組み	☐ 良いと思う ☐ まあまあ良いと思う ☐ あまり良くないと思う ☐ 良くないと思う
②大阪マラソン HP や「大阪マラソン EXP0」チャリティコーナーでの寄付先団体が行う広報活動	☐ 良いと思う ☐ まあまあ良いと思う ☐ あまり良くないと思う ☐ 良くないと思う
③「大阪マラソン EXP02019」チャリティコーナーでの寄付先団体との交流	☐ 良いと思う ☐ まあまあ良いと思う ☐ あまり良くないと思う ☐ 良くないと思う
④チャリティ T シャツなどのチャリティグッズ（なないろハイタッチ手袋を含む）	☐ 良いと思う ☐ まあまあ良いと思う ☐ あまり良くないと思う ☐ 良くないと思う

<大阪マラソンへの要望>

大会に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。（英字：900 文字以内／繁体字：200 文字以内）

ご協力ありがとうございました。

第9回大阪マラソン チャリティランナー意識調査

このたびは、第9回大阪マラソンにご参加いただきありがとうございました。

さて、「第9回大阪マラソン チャリティランナー意識調査」は、大阪マラソンがもたらす効果と影響を明らかにし、今後の大会運営に活かすことを目的として、読売新聞社と関西大学が、大阪マラソン組織委員会の依頼を受け、調査を実施するものです。

調査結果は、大阪マラソン組織委員会に報告するとともに、読売新聞に掲載することとしています。

なお、調査結果については、統計的に処理し、調査票に記載されました個人情報、本調査以外の目的で使用されることはありませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力お願いします。

<あなた自身について>

1. 年齢（年代）：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
2. 性別：①男性 ②女性
3. お住まいの都道府県：①北海道、・・・④沖縄県
4. 市民マラソンへの参加経験
①今回が初めて ②2～5回 ③6～10回 ④11～15回 ⑤16～20回 ⑥21回以上
5. 今回のフルマラソンのタイム
①3時間未満 ②3時間～3時間30分未満 ③3時間30分～4時間未満
④4時間～4時間30分未満 ⑤4時間30分～5時間未満 ⑥5時間～5時間30分未満
⑦5時間30分～6時間未満 ⑧6時間～6時間30分未満 ⑨6時間30分～7時間未満 ⑩未完走
6. 大会前後の大阪滞在日数
①日帰り参加 ②前泊し2日間滞在した ③後泊し2日間滞在した ④3日以上滞在した
7. 大会には誰と来られましたか。（複数回答可）
①ひとり ②家族・親戚 ③友人・知人 ④マラソン仲間 ⑤仕事関係の人 ⑥その他（ ）
8. 大会には何人で来られましたか。：自分を含めて全員で（ ）人
9. あなたは、大阪滞在中に大阪マラソン参加以外にどのようなことをされましたか。（複数回答可）
①「大阪マラソン EXP02019」のイベントを楽しんだ ②大阪名物を飲食した
③大阪市内観光をした ④大阪府内の観光をした ⑤近郊県（京都、奈良など）の観光をした
⑥買い物（お土産など）をした ⑦USJなどの娯楽（アミューズメント）施設に行った
⑧お笑いなどの演芸を観た ⑨文楽などの古典芸能を観た ⑩スポーツを観た
⑪美術館・博物館などの文化施設に行った ⑫何もしなかった ⑬その他（ ）
10. 「9」で回答された内容について、大阪マラソンを街一帯で盛上げる取り組みである、「Osaka Marathon Desse 2019（大阪マラソンでっせ）」の特典やサービスを利用されましたか。
①大会前に利用した ②大会後に利用した ③利用しなかった ④知らなかった
11. 大阪マラソンの大会終了当日は、何をされましたか。（複数回答可）
①飲食をした ②銭湯やスパに行った ③観光をした ④買い物をした ⑤その他（ ）
⑥何もしなかった

12. 「11」の①から⑤と回答された方にお尋ねします。それは、どなたとされましたか。(複数回答可)
- ①ひとり ②家族・親戚 ③友人・知人 ④マラソン仲間 ⑤仕事関係の人
⑥その他()
13. あなたは、大阪滞在中に概算でどれだけ使われましたか。(宿泊交通費、食費、お土産など滞在期間中の費用一切、大阪マラソン参加料、チャリティは除く)
- ①1万円未満 ②1万円以上2万円未満 ③2万円以上3万円未満 ④3万円以上5万円未満
⑤5万円以上10万円未満 ⑥10万円以上20万円未満 ⑦20万円以上
14. あなたは、「大阪マラソン公式スマートフォンアプリ」を利用しましたか。
- ①利用した ②ダウンロードしたが、利用しなかった ③知っていたが、ダウンロードしなかった
④知らなかった ⑤スマートフォンを持っていない
15. 今大会から大阪マラソンは、大阪府庁前スタート、大阪城公園フィニッシュというコースに変更となりましたが、実際に走られてどう感じましたか。(複数回答可)
- ①名所旧跡を多く臨みながら走ることができた ②大阪の生活・文化に触れることができた
③沿道の応援を楽しむことができた
④フィニッシュ後の食事や観光を家族や友人たちと楽しむことができた
⑤アップダウンが少なく走りやすかった
⑥アップダウンが多く走りにくかった ⑦折り返しが多いと感じた
⑧思っていた以上に名所旧跡を臨めなかった
⑨その他、コースの変更に関して、何かご意見があればお聞かせください。

--

16. 新しいコースは、これまで以上に大阪の名所を巡るコースとなりましたが、印象に残ったものをお答えください。(複数回答可)
- ①造幣局 ②大阪市中央公会堂 ③御堂筋 ④京セラドーム大阪 ⑤国立文楽劇場
⑥あべのハルカス ⑦四天王寺 ⑧大阪ビジネスパーク ⑨その他()
17. 大阪マラソンに参加して、ボランティアや沿道の観客の応援などを経験されたことによって、あなたの意識や生活はどのように変わりましたか。(複数回答可)
- ①物事に積極的に取り組むようになった ②最後まであきらめないようになった
③何か新たなことに挑戦するようになった ④人の支援・応援を自発的にするようになった
⑤人とのコミュニケーションを気軽に取るようになった
⑥何事も楽しむことができるようになった ⑦変わらなかった
⑧その他、大阪マラソンに参加して、生活の変化のエピソードがあれば、差し支えない範囲でお聞かせください。

--

18. 第9回大阪マラソンに満足されましたか。
- ①満足した ②まあまあ満足した ③どちらかという和不満足だった ④不満足だった

19. 第 10 回大阪マラソンに参加したいですか。

①ぜひ参加してみたい ②できれば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない

＜第 9 回大阪マラソンの運営について＞

20. 第 9 回の大阪マラソンの運営について、どのように思われますか。次の項目について 4 段階で評価してください。

①大阪マラソン EXP02019	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
②公式 WEB ページ、公式 SNS	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
③「大阪スポーツ応援ランナー」「連続落選者枠」 「市民アスリート枠」などの参加形態	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
④「チャリティランナー」制度	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑤「フィニッシャータオル」「完走記念メダル」「参加記念 T シャツ」などの記念品	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑥ランナー受付時に配布された「大阪マラソンガイドブック」「大阪マラソンポケットガイド」 「大阪マラソン応援 MAP」	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑦「なないろチーム対抗戦」	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑧29.1km 地点の給食「まいどエイド」	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った

⑨応援沿道イベント「ランナー盛上げ隊！」	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑩沿道の観客の応援	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った
⑪ボランティア、スタッフの対応	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った

21. 大阪マラソンで最も魅力的なものは何ですか。一つだけお答えください。

- ①名所旧跡を巡るコース ②沿道の観客の応援 ③ボランティア、スタッフの対応
 ④チャリティの取り組み ⑤ランナー盛上げ隊 ⑥ランナー同士の交流 ⑦ランナーの仮装
 ⑧「なないろチーム対抗戦」 ⑨「まいどエイド」の給食 ⑩その他（ ）

22. ボランティア活動で、最も印象に残ったものは何ですか。一つだけお答えください。

- ①ランナーへの給水・給食 ②コース沿道整理 ③観客の案内・誘導 ④ランナーの救護受付
 ⑤手荷物預かり・返却 ⑥ランナー受付 ⑦フィニッシュタオル・完走記念メダル等の配布
 ⑧関連イベントの受付・会場案内 ⑨語学対応ボランティア ⑩特にない

23. 「22」で①から⑨のいずれかに答えられた方にお尋ねします。どのようなことが印象に残りましたか。

24. 大会スポンサーのサービスで良かったものを教えてください。（複数回答可）

- ①ランナーズアイ（オプテージ）
 ②大会限定商品の販売（ミズノ）
 ③各給水所及びフィニッシュにて、コカ・コーラ製品飲料の提供（コカ・コーラ）
 ④スタート地点・各給水所での清掃ボランティア（ダスキン）
 ⑤大阪マラソン 2day pass の販売（Osaka Metro）

<チャリティについて>

25. 寄付先団体を決めた理由は何ですか。

- ①チャリティテーマに関心があったから ②寄付先団体の活動に関心があったから
 ③現代的な問題に取り組んでいるから ④知人から勧められたから
 ⑤チャリティTシャツのデザインが良かったから ⑥特に理由はない ⑦その他（ ）

26. 何人のサポーターから寄付を集めましたか（自分自身を除く）。

（ ）人

27. 募金活動はどのようにされましたか。(複数回答可)
- ①街頭(社内・学内等を含む)募金した ②募金のためのイベントを開いた
 - ③家族・親戚にお願いした ④知人・友人にお願いした ⑤SNSを活用してお願いした
 - ⑥その他() ⑦何もしなかった
28. チャリティランナーとして参加することを決めた一番の理由は何ですか。
- ①寄付先団体の活動を応援したいから ②チャリティランナーの趣旨に賛同したから
 - ③寄付先団体のことをみんなに知ってほしかったから ④7万円払えば出場権を得られるから
 - ⑤大阪マラソンのチャリティ活動を盛り上げたいと思ったから
 - ⑥チャリティランナーを体験してみたかったから ⑦知人に勧められたから
 - ⑧寄付を集めるのがおもしろそうだったから ⑨募金をしてくれる仲間(サポーター)がいたから
 - ⑩その他()
29. チャリティランナーとして参加して良かったことは何ですか。次の中から3つ以内でお答えください。
- ①寄付先団体の目的や活動により共感できたこと
 - ②募金活動の仕方が分かったこと
 - ③目標の募金を集められたこと
 - ④寄付先団体との事前の交流ができたこと
 - ⑤寄付先団体との当日の交流ができたこと
 - ⑥チャリティランナー同士の交流ができたこと
 - ⑦自分の選んだチャリティカラーのナンバーカードを身に付けて走れたこと
 - ⑧チャリティTシャツを着用して走れたこと
 - ⑨チャリティランナー専用エリア等が設けられていること(ランナー受付、更衣室、荷物預かり、休憩室、軽食) ⑩その他()
30. チャリティランナーとして参加して、あなたのチャリティの意識や活動は変わりましたか。(複数回答可)
- ①寄付先団体の活動を意識するようになった
 - ②他のチャリティマラソンを意識するようになった
 - ③チャリティで走る楽しさが分かった
 - ④大阪マラソン以外の事業にもチャリティをするようになった
 - ⑤社会貢献のために資金集めをする意識が高まった
 - ⑥ボランティア活動をするようになった
 - ⑦その他()
 - ⑧変わらない
31. チャリティランナーとして走って満足しましたか。
- ①大変満足した ②まあまあ満足した ③どちらかというの不満足だった ④不満足だった
32. チャリティランナーとして来年も走りたいですか。
- ①ぜひとも走りたい ②できれば走りたい ③あまり走りたくない ④走りたくない

33. 大阪マラソンは、さまざまなチャリティの取り組みをしていますが、次の項目について、4段階で評価してください。

①一般ランナーがエントリー時のチャリティ募金を寄付先団体に寄付する取り組み	☐ 良いと思う ☐ まあまあ良いと思う ☐ あまり良くないと思う ☐ 良くないと思う
②大阪マラソン HP や「大阪マラソン EXP02019」チャリティコーナーでの寄付先団体が行う広報活動	☐ 良いと思う ☐ まあまあ良いと思う ☐ あまり良くないと思う ☐ 良くないと思う
③寄付先団体との交流	☐ 良いと思う ☐ まあまあ良いと思う ☐ あまり良くないと思う。 ☐ 良くないと思う。
④多様な活動を行う団体の中から、支援する団体を選択できること	☐ 良いと思う。 ☐ まあまあ良いと思う ☐ あまり良くないと思う ☐ 良くないと思う
⑤チャリティ T シャツなどのチャリティグッズ（なないろハイタッチ手袋を含む）	☐ 良いと思う ☐ まあまあ良いと思う ☐ あまり良くないと思う ☐ 良くないと思う

<大阪マラソンへの要望>

大会に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。（300 文字以内）

ご協力ありがとうございました。

第9回大阪マラソン 観客意識調査

本日は、第9回大阪マラソンの観戦・応援に来ていただきありがとうございます。

「第9回大阪マラソン 観客意識調査」は、大阪マラソンがもたらす効果と影響を明らかにし、今後の大会運営に活かすことを目的として、読売新聞社と関西大学が、大阪マラソン組織委員会の依頼を受け、調査を実施するものです。

調査結果は、大阪マラソン組織委員会に報告するとともに、読売新聞に掲載することとしています。なお、調査結果については、統計的に処理し、調査票に記載されました個人情報、本調査以外の目的で使用されることはありませんので調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

<質問項目>

1. 年齢（年代）：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
2. 性別：①男性 ②女性
3. ランナーやボランティアでの参加も含めて、大阪マラソンに来られたのは何回目ですか。
（ ）回目
4. 大阪マラソンの観戦・応援に来られた一番の理由を選択してください。
①ランナーを応援したいから ②応援を楽しみたいから ③思い出や記念になるから
④楽しいと聞いたから ⑤大阪を盛り上げたいから ⑥マラソンを見るのが好きだから
⑧その他（ ） ⑨特になし
5. 誰を応援されますか（されましたか）。（複数回答可）
①すべてのランナー ②家族・親戚 ③友人・知人 ④マラソン仲間 ⑤仕事関係の人
⑥その他（ ）
6. お住まいのエリアを選択してください。
①大阪市 ②大阪府（大阪市以外） ③兵庫県 ④京都府 ⑤奈良県 ⑥滋賀県 ⑦和歌山県
⑧その他（ ）
7. 誰と、自分を含めて何人で来られましたか。
①ひとり ②家族・親戚（ ）人 ③友人・知人（ ）人 ④マラソン仲間（ ）人
⑤仕事関係の人（ ）人 ⑥その他（ ）と（ ）人
8. 大阪の滞在日を選択してください。
①12/1 ②11/30、12/1 ③12/1、12/2 ④11/30～12/2 ⑤その他（ ）月（ ）日～（ ）月（ ）日
9. 何ヵ所で観戦・応援されますか（されましたか）。 ①1ヵ所 ②2ヵ所 ③3ヵ所 ④4ヵ所以上
10. 大阪マラソン観戦・応援以外にどのようなことをされましたか（される予定ですか）。（複数回答可）
①大阪マラソン EXP2019 のイベントを楽しんだ ②大阪名物を飲食した ③大阪や近郊の観光をした
④買い物（お土産など）をした ⑤USJ などの娯楽（アミューズメント）施設に行った
⑥お笑いや文楽などの芸能観賞をした ⑦スポーツを見た
⑧美術館・博物館などの文化施設に行った ⑨その他（ ） ⑩何もしなかった

11. 観戦・応援を終えた後、今日、何をされますか。(複数回答可)
- ①飲食 ②銭湯・スパ ③観光 ④買い物 ⑤その他 () ⑥何もしない
12. 「11」で①から⑤と回答された方にお尋ねします。それは、どなたとされますか。(複数回答可)
- ①応援したランナー ②一緒に観戦・応援にきた人 ③応援で知り合った人 ④その他 ()
13. 今回からコースが変更になりました。次の意見について、どう思われますか。
- (1) 観戦・応援がしやすい。
- ①そう思う ②まあまあそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない
- (2) 観戦・応援場所への移動がしやすい。
- ①そう思う ②まあまあそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない
- (3) 観戦・応援後の活動(食事や観光など)がしやすい。
- ①そう思う ②まあまあそう思う ③あまりそう思わない ④そう思わない
14. 観戦・応援することによって、普段の生活にとって何か大切なことを感じられましたか。(複数回答可)
- ①人を支援・応援する大切さ ②最後まであきらめない大切さ ③何かに挑戦する大切さ
- ④物事に積極的に取り組む大切さ ⑤コミュニケーションの大切さ ⑥何事も楽しむことの大切さ
- ⑦その他 () ⑧特になし
15. ボランティアの方々の活動について、どう思われますか。次の5段階で評価してください。
- ①とても良かった ②まあまあ良かった ③どちらかというとは良くなかった ④良くなかった
- ⑤わからない
16. 募金(チャリティ)はされましたか。(複数回答可)
- ①大阪マラソン特設サイト(LIFULL ソーシャルファンディング)で募金した
- ②大阪マラソン EXP02019 で募金した ③チャリティランナーに募金をした
- ④大会当日沿道等で募金した ⑤その他 () ⑥しない
17. 大阪マラソンの観戦・応援をして印象に残ったのは何ですか。(複数回答可)
- ①ランナーの走っている姿 ②スタッフやボランティアの対応 ③ランナー盛上げ隊
- ④仮装ランナー ⑤仮装しての応援
- ⑥7色応援スタイル(チャリティカラーのアイテムを持って応援する)
- ⑦ボード等の応援グッズでの応援 ⑧その他 ()
18. 来年は大阪マラソンにどのように関わりたいですか。
- ①ランナーとして参加したい ②ボランティアとして参加したい ③観客として参加したい
- ④募金(チャリティ)をすることで関わりたい ⑤その他 () ⑥関わりたくない
19. 大阪マラソンの観戦・応援に来られて、困ったことや改善すべき点があればお聞かせください。

ご協力ありがとうございました。

第9回大阪マラソン ボランティア意識調査

このたびは、第9回大阪マラソンのボランティア活動にご参加いただきありがとうございました。

さて、「第9回大阪マラソン ボランティア意識調査」は、大阪マラソンがもたらす効果と影響を明らかにし、今後の大会運営に活かすことを目的として、読売新聞社と関西大学が、大阪マラソン組織委員会の依頼を受け、調査を実施するものです。

調査結果は、大阪マラソン組織委員会に報告するとともに、読売新聞に掲載することとしています。なお、調査結果については、統計的に処理し、調査票に記載されました個人情報、本調査以外の目的で使用されることはありませんので、調査の趣旨をご理解いただき、ご協力をお願いします。

<あなた自身について>

1. 年齢（年代）：①10代 ②20代 ③30代 ④40代 ⑤50代 ⑥60代 ⑦70代以上
2. 性別：①男性 ②女性
3. お住まいのエリアを選択してください。
①大阪市 ②大阪府（大阪市以外） ③兵庫県 ④京都府 ⑤奈良県 ⑥滋賀県 ⑦和歌山県
⑧その他（ ）
4. ボランティアの申込区分：①団体 ②個人（グループを含む）
5. 市民マラソンでのランナーとしての参加経験：①1、2回 ②3～9回 ③10回以上 ④ない
6. これまで大阪マラソンに関わったことがありますか。次の中から選択してください。（複数回答可）
①ボランティア ②ランナー ③沿道の観客 ④テレビで観戦 ⑤その他（ ） ⑥ない
7. ボランティア活動（活動内容は問いません）の参加頻度について選択してください。
①今回が初めて ②数年に1回程度 ③年に1から2回程度 ④年に数回程度 ⑤月に1回程度
⑥月に数回程度 ⑦週に1回以上
8. 「7」の②から⑦に回答された方にお尋ねします。どのような活動内容ですか。（複数回答可）
①スポーツイベント関連 ②スポーツクラブ・団体関連 ③福祉関連 ④災害関連 ⑤教育関連
⑥観光関連 ⑦環境関連 ⑧文化芸術関連 ⑨その他（ ）

<大阪マラソンのボランティアについて>

9. 大阪マラソンへのボランティア参加経験について選択してください。
①1回 ②2回 ③3回 ④4回 ⑤5回 ⑥6回 ⑦7回 ⑧8回 ⑨9回
10. ボランティアの募集について
(1) 募集は何で知りましたか。
①ホームページ ②ポスター ③パンフレット ④メール等直接のお知らせ ⑤知人から聞いた
⑥その他（ ）
(2) 募集時期はどうでしたか。：①良かった ②遅かった ③早かった

11. ボランティアの説明会について

- (1) 説明会の開催時期はどうでしたか。：①良かった ②遅かった ③早かった
(2) 説明会の開催方法はどうでしたか。：①良かった ②普通 ③悪かった
(3) 「11. (2)」の回答を選択した理由をよろしければお聞かせください。

--

- (4) リーダー説明会に出席された方にお尋ねします。説明会の説明内容について、次の4段階で評価してください。

①良いと思った ②まあまあ良いと思った ③あまり良くないと思った ④良くないと思った

- (5) 個人ボランティア説明会に出席された方にお尋ねします。説明会の説明内容について、次の4段階で評価してください。

①良いと思った ②まあまあ良いと思った ③あまり良くないと思った ④良くないと思った

- (6) ボランティア初心者ガイダンスに出席された方にお尋ねします。説明会の説明内容について、次の4段階で評価してください。

①良いと思った ②まあまあ良いと思った ③あまり良くないと思った ④良くないと思った

12. ボランティア活動の内容について

- (1) あなたのボランティア活動の内容について選択してください。(複数回答可)

①ランナー配布物の袋詰め ②ランナー受付 ③ランナーへの給水・給食 ④コース沿道整理
⑤観客の案内・誘導 ⑥ランナーの救護受付 ⑦手荷物預かり・返却
⑧フィニッシャータオル・完走記念メダル等の配布 ⑨関連イベントの受付・会場案内
⑩自転車等の運搬補助(力持ちボランティア) ⑪語学対応ボランティア

- (2) ボランティア活動の内容に満足されましたか。

①大変満足した ②まあまあ満足だった ③どちらかという和不満足だった ④不満足だった

- (3) ランナーや観客と交流はできましたか。

①できた ②まあまあできた ③どちらかというとできなかった ④できなかった

- (4) ボランティア同士の交流はできましたか。

①できた ②まあまあできた ③どちらかというとできなかった ④できなかった

- (5) 大阪マラソンを盛り上げることはできましたか。

①できた ②まあまあできた ③どちらかというとできなかった ④できなかった

- (6) 積極的に活動に関わることはできましたか。

①できた ②まあまあできた ③どちらかというとできなかった ④できなかった

13. チャリティ(募金)はされましたか。(複数回答可)

①大阪マラソン特設サイト(LIFULL ソーシャルファンディング)で募金した
②大阪マラソン EXP02019 で募金した ③チャリティランナーに募金をした
④大会当日沿道等で募金した ⑤その他() ⑥しなかった

14. 大阪マラソンのボランティアに参加された理由は何ですか。次の中から3つまで選択してください（1つだけでもかまいません）。
- ①スポーツボランティアをしてみたかったから ②ランナーの役に立ちたかったから
 ③いろいろな人と出会いたかったから ④自分自身を高めたかったから
 ⑤日常生活に張り合いを持ちたかったから ⑥大阪を盛り上げたかったから
 ⑦人から頼まれたから ⑧ランナーとして参加できなかったから ⑨マラソンが好きだから
 ⑩思い出や記念になるから ⑪その他（ ）
15. 大阪マラソンのボランティアを経験されて良かったことや自分自身の中での変化はありますか。次の中から3つまで選択してください（1つだけでもかまいません）。
- ①スポーツボランティアが好きになった ②ランナーの役に立てた
 ③いろんな人と知り合いになれた ④自分自身を高めることができた
 ⑤日常生活に張り合いを持てた ⑥大阪への愛着心が高まった
 ⑦困っている人に気軽に声をかけられるようになった ⑧マラソンが好きになった
 ⑨思い出や記念になった ⑩その他（ ）
16. 第9回大阪マラソンのボランティア活動に満足されましたか。
- ①とても満足した ②まあまあ満足した ③どちらかというと不満足だった ④不満足であった。
17. 第10回大阪マラソンのボランティアに参加したいですか。
- ①ぜひ参加してみたい ②できれば参加したい ③あまり参加したくない ④参加したくない

<第9回大阪マラソンの運営について>

18. 第9回の大阪マラソンの運営について、どのように思われますか。次の項目について5段階で評価してください。

① 大阪マラソン EXP02019	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない（知らなかったを含む）
② 公式WEBページ、公式SNS	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない（知らなかったを含む）
③ 「大阪スポーツ応援ランナー」、「連続落選者枠」 「市民アスリート枠」などの参加形態	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない（知らなかったを含む）

④ 「チャリティランナー」制度	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない (知らなかったを含む)
⑤ 「フィニッシャータオル」「完走記念メダル」「参加記念 T シャツ」などの記念品	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない (知らなかったを含む)
⑥ 「大阪マラソンガイドブック」「大阪マラソンポケットガイド」「大阪マラソン応援 MAP」	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない (知らなかったを含む)
⑦ ボランティアのユニフォーム	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない
⑧ 大阪府庁前スタート、大阪城公園フィニッシュのコース	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない
⑨ ランナーのマナー	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない
⑩ 一般ランナーがエントリー時のチャリティ募金を寄付先団体に寄付することや、チャリティグッズの販売などチャリティへの取り組み	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない (知らなかった)
⑪ 29.1km 地点の給食「まいどエイド」	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない (知らなかった)

⑫ 応援沿道イベント「ランナー盛上げ隊！」	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない（知らなかった）
⑬ 沿道の観客の応援	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない
⑭ ボランティア受け入れスタッフの対応	☐ 良いと思った ☐ まあまあ良いと思った ☐ あまり良くないと思った ☐ 良くないと思った ☐ 判断できない

<大阪マラソンへの要望>

大会に関してご意見があれば、ご自由にお書きください。（300 文字以内）

ご協力ありがとうございました。



次回も参加希望 97%

寄付先に共感伸びる

—ランナー、ボランティアの声—

■【一般ユーザー】

■昨年年末で終盤の区間は応援できなかったが、コース変更で声援ができたり、ゴールまで楽しかった。コース幅が広いところは改善してほしい。(40歳代男性)

■今までと違い、ゴール後の交通機関が便利になった。大塚城がゴールで感動した。(50歳代女性)

■足のペースが書かれていないと歩くことになったが、ボランティアたちがゼッケンの名前を呼んで励ましてくれた。完走できた。(50歳代女性)

■【海外ランナー】

■大阪代表するスポットをゴールしているのを見て、先走って食事をする場所が近かったのも便利。(女性、30歳代ランナー)

■素晴らしいボランティア精神とサポートだった。(フィリピン、50歳代女性)

■【ボランティア】

■私が参加したことで引っ込み思案だった娘がボランティアに興味を持ち、クラス変更になった。次回は娘と一緒に参加したい。(40歳代女性)

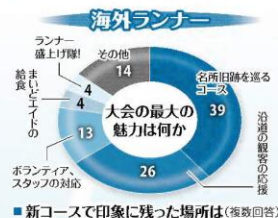
■大会をより上る様子を観望し感嘆することができた。(50歳代女性)

盛り上げ 9割手応え

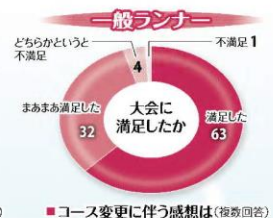
参加した理由は41%が「ランナーの役に立たないな」とを挙げ、「アポホポシティ」をアソビで楽しんだ(32%)、ランナーとして参加できなかった(23%)などが見られた。「大会を盛り上げることには賛成」という意見に関しては、「まあまあでよかった」とは、「アソビ」を合わせた91%が手応えを感じていた。第10回大会にもボランティアとして参加したいという回答が9割近く上った。

ランナー、ボランティアには大会後にウェブで質問に答えてもらった。回答者数は一般4048人、海外748人（英語384人、中国語364人）、チャリティー277人、ボランティア399人。観客は大会当日、沿道など2か所で聞き取り、410人から回答を得た。

名所旧跡 大きな魅力

[illegible]

■新コースで印象に残った場所は(複数回答)



■コース変更に伴う感想は(複数回答)



■ 観戦後の行動は(複数回答)



※単位は%。小数点以下は四捨五入。複数回答



■ 参加した理由は(複数)



100にならない



■募金活動は(複数回答)

[illegible]

ボランティアの「入り口」に

杉本厚夫

聖徳の責任者

関西大名誉教授 岡西大正孝

今日は讀書會と象として新なポテンシャルを要求した。参加に動機としては自らの思いやり作られた。「ラッパ」の設立で、その理由が「クラブ」として、ボクシングやテニスなど重要な公益的意義の高さを認められる。

被害者と弱者への配分難し。被害者や世のボクシングに比べて、スポーツは参加しやすい。ボクシングで、今大会如初年人アスリート、加えて人も3割以上入った。自由見では、逆にランナーから口上して、若者の義を伝えよう修養する機会を伝えるように思っている。

また、大阪マフの一の魅力が商家の提議と言われたことになり、大阪市街市中心となり、セントラルウエッジにシードルック・ユニオンを導入すること、全日本の柏道切れたという振替が実現し、観るもボランティアの交流も、層々としたコース名所旧物が増えたり、今後は倍々増える大阪の歴史、伝統、文化が感得されるような掛けあわせ、より一世界に響ける市販ラッパへ、世界にないであろうか。



力をもらった」という声も多く寄せられ、充実感が高かったことも分かります。

今年は東京五輪・パラリンピックもあり、ボランティア精神の大切さが改めて認識される年になつてと思います。大阪マラソンもボラ

新コース 走者に満足感

本社・関大調査「沿道応援」7割評価



昨年12月1日に開かれた「第9回大阪マラソン」(読売新聞社共催)で、読売新

聞社と関西大がランナーや観客、ボランティアを対象に実施した共同調査の中間報告がまとまった。大阪市中心部に設定された新コースについて、7割近くのランナーが「沿道の応援を楽しめた」と回答。最後まで

途切れなく声援を受けたことへの満足感が浮かび上がった。

一般4048人、海外748人、チャリティー1277人の3分野のランナーと、観客410人、ボランティア399人を対象に、ウェブ上で調査したり大会当日に聞き取りたりした。コース変更に伴い印象に残ったことを一般ランナーに尋ねたところ、沿道の応

援が68%でトップ。市中心部を循環し、大阪城公園(大阪市中央区)がゴールになったことで、「名所旧跡を多く望めた」(33%)、「ゴール後に食事や観光を家族らと楽しむことができた」(23%)など肯定的な受け止めが多かったが、「折り返し点が多いと感じた」と回答したランナーも66%いた。

では、62%が飲食をしたと回答し、「何もなかった」は3割弱にとどまった。観客対象の調査でも、観戦後に食事や買い物を楽しんだ人が目立っており、調査責任者の杉本厚夫・関西大名誉教授は「切れ目のない応援が実現し、ゴール後も買い物や観光、交流の余裕ができるなど、新コースの効果が表れた」と分析している。

△詳報24面▽

調査研究スタッフ

＜関西大学スタッフ＞

調査・報告書作成：関西大学 杉本厚夫 名誉教授、及び人間健康学部ゼミ生

調査協力：関西大学大学院人間健康研究科

博士前期課程 尾島 祥、博士後期課程 石 巍

＜読売新聞社スタッフ＞

編集特集制作：読売新聞大阪本社 編集局

調査実施・調整：読売新聞大阪本社 広告局